



# アーツカウンシル東京

---

## 平成30(2018)年度事業報告書



# アーツカウンシル東京

---

## 平成30(2018)年度事業報告書



# 目次

## ■アーツカウンシル東京の役割と事業展開

### ■平成30年度の活動を振り返って

#### I. 2020年に向けた展開

01 Tokyo Tokyo FESTIVAL	
企画公募事業	39
02 東京キャラバン	41
03 TURN	43
04 Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成	47
05 トパコ（都民パフォーマンスコーナー）	50
06 Tokyo Tokyo FESTIVAL	
プロモーション・ブランディング事業	51

#### II. 芸術文化支援事業

07 東京芸術文化創造発信助成、東京地域芸術文化助成、芸術文化による社会支援助成	52
08 東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】活動報告会	57

#### III. 芸術文化創造・発信事業

09 伝統芸能公演	59
10 伝承のたまてばこ	
～多摩伝統文化フェスティバル2018～	61
11 東京大茶会2018	63
12 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018	64
13 プレミアムコンサート	
～未来へのハーモニー～	66
14 Music Program TOKYO	69
15 アンサンブルズ東京	79
16 上野「文化の杜」新構想	80
17 六本木アートナイト2018	82
18 MOTサテライト 2018秋 うごきだす物語	86
19 第11回恵比寿映像祭	88
20 芸劇セレクション	91
21 東京芸術祭2018	93
22 Shibuya StreetDance Week 2018	96
23 キッズ伝統芸能体験	98
24 子供のための伝統文化・芸能体験事業	101
25 パフォーマンスキッズ・トーキョー	103
26 Museum Start あいうえの	106
27 TACT/FESTIVAL2018	108
28 外国人向け伝統文化・芸能	
短時間体験プログラム	109
29 外国人向け伝統文化・芸能	
体験・鑑賞プログラム	111

#### 東京アートポイント計画

30 TERATOTERA	113
31 小金井アートフル・アクション!	115
32 アートアクセスあだち 音まち千住の緑	118
33 トッピンググースト	123
34 Betweens Passport Initiative	127
35 東京ステイ	129
36 HAPPY TURN/神津島	131
37 500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」	133
38 Artist Collective Fuchu [ACF]	135
39 ファンタジア! ファンタジア!	
一生き方がかたちになったまち	136
40 Artpoint Meeting	138
41 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo	139

#### IV. 人材育成事業

42 タレント・トーキョー2018	143
43 アーツアカデミー	145
44 Tokyo Art Research Lab (TARL)	146

#### V. 国際ネットワーク事業・企画戦略事業

45 アーツカウンシル・フォーラム	151
46 第3回メディアアート国際シンポジウム	153
47 広報活動	154

# アーツカウンシル東京の役割と事業展開

**世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開していきます。**

新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開していきます。

## 設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。

2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。

3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

## I. 2020年に向けた展開

オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、東京を文化の面から盛り上げるため、Tokyo Tokyo FESTIVAL\*として、助成事業や企画公募採択事業、東京キャラバン、TURNといった中核となる文化プログラムを展開し、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会をつくり出していくとともに、芸術文化都市東京の魅力を国内外により一層発信していきます。

## II. 芸術文化支援事業〈助成・活動支援〉

東京の芸術文化の魅力を向上させ世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施します。

## III. 芸術文化創造・発信事業〈参加・体験プログラム〉

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。また、文化の面でのレガシーを2020年以降に継承し、文化の魅力であふれる都市東京の実現を目指します。

### ■フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

### ■文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取組です。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。（通年実施）

### ■東京の文化力による震災からの復興

東京都との共催で芸術文化を活用した東日本大震災被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対し

---

て、現地のアートに関わるNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。(通年実施)

#### **IV. 人材育成事業**

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成していきます。

#### **V. 国際ネットワーク・企画戦略事業**

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけづくりを行います。東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取り組みを国内外に発信していきます。

\*「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に向けて、東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

# 平成30年度の事業を振り返って

アーツカウンシル東京は、東京が芸術文化の力で都市の魅力を高めることに寄与するため、事業の充実と見直しを毎年行っています。平成30年度では次のように事業を拡大し、実りある成果を生み出しました。

## ■ Tokyo Tokyo FESTIVAL の新展開

オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年に向けた取組をTokyo Tokyo FESTIVALと銘打って、本格的に始動しました。

中核となる事業の企画を前年度に募った「Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募事業」では、応募があった2,436件の企画から、慎重な審査を経て13件を決定し、制作がスタートしました。また、2019年8月末からはこの13件を「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、2020年に向けて順次展開していきます。

「Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成」は、「気運醸成プロジェクト支援」「市民創造文化活動支援」「海外発文化プロジェクト支援」「未来提案型プロジェクト支援」の4カテゴリーとして、155件の申請件数に対し、48件を採択しました。

また、「Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーション・ブランディング事業」では、知事を先頭に、著名な文化人やタレントを起用したイベント、フォーラム等を実施し、Tokyo Tokyo FESTIVALの周知を図りました。

## ■ フェスティバル事業の拡充

3年目を迎える「東京芸術祭」は、本年度から総合ディレクターに宮城聡氏（演出家／SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督）を迎え、プランニングチームとの協同体制で新たに始動しました。イタリアを代表する演出家であるジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ氏が手掛けた『野外劇 三文オペラ』は、優れた作品を池袋西口公園で手軽に観劇できることで話題となりました。

上野「文化の杜」新構想では、東京都選定歴史的建造物である京成電鉄旧博物館動物園駅駅舎を利用したインスタレーション作品「アナウサギを追いかけて」を発表し、連日長蛇の列となりました。

また、2020年を見据えて、開催時期の見直しを図りました。六本木アートナイトは、5月開催とし、メインプログラム・アーティストに金氏徹平氏、鬼頭健吾氏、宇治野宗輝氏を迎え、鑑賞者数約76万人を記録しました。アンサンブルズ東京は8月に開催し、音楽家・大友良英氏ディレクションのもと、一般参加型の音楽イベントとして盛り上がりました。

## ■ 文化創造拠点形成事業の熟成

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで拠点を生み出す事業である「東京アートポイント計画」は、2009年のスタートから10年を迎え、これまでに47団体と38件のプロジェクトを共催してきました。その成果を10年史制作プロジェクトとして書籍を制作するとともに、「Open Room 2019 東京アートポイント計画の10年とこれから 2009→2019年」と題した展示を行いました。

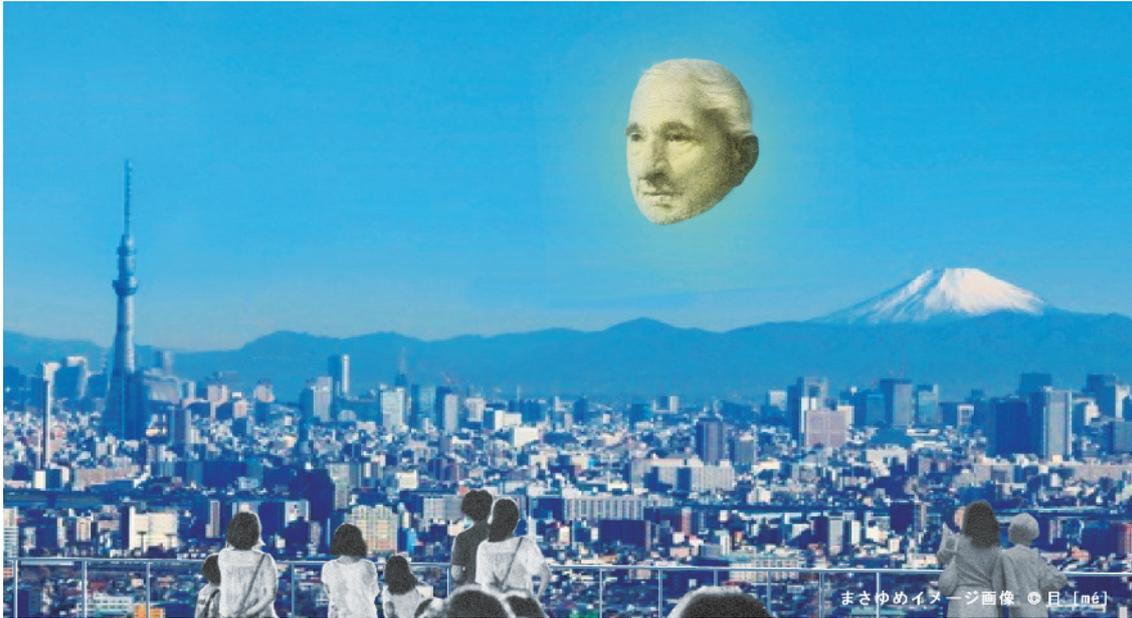
## ■ 芸術文化の担い手の育成

アートプロジェクトの担い手を育成する「Tokyo Art Research Lab」では、東京アートポイント計画との連動性を意識して事業を展開しました。また「アーツアカデミー」の講座である「芸術文化創造活動の担い手のためのキャリアパシビリティ講座」は、創造活動の課題解決や活動基盤強化の手法を学ぶプログラムとし、受講生のキャリアアチェンジやネットワーク形成につなげるなど、実践的な人材育成事業となりました。さらに、「キッズ伝統芸能体験」をはじめとする多くの子供向け事業を通じて、未来へ向けた芸術文化を担う人材の発掘・育成にも取り組みました。

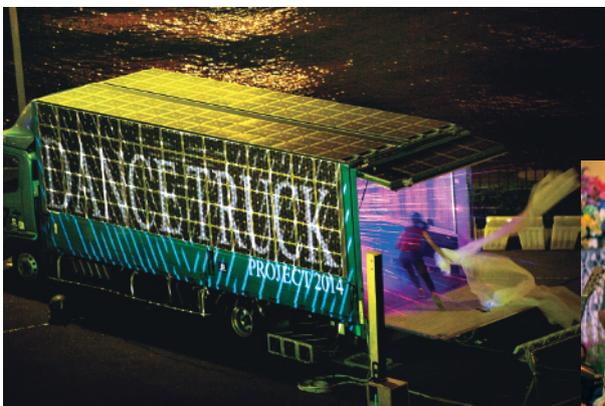
アーツカウンシル東京が事業を着実に積み重ねることによって、芸術文化都市東京の厚みが増していることを実感していただけるようになってきています。2020年をひとつの契機として位置付けて事業を展開し、更なる発展を図ります。ご協力ください。

公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京  
機構長

三好勝則



まさゆめ



DANCE TRUCK TOKYO  
Photo by amino studio



光の速さー The Speed of Light ー  
“La velocidad de la luz” ブエノスアイレス (2017)



東京キャラバンin豊田（2018年）撮影：三浦知也



東京キャラバンin豊田（2018年）撮影：三浦知也



東京キャラバンin秋田（2018、2019年）撮影：コンドウダイスケ



東京キャラバンin秋田（2018、2019年）撮影：コンドウダイスケ



東京キャラバンin高知（2018年）撮影：石川拓也



東京キャラバンin高知（2018年）撮影：石川拓也



TURN 交流プログラム（森山開次と金町学園）  
撮影：富田了平



TURN LAND（クラフト工房 La Mano） 撮影：富田了平



TURN フェス4 撮影：富田了平



TURN フェス4 撮影：富田了平



第7回TURN ミーティング 撮影：富田了平



TURN - LA TOLA（エクアドル）



海外発文化プロジェクト支援「ユーラシアンオペラ 東京 2018」  
 (音楽詩劇研究所)  
 ©mikomex



市民創造文化活動支援「NEWTOWN 2018」(株式会社cinra)  
 撮影：垂水佳菜



海外発文化プロジェクト支援「シアターコモンズ'19」(シアター  
 コモンズ実行委員会) 撮影：Shun Sato



未来提案型プロジェクト支援「MUTEK. JP2018」(一般社団法人MUTEK Japan) ©MUTEK.JP (Shigeo Gomi, Ryu Kasai)



未来提案型プロジェクト支援「discrete figures 東京公演 (2018)」  
 (株式会社ライゾマティクス) 撮影：Tomoya Takeshita



気運醸成プロジェクト支援「鉄工島FES 2018」(寺田倉庫株式会社) 撮影：菊池良助

## Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーション・ブランディング事業

▶ 詳細 p.51



トークイベント「文化芸術都市TOKYOの未来」



Tokyo Tokyo FESTIVAL フォーラム「東京はアートの力を信じている」



Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーションイベント「東京の芸術文化を世界へ」



Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーションイベント「文化でつながる。未来とつながる」

## トパコ（都民パフォーマーズコーナー）

▶ 詳細 p.50



第3回トパコの様子（津軽三味線）



第3回トパコの様子（フリージャズ）



第3回トパコの様子（ボリウッドダンス）

## 東京芸術文化創造発信助成（長期助成プログラム）

▶ 詳細 p.52



合同会社S20「Somatic Field Project」  
撮影：S20



DULL-COLORED POP 演劇・福島3部作「1961年：夜に昇る太陽」  
撮影：田子和司

## 東京芸術文化創造発信助成（単年助成プログラム）

▶ 詳細 p.52



十二音会 第四十回公演  
芝祐靖作曲《雉門松濤楽》  
© 千田兼宏



オーケストラ・ニッポニカ  
間宮芳生オペラ『ニホンザル・スキトオリメ』  
写真：澁谷学



範宙遊泳『うまれてないからまだしねない』(2019)  
撮影：鈴木竜一郎



小山泰介個展『SENSOR\_CODE』(2018)  
© 小山泰介



団体せきかおり  
「RAISU / ライス」(CEPRODAC (メキシコ) におけるクリエイション・レジデンシー・プロジェクト)  
関かおり振付「ひうおむぐ」(2018)  
photo: David Flores Rubio

## 東京地域芸術文化助成

▶ 詳細 p.52



染の小道2019  
妙正寺川に反物を架け渡す「川のギャラリー」  
写真：染の小道実行委員会



下北沢音楽祭 クリーンクリーンパレード



第26回 王子狐の行列  
行列の象徴「狐の大面」

## 芸術文化による社会支援助成

▶ 詳細 p.52



十四世六平太記念財団  
第3回“手話”で楽しむ能狂言鑑賞会  
撮影：(株)前島写真店



アール・ブリュット立川2018  
ポスター



スロームーブメント実行委員会 ワークショップ  
撮影：加藤甫

## 長期助成プログラム活動報告会

▶ 詳細 p.57



第4回「創作と上演を積み重ねて見えてくる作品の成熟とは ～ダンス・カンパニーニブロールのアジアでの挑戦～」  
報告団体：ニブロール



第6回「みんなで一緒に舞台を楽しもう！」—当事者とともにすすめる観劇サポートの研究と実践  
報告団体：特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク



J-CULTURE FEST 萬齋プロデュース「新春狂言」  
謡初「雪山」



J-CULTURE FEST 詩楽劇「すめらみことの物語」



伝統芸能普及公演「平家物語」の世界 『壇の浦』



伝統芸能普及公演「平家物語」の世界 『忠度』



第19回 多摩川流域郷土芸能フェスティバル



大江戸寄席と花街のおどり その八  
春風亭小朝 撮影：横井洋司



大江戸寄席と花街のおどり その八 東京六花街芸者衆 撮影：横井洋司



「古道が紡いだ八王子の物語」



人力車「お練り」巡行



八王子芸妓衆



八王子車人形



日野囃子保存会



薩摩琵琶



子供のための茶道教室（江戸東京たてももの園）



茶席（江戸東京たてももの園）



茶道はじめて体験（江戸東京たてももの園）



WELCOME! 英語で楽しむ野点（浜離宮恩賜庭園）



茶席（浜離宮恩賜庭園）



茶道はじめて体験（浜離宮恩賜庭園）



神楽坂芸能めぐり 街角ライブ



神楽坂路上界限 城端曳山祭〈庵唄〉



神楽坂路上界限 新内流し



神楽坂タイムスリップ スタンプラリー



神楽坂楽座～講釈場



赤城神社 夕暮れライブ



店めぐり・伝統芸能ライブ



覗いてみようお座敷遊び

## プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

▶ 詳細 p.66



弦楽四重奏とソプラノによる室内楽公演（奥多摩町公演）



指揮体験コーナー（小平公演）



オーケストラ公演（町田公演）



ヴァイオリンの楽器体験（府中公演）

## Music Program TOKYO

▶ 詳細 p.69



オペラをつくろう！



Jazz meets Classic © 堀田力丸



ミュージック・ワークショップ「なぜなゼルーレット」  
©Mino Inoue



2020 on stage & legacy 障害者施設におけるワークショップ  
©鈴木穰蔵

〈ワークショップの様子〉



撮影：鈴木穰蔵



撮影：佐竹邦彦



撮影：佐竹邦彦

〈イベントの様子〉



撮影：佐竹邦彦



撮影：鈴木穰蔵



撮影：佐竹邦彦



撮影：佐竹邦彦



旧博物館動物園駅『アナウサギを追いかけて』



『アナウサギを追いかけて』鑑賞ツアー



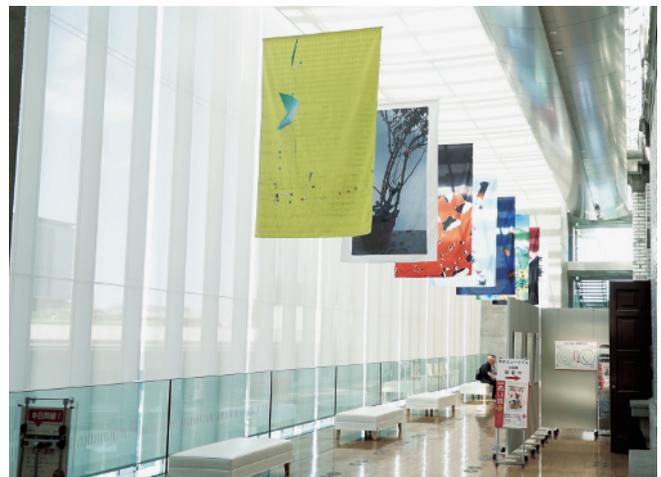
参加型合唱パフォーマンス「シング・パーク・ハーモニア」



各館連携コンサート「文化の杜の音めぐり」



スタチュー写真大会



ホセ・マリア・シシリア「アクシデントという名の国」





『野外劇 三文オペラ』  
撮影：松本和幸



『スモール・メタル・オブジェクト』／  
バック・トゥ・バック・シアター  
©松本和幸





『光の音：影の音ー耳だけで聞くものなのかー』  
©池上直哉



まちなかパフォーマンスシリーズ  
L PACK. 『定吉と金兵衛』  
Photo: Kazuya Kato



『大田楽 いけぶくろ絵巻』  
撮影：前澤秀登



APAF2018 国際共同制作ワークショップ 『Wo(E)man』  
(演出：イッサ・マナロ・ロベス 撮影：松本和幸)

## 芸劇セレクション

▶ 詳細 p.91



『BOAT』 AD：名久井直子 撮影：井上佐由紀



『書を捨てよ町へ出よう』 撮影：井上佐由紀



『Le Père 父』



MOT space G  
「MOT サテライト 2018秋 うごきだす物語」 展示風景  
鈴木のぞみ 《The Light of Other Days : 白河二丁目町会会館》 2018  
写真：白井晴幸



MOT space C  
「MOT サテライト 2018秋 うごきだす物語」 展示風景  
ジョン・ヨンドウ 《古典と新作》 2018 写真：白井晴幸



MOT space B  
「MOT サテライト 2018秋 うごきだす物語」 展示風景  
志村博 《映像時空の旅2018》 2018 写真：白井晴幸



MOT spot d  
「MOT サテライト 2018秋 うごきだす物語」 展示風景  
のらもじ発見プロジェクト 2018 写真：白井晴幸

第11回恵比寿映像祭



こども映画教室シネクラブ@恵比寿映像祭 2019  
上映関連企画より



さわひらき 《platter》 2019  
オフサイト展示より



ユニヴァーサル・エヴリシング 《トライブス》 2018  
展示より



曾我大穂×小金沢健人——special guest スズキタカユキ  
ライブ・パフォーマンス：映像を追いかけて～音とイメージ  
の夢幻サーカス  
ライブ・イベントより

撮影：新井孝明



Shibuya DANCE CARAVAN



LECTURE SPOT



プレス向けイベント



SSDW CONTEST



SSDW CONTEST

〈発表会の様子〉



能楽（謡・仕舞）

〈お稽古の様子〉



能楽（狂言）



日本舞踊



長唄（小鼓・太鼓）



三曲（箏曲）



長唄（三味線）

撮影：菅原康太 発表会／能楽、お稽古／能楽  
武藤奈緒美 発表会／日本舞踊・三曲、お稽古／長唄



三味線



三味線



日本舞踊



日本舞踊



能楽 (謡・仕舞)



能楽 (謡・仕舞)



世田谷区民会館×康本雅子『タイコロンダ』発表公演  
撮影：金子愛帆



たましん RISURU ホール×田村一行『#存在の証明』発表公演  
撮影：松本和幸



狛江エコルマホール×伊藤キム『エコルマ乗っ取り大作戦!』  
発表公演  
撮影：松本和幸



瑞穂ビューパーク・スカイホール×渡辺麻依『星に一番近い町』  
発表公演  
撮影：金子愛帆

## Museum Start あいうえの

▶ 詳細 p.106



こどもと家族のプログラム「あいうえの日和」  
(東京都美術館 アートスタディールーム)



こどもと家族のプログラム「あいうえのスペシャル」(東京都美術館 アートスタディールーム)  
撮影：中島佑輔



こどもと家族のプログラム「うえの！ふしぎ発見 アート&サイエンス部」  
(東京藝術大学 絵画棟技法材料研究室)



こどもと家族のプログラム「うえの！ふしぎ発見 墨部」(東京都美術館 上野アーティストプロジェクト2018「見る、知る、感じる——現代の書」展)  
撮影：藤島亮



参加者全員に配付する冒険の道具  
「ミュージアム・スタート・バック」

## TACT/FESTIVAL 2018

▶ 詳細 p.108



『WONDER WATER』



『ひつじ』



ブランカ・リー  
『Solstice (ソルスティス) —夏至/冬至』



田中浜 『場踊り』

撮影：青木司

外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム

▶ 詳細p.109



華道



曲芸



日本舞踊



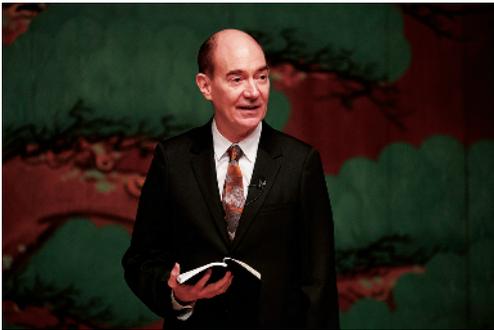
着物着付け



長唄三味線

外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

▶ 詳細p.111



能「隅田川」 ロバート キャンベルによる解説



能「隅田川」公演の様子 撮影：石田裕



能「隅田川」公演の様子 撮影：石田裕

# TERATOTERA

▶ 詳細 p.113



TERATOTERA祭り2018 Walls～わたしたちを隔てるもの～



駅伝芸術祭

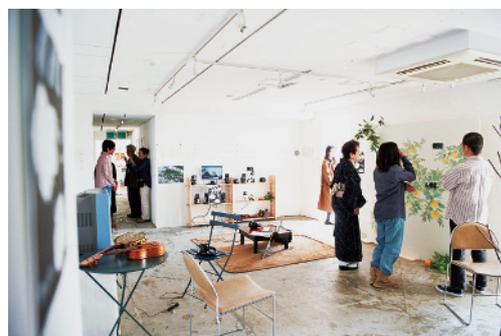
Photo: Sakanaka Takafumi

# 小金井アートフル・アクション！

▶ 詳細 p.115



学校連携プログラム  
小金井市立緑小学校「からだところを感じよう」



えいちゃんふえす～多様にたわわな実りと種～



成果展「未来のタネ展 ～「いま」ここから未来を描く～」



地域連携Lab 東村山市立南台小学校「わたしの人権の森」

## アートアクセスあだち 音まち千住の縁

▶ 詳細p.118



大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2018 西新井」  
写真：富田了平



IMM「フィリパビポ!! ザ・ファイナル」  
写真：富田了平



千住・縁レジデンス 居間 theater「4人姉妹の家びらき・夏」写真：富田了平



アサダワタル 千住タウンレーベル 「タウンレコーダー募集説明会」 写真：富田了平

## トッピングイースト

▶ 詳細p.123



東東京総舞台化計画「BLOOMING EAST」 寺尾紗穂  
撮影：豊島望



ほくさい音楽博・スティールパン  
撮影：三田村亮



ほくさい音楽博・和楽器  
撮影：三田村亮



拠点形成プログラム「東京 Orchest-Labレジデンス」

## Between Passport Initiative

▶ 詳細 p.127



シェアリング・セッション



拠点形成プログラム



定時制高校プログラム

## 東京ステイ

▶ 詳細 p.129



ダイアログ・オンサイトVol.1  
「東京の記憶と断面」ピルグリム  
撮影：河野慎平



ダイアログ・オンサイトVol.2  
「まちを読み解くまなざし」  
撮影：黒羽政士



東京ステイ総集編  
「東京、日常の巡礼」「東京の朝ぼらけ」  
撮影：黒羽政士



東京ステイ総集編  
「東京、日常の巡礼」「東京の朝ぼらけ」  
撮影：黒羽政士



東京ステイ総集編  
「東京、日常の巡礼」「スナック東京」  
撮影：黒羽政士



『HAPPY TURN / 神津島 通信01』



『HAPPY TURN / 神津島 通信01』  
制作のようす



拠点形成プログラム



拠点形成プログラム



神津島風景 写真：川瀬一絵

500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」



YATOの縁日



谷戸の物語



YATOの年の瀬



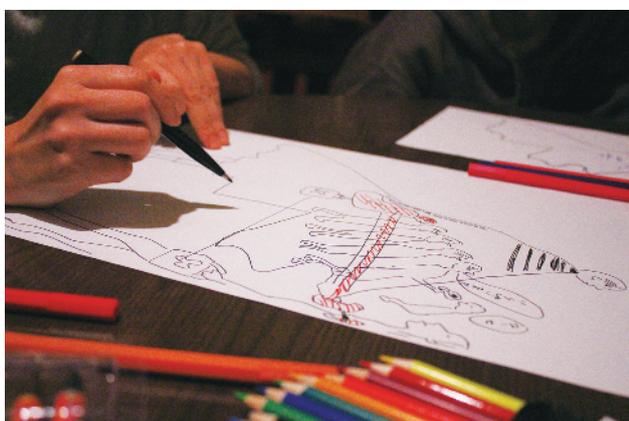
映画上映会「フチュウ・フィルム クロニクル」



## ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—



ヒアリング企画「WANDERING」実施風景



ラーニング・ラボ #03 今井むつみ「生きた知識にするための学び」  
撮影：大塚秀樹

## Artpoint Meeting

▶ 詳細p.138



Artpoint Meeting #06



Artpoint Meeting #07

## 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

▶ 詳細p.139



ラジオ下神白ーあのとときあのまちの音楽からいまここへー



ぐるぐるミックス in 釜石 (撮影: miho kakuta)



REC⇔PLAY ある復興団地の「声(風景)」をなぞる「ラジオ下神白 あのとときあのまちの音楽からいまここへ」の報奏会



つながる湾プロジェクト

## タレンツ・トーキョー2018

▶ 詳細 p.143



タレンツ・トーキョー2018 ©Talents Tokyo / TOKYO FILMeX



## アーツアカデミー

▶ 詳細 p.145



アーツカウンシル東京アーツアカデミー



東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修  
シアター・コーディネーター養成講座

## Tokyo Art Research Lab (TARL)

▶ 詳細 p.146



東京プロジェクトスタディ説明会 撮影：川瀬一絵



Open Room 2019 撮影：高岡弘

# アーツカウンシル・フォーラム

▶ 詳細p.151



オープンフォーラム2019 基調講演



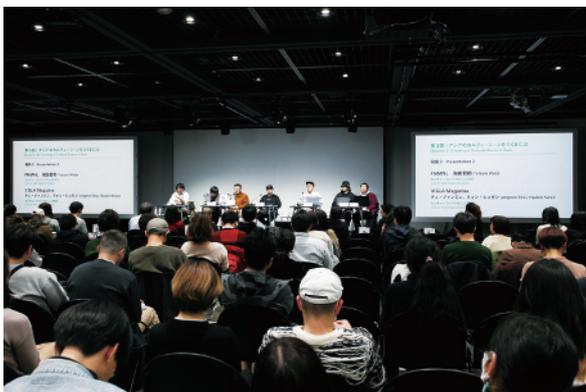
オープンフォーラム2019 ディスカッション



オープンフォーラム2019 ディスカッション

# 第3回メディアアート国際シンポジウム

▶ 詳細p.153



第3回メディアアート国際シンポジウムディスカッション

# 01 Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募事業

## 【事業概要】

1. 応募書類受付期間：平成30（2018）年2月1日（木）～28日（水）
2. 企画対象期間：令和元（2019）年秋から令和2（2020）年9月までの間に実施・終了する企画
3. 企画実施場所：東京都内
4. 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
5. 募集企画内容：
  - (1) 対象となる分野  
音楽、演劇、舞踊、美術、写真、文学、メディア芸術（映像、マンガ、アニメ、ゲームなど）、伝統芸能、芸能、生活文化（茶道、華道、書道、食文化など）、ファッション、建築、特定のジャンルにとらわれない芸術活動（複合）等を想定
  - (2) 期待する企画内容  
以下の目的をもった企画  
・インパクトある芸術創造  
・あらゆる人々が参加できる  
・アートの可能性を拓ける
  - (3) 事業規模  
委託事業費の限度額は、数百万円から2億円を超えない範囲となるが、協賛金や自己資金など、他の収入を含めた事業規模についてはこの限りではない。

## 【事業趣旨（目的）】

本事業は、斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の中核となる事業として、人々の記憶に残る東京文化プログラムを創り上げ、2020年を超えて、東京がよりクリエイティブな文化都市へとステップアップしていくことを目指す。

採択された企画は、2019年秋から2020年9月までの間に東京都内で東京都およびアーツカウンシル東京の主催事業として実施する。

## 【実施状況】

平成30（2018）年度は、応募のあった2,436企画の第一次審査、実現可能性調査、第二次審査を実施し、13件の採択を決定した。採択企画の委託契約締結および事業構築を開始し、事業実施に繋げる準備を行った。

### 1. 実施プロセス

- ・平成30（2018）年5月： 応募書類の事前精査の実施
- ・平成30（2018）年6月29日： 第一次審査会の実施
- ・平成30（2018）年7月～8月： 第一次審査通過企画の実現可能性調査および企画ブラッシュアップ
- ・平成30（2018）年8月25日～30日： 第二次審査会の実施
- ・平成30（2018）年8月31日： 採択企画の決定・通知
- ・平成30（2018）年9月～： 制作準備

### 2. 採択件数：13件

企画応募者名	企画名
東京都公衆浴場業生活衛生同業組合	TOKYO SENTO Festival 2020
特定非営利活動法人トッピングイースト	隅田川怒涛
目	まさゆめ
ブルーノ・タウト展実行委員会	ART CITY TOKYOバピリオン・トウキョウ2020
全日本ダンストラック協会	DANCE TRUCK TOKYO
株式会社ライゾマティクス	SYN LIGHT DANCE IN TOKYO ~東京の未来を視る
株式会社小学館	もしも東京地図展
Jason Bruges Studio (英国)	The Constant Gardeners
Marco Canale (アルゼンチン)	The speed of light
特定非営利活動法人ダンスアーカイブ構想	TOKYO REAL UNDERGROUND
公益社団法人全日本郷土芸能協会	世界無形文化遺産フェスティバル (仮題)
放課後ダイバーシティ・ダンス・フェスティバル実行委員会	放課後ダイバーシティ・ダンス・フェスティバル
(2020年に公表予定)	(2020年に公表予定)

※企画応募者名および企画名は、応募時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

## 02

## 東京キャラバン

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年7月～平成31（2019）年2月
会場	愛知県豊田市、高知県、秋田県
主催	【豊田】 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、豊田市 【高知】 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、高知県、公益財団法人高知県文化財団 【秋田】 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、秋田県、横手市
協力	【豊田】公益財団法人豊田市文化振興財団
事業協力	【秋田】公益財団法人熊本県立劇場
総監修	野田秀樹（劇作家・演出家・役者）
観覧者数	約8,400人

## 【事業趣旨（目的）】

東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都の文化事業として、劇作家・演出家・役者である野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たな文化ムーブメント。東京2020オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムを先導する文化事業として、平成27（2015）年度より開始。平成29（2017）年度からは東京2020公認文化オリンピックアドとして本格始動した。全国各地に「東京キャラバン」が出現し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図ることで、東京2020大会以降の文化的基盤をつくっていく。

## 【開催状況】

4年目を迎えた平成30（2018）年度は、前年度に引き続き、日本全国の自治体（道府県、政令指定都市、中核市）から立候補を募り、「東京キャラバン」に共感いただいた44の地域の中から開催候補地を選出、日本中を巻き込む文化ムーブメントとして展開した。

平成30（2018）年度は、“禁断の恋”をキーワードに、豊田市、高知県、秋田県で開催。豊田では近藤良平が前年の熊本に引き続き、リーディングアーティストを担当。高知では、新たに木ノ下裕一をリーディングアーティストに迎え、さらなる多様な展開を見せた。秋田では野田秀樹総監修の下、男鹿市・秋田市でのワークショップと横手市でのパフォーマンスを実施した。

## 1 東京キャラバン in 豊田

開催日時	平成30（2018）年7月22日（日）14：00
会場	鞍ヶ池公園プレイハウス芝生広場（愛知県豊田市矢並町法沢714-5）
観覧料	無料
参加アーティスト	近藤良平（振付家、ダンサー、「コンドルズ」主宰）、豊田市棒の手保存会（棒の手）、RODA GIGANTE（サンバ・太鼓等）、芳泉会&民謡パラダイス（民謡・三味線等）、GIANT STEPS（傀儡）、チャンキー楽団（稲田貴貞／テナーサクソ、小西英理／ピアノ・アコーディオン、坂口修一郎／トランペット、しみずけんた／カバキニーヨ、チャンキー松本／歌・切り絵、南條レオ／パーカッション、ほん宇都良太郎／ベース、岡田カーヤ／アルトサクソ）、ダンサー・パフォーマー（入手杏奈、谷口界）、小林良一（東京1964オリンピック聖火ランナー）
参加クリエイター	山本富章（現代美術）、中西瑞美（衣装）、青木兼治（映像）、三浦知也（写真）
内容	近藤良平をリーディングアーティストに迎え、平成29（2017）年度の「東京キャラバン in 熊本」を機に結成された楽団と、近藤によって選ばれたダンサー・パフォーマーが、豊田市の伝統芸能である棒の手や、サンバ、民謡、傀儡など豊田の文化の担い手らとともに、創作ワークショップを経て、パフォーマンスを創作。鞍ヶ池公園プレイハウス芝生広場に披露した。当日は約550人の観客が来場。パフォーマンスの最後には観客と参加アーティストが一緒になって歌い踊るなど、カーニバルのように一体となり大いに盛り上がった会場は、この上ない祝祭感に包まれた。

## 2 東京キャラバン in 高知

開催日時	平成30（2018）年9月16日（日）17：30
会場	高知県立美術館・中庭（高知県高知市高須353-2）
観覧料	無料

参加アーティスト	木ノ下裕一（ドラマトゥルク・「木ノ下歌舞伎」主宰）、北尾亘（振付家・ダンサー・俳優・「Baobab」主宰）、高知県庁正調よさこいクラブ、カポエイラ バトウキ ジャバオ高知（カポエイラ）、ふたりっこプロデュース（演劇）、繁藤雅陽会（雅楽）、山田太鼓伝承会（山田太鼓）、大石将弘（俳優）、澤田慎司（俳優）、米田沙織（ダンサー）、端田新菜（俳優）、安部萌（ダンサー）、山道弥栄（作曲家）
参加クリエイター	青木兼治（映像）、石川拓也（写真）、清川敦子（衣装）
内容	ドラマトゥルクで「木ノ下歌舞伎」主宰の木ノ下裕一が「東京キャラバン」にリーディングアーティストとして初参加。北尾亘（振付家・ダンサー・俳優・「Baobab」主宰）を演出に迎え、東京から参加した新進気鋭のダンサー・パフォーマーと、よさこい正調踊りやカポエイラ、演劇、雅楽、山田太鼓など高知の文化の担い手らとともに“文化混流”に挑戦した。パフォーマンス当日は開場前から入場待ちをする人たちの列ができ、約450人の来場者で会場は超満員となった。

### 3 東京キャラバン in 秋田

#### (1) ワークショップ

開催日時、会場	平成30（2018）年12月8日（土）13：00 男鹿市民文化会館・小ホール（秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り2号14-5） 平成30（2018）年12月9日（日）13：00 秋田市民交流プラザALVE・きらめき広場（秋田県秋田市東通仲町4-1）
観覧料	無料
参加アーティスト	野田秀樹（劇作家、演出家、役者）、チャラン・ポ・ランタン（アーティスト）、原摩利彦（音楽）、“東京キャラバン”アンサンブル、秋田市竿燈会、男鹿のなまはげ、二代目浅野梅若、山鹿灯籠踊り保存会
内容	野田秀樹総監修の下、2月のパフォーマンスに向けてリサーチと創作ワークショップを実施。秋田の歴史やそこで大切にされてきた文化を体感し、そこから着想を得た野田とアーティストらは、秋田の表現者たち（なまはげ、竿燈、民謡）と熊本からの客人（山鹿灯籠踊り）と出会い、これまでにないパフォーマンスを創作した。また、創作の現場を公開、合わせて約1,270人が来場し、にぎわいを見せた。

#### (2) パフォーマンス

開催日時	平成31（2019）年2月16日（土）16：30、2月17日（日）12：30・16：30
会場	秋田ふるさと村・ドーム劇場（秋田県横手市赤坂字富ケ沢62-46）
観覧料	無料（事前申込制・多数抽選）※当日席あり
参加アーティスト	野田秀樹（劇作家、演出家、役者）、黒木華（女優）、熊谷和徳（タップダンサー）、チャラン・ポ・ランタン（アーティスト）、青柳美扇（書道家）、宇治野宗輝（現代アーティスト）、“東京キャラバン”アンサンブル（秋草瑠衣子、石川詩織、上村聡、川原田樹、近藤彩香、末富真由、手代木花野、夏子、福島彩子、的場祐太、吉田朋弘）、秋田市竿燈会、男鹿のなまはげ、二代目浅野梅若（民謡）、絵どうろう、山鹿灯籠踊り保存会
参加クリエイター	名和晃平（美術・空間構成）、服部基（照明）、原摩利彦（音楽）、ひびのこづえ（衣装）、赤松絵利（ヘアメイク）、青木兼治（映像）、コンドウダイスケ（写真）
内容	12月の公開ワークショップでの創作をベースに、歌手やタップダンサー、書家、現代アーティスト等多彩なアーティストがさらに加わり、2日限りの“文化サーカス”を繰り広げた。野田が藤田嗣治による大壁画「秋田の行事」を観て着想を得て、今回のために書き下ろした『フジタの恋』をはじめ、シャンソンとなまはげ、民謡とタップダンスの融合等、秋田ならではの新しい表現を披露。ジャンルを超えた“文化混流”に、多数の申し込みの中から抽選で選ばれた観客のほか、インターネット中継視聴者等約4,500人が魅了された。

### 【参加者の声】

- ・今まで参加したことのない形でとても面白かったです。演じる人がすぐ近くでびっくりでした。（東京キャラバン in 豊田）
- ・とても良かったです。暑さも吹き飛びました。（東京キャラバン in 豊田）
- ・東京キャラバンは初めてでしたが子供と一緒に楽しめました。（東京キャラバン in 高知）
- ・このような舞台は初めてみて驚きました。とても心に残りました。すごかった！自然と人間と考えさせられました。これからも考えていきたい。（東京キャラバン in 高知）
- ・最高です！最初のオープニングから最後まで驚きました。見ることのないパフォーマンスです！秋田を題にして下さり、嬉しく思います。秋田の良さを取り上げて下さりありがとうございました。（東京キャラバン in 秋田）
- ・あっという間の時間が過ぎました。「本物」の素晴らしさを感じました。地元の良さを再発見しました。（東京キャラバン in 秋田）
- ・東京オリンピック後も日本に多くある伝統芸能との交わりを続けてほしい。（東京キャラバン in 秋田）

## 03

## TURN

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	東京都美術館、東京藝術大学、東京都内近郊 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学
監修	日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
参加者数	約4,730人

## 【事業趣旨（目的）】

障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムを先導する文化事業として、平成27（2015）年度より開始。平成29（2017）年度からは東京2020公認文化オリンピックドとして本格始動した。様々な分野の機関と連携および協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指す。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外で展開し、発信するとともに、TURNの考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していく。

## 【開催状況】

アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN 交流プログラム」と、TURNの活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を軸に、「TURN ミーティング」や「TURN フェス」を東京都内中心に展開した。

さらに、国立大学法人東京藝術大学および国内外の文化芸術機関等と連携し、海外においても「TURN」を展開した。

## 1 交流プログラム

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
内容	都内を中心とした福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティなどの連携拠点にアーティストが赴き、拠点利用者や拠点職員、家族等と出会いながら相互に関係しあう交流プロセスを構築する。また、社会や日常で表面化されていないことへの探求を目的としたリサーチを行ったアーティストは、交流を通して得た知見をTURN関係者と共有し、ともに思考を深めていく。アーティスト独自の視点で、その場に集う人々の個性や魅力を見出し、福祉的ケアとは異なる文化的対話を通じて、アートの新たな可能性を探った。
参加アーティスト ※五十音順	アレハンドラ・ミスライ、飯塚貴士、井川丹、池田晶紀、伊勢克也、岩田とも子、大久保由美、川瀬一絵、久保田沙耶、小林勇輝、セビーデ・ハセミ、テンギョウ・クラ、中崎透、西尾佳織、ヘンリー・オルティス・タビア、マチーデフ、松本力、森山開次
連携拠点（交流先） ※五十音順	アトリエ・エー（渋谷区）、アプローズ南青山（港区）、一歩（西東京市）、ここね篠崎（江戸川区）、大田区立障がい者総合サポートセンター（大田区）、金町学園（葛飾区）、社会福祉法人きょうざれん リサイクル洗びんセンター（昭島市）、くまちゃんハウス（三鷹市）、クラフト工房 La Mano（町田市）、ココルーム（大阪府）、コミュニティセンターakta（新宿区）、シュレ大学（新宿区）、スウィング（京都府）、台東つばさ福祉会（台東区）、たましろの郷（青梅市）、多磨全生園（東村山市）、ナースさくまの家（三鷹市）、はあとびあ原宿（渋谷区）、パラリンピアンスキーコーチ（長野県ほか）、富士清掃サービス（町田市）、みずのき（京都府）、桃三ふれあいの家（杉並区）、やまなみ工房（滋賀県）、LITALICOジュニア所沢教室（埼玉県） ほか

## 2 TURN LAND

「TURN」の活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を、アーティストと交流先などの都内各所で展開した。

## (1) 交流先施設のLAND化

福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに参加型のプログラムを企画。場所のもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURNを日常的に実践する場をつくる。

交流先施設	日程	会場	プログラム名	アーティスト	ゲスト	参加料
気まぐれ八百屋だんだん	3/2	大田区立池上福祉園	第3回おとな図鑑	永岡大輔	寺尾紗穂（音楽家・エッセイスト）	無料
	12/2、3/26	気まぐれ八百屋だんだん	だんだんHEKIGAプロジェクト		—	
ハーモニー	2/23、24	ハーモニー	お金をとらない喫茶展 ～ものもの ものこと ことこと こともの～	ライラ・カセム ほか	—	

交流先施設	日程	会場	プログラム名	アーティスト	ゲスト	参加料
クラフト工房 La Mano	5/20、7/22、10/21、12/16、1/12、3/24	クラフト工房 La Mano	手のプロジェクト -綿花から糸へ...	五十嵐靖晃	—	無料
板橋区立小茂根福祉園	7/7	板橋区立小茂根福祉園	こもねフェスタ	大西健太郎、宮田篤	—	
	11/10		こもねまつり			
	4/18、25、5/2、9、30、6/20、27、12/3、1/30、2/6、27、3/6		「お」ダンス×きらりグッとワーク			
	12/20、3/18		「きらりグッと」オープンマイク			

(2) TURN LAND (東大生態調和農学機構)

日程	内容	研究代表者	アーティスト	交流先施設
5/11、6/1、14、7/20、9/6、10/5、11/9、12/7、1/18、2/7	アーティストを中心に、交流先施設の人たちや地域住民等が集まり、TURNの活動を日常的に実践できるサードプレイスをつくり出すことを目的に、東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構(東大生態調和農学機構)との共同研究と位置づけ、TURN LANDに着手。月に一度農業活動とアート活動を複合したプログラムを実施。また、その活動を通してどのような効果が参加者にもたらされるのか、生理学的、行動的、心理的、社会的な指標から測定し、検証した。	安永円理子(東京大学 大学院農学生命科学研究科准教授) 深野祐也(東京大学 大学院農学生命科学研究科助教)	岩間賢	シューレ大学、社会福祉法人さくらの園

(3) TURN運営本部

NPOを中心とする事務所機能と、「TURN」の運営を補助する「サポーター」を多く輩出できるように、研究会や養成プログラム等も実施する情報発信のハブ機能を担った。

3 TURN フェス4

開催期間	平成30(2018)年8/17~19
会場	東京都美術館ロビー階 第1・2公募展示室
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京・東京都美術館、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学
入場料	無料 ※手話通訳・文字支援あり
入場者数	約3,500人
TURNサポーター	94人
参加アーティスト・団体	58
内容	監修者・日比野克彦による造語「日常非常日(ピジジョッピジョッピ)」をテーマに掲げ、TURN交流プログラムを通して生まれた展示・ワークショップや、参加アーティストおよび交流先の利用者などとの出会いを通して、来場者が一人ひとり異なる「日常・非日常」を体験し、多様な価値観を体感することを目指した。また、地域とともに存在することを旨とする「TURN LAND」の展開を共有する機会とした。更に、年間を通して行っているTURNの活動のドキュメントやアートと福祉の現場における実験的な取り組みを伝える映像などを上映するシアタースペースをはじめ、身体パフォーマンスやオリジナル楽曲の披露されるステージ、そして各プロジェクトの様々な見方を提案するツアーを通して、TURNを多角的に捉える機会とした。さらに、福祉的なサポートを必要とする方を含め、様々な背景を持つ来場者が心地よくTURNフェスを楽しむことができるよう、TURNフェスの事前準備から当日の運営(事前準備、受付、参加型作品のオペレーション、ツアーのアテンド、誘導等)を担うサポーターを募集し、ともに活動した。
展示・ワークショップ	25プログラム 会場入口のエリアでは、現在の「TURN」の原点となる前身の活動を日比野克彦による作品とともに紹介し、TURNのこれまでと現在を思考する俯瞰的な視点を取り入れた。また、会場内では、「TURN交流プログラム」を通して生まれた展示やワークショップ、アーティストに潜在する経験やTURNに親和性のある意識に出会う企画を展開した。さらに「TURN LAND」の今とこれからの焦点をあて、福祉と関連したアートの取り組みの変遷を辿り紹介すると同時に、それぞれの場で生まれた萌芽や思考、仕組みなどを共有した。
ツアー	12プログラム 「TURNとの〈出会い〉を楽しむツアー」と「〈アクセシビリティ〉を考えるツアー」という2つのテーマで展開。それぞれ異なるナビゲーターが案内を務め、その陣容は監修者、コーディネーター、アート・コミュニケーター、大学院生などバラエティに富んでいる。そして、ナビゲーターによって全く違う体験を味わえることが、TURNのツアープログラムの醍醐味となった。
シアター上映作品	13プログラム 年間を通して行っているTURNのドキュメントに加え、TURNへ示唆をもたらす様々な現場を追った映像・映画を上映するシアタースペースを新しく設置した。TURN LANDと親和性のある場所や、TURN参加アーティストが関わる他の活動の様子等を、映像を通じて知ることによって、新たな視点に触れながらTURNを思考する場となった。
ステージ	8プログラム 3日間にわたり、TURNに関わるアーティストたちによるパフォーマンスやコンサート等様々なイベントを繰り広げた。初日の夜に開催したスペシャルライブを目指して来場する方も見受けられ、TURNフェスの会場でしか味わえないパフォーマンスの数々に会場も盛り上がりを見せた。

トーク	12プログラム 昨年度のTURN フェス3に引き続き、TURN フェス4でも異なる分野のゲストを招き、3日間通して様々なトークイベントを開催した。TURNの参加アーティストや交流先の関係者と、TURN交流プログラムや海外展開などの現場を振り返り、それぞれで生まれた萌芽や思考において考察を深めた。また各方面で活躍する実践者とともに、TURN LANDやTURNのコンセプトに親和性がある、他のプログラムの関係者をゲストに招き、教育、福祉、移民、海外展開、コミュニティとアートの関係性、2021年以降の文化的可能性など、多様なテーマを交えて語り合った。
-----	--

#### 4 TURNミーティング

TURNの可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先などの関係者とともに、各分野で活躍するスペシャルゲストを招き、様々な視点からTURNを考察した。

	開催日時	会場	ゲスト	内容	参加者(人)	参加料
第5回	5/13 14:00~17:00	東京藝術大学美術学部中央棟1F 第1講義室	近藤良平(振付家・ダンサー・コンドルズ主宰) 演奏:角銅真実とオーケストラ達だ(葛城梢/寺田耀児/日比野湖/横手ありさ/角銅真実)	「近藤さんと日比野さんがざっくばらんにTURNを話す」と「2018活動計画」の2部構成。第1部では近藤良平が登壇し、障害のある人たちと結成したダンスチーム・ハンドルズの映像をとおして、TURNについて語った。第2部では日比野(TURN監修者)と森(TURNプロジェクトディレクター)、奥山(TURNコーディネーター)が、TURNフェス4のテーマである「日常非常日(ピジョビジョビ)」に込めた狙い、今後のTURNの活動について議論した。さらに「角銅真実とオーケストラ達だ」によるライブパフォーマンスでは、角銅がこの日のために書き下ろした新曲を披露。また開始前には、らくだスタジオの田村大による映像「TURN One to Three」の上映会も実施した。	約220	
第6回	10/27 13:15~17:00	東京藝術大学美術学部中央棟2F 第3講義室	藤浩志(アーティスト)、上原耕生(アーティスト)、渡邊慶子(作業療法士)、伊勢克也(アーティスト)、山城大督(アーティスト)、稲庭彩和子(東京都美術館学芸員アート・コミュニケーション係長)、福井千鶴(東京文化会館教育普及担当係長)	第1部では東京都美術館学芸員アート・コミュニケーション係長の稲庭彩和子、東京文化会館教育普及担当係長の福井千鶴を迎え、都立文化施設でのダイバーシティ社会を見据えたコミュニティづくりや人材育成について話を伺った。第2部では、TURNフェス4に参加したアーティストや施設職員が登壇し、写真や映像を見ながらTURNフェスでの出来事やプログラムの狙いなどを振り返った。続いてアーティストの藤浩志によるスペシャル企画「がまくんとかえるくんの紙芝居」が披露され、第3部では引き続き藤が登壇し「がまくんとかえるくん」の「おてがみ」や「おはなし」の物語から読み取れる、アートプロジェクトや作品づくりへのエッセンスについて話を広げた。最後の第4部では、TURN LANDの広がりを中心に、今後のTURNの展望についてトークを行った。	約110	無料
第7回	2/2 14:30~17:00	東京都美術館講堂	ロバート キャンベル(日本文学研究者、国文学研究資料館長)、牧原依里(聾の鳥プロダクション代表、映画作家) モデレーター:渡辺祐(エディター・ライター、J-WAVE『Radio DONUTS』ナビゲーター) 演奏:島田明日香(クラリネット奏者)	「多様性のある社会を考える」と題し、日本文学研究者のロバート キャンベルと映画作家の牧原依里をゲストに招き、クロストークを展開。司会は、エディター・ライターの渡辺祐が務めた。トークは牧原の「自身が聾(ろう)者として生活する中で感じてきた『聾文化』に対して、聴者である他の登壇者は『聴文化』をどのように感じているか」という問いかけから開始。キャンベルはトークを通じて「聴こえることも多様性のうちの一つであるということに気づかされた」と語り、日比野(TURN監修者)は「音のない静かな世界を想像することは可能だが、それは『聾文化』ではないのだろう」と考え始めた。トークの間には、クラリネット奏者の島田明日香が演奏を披露した。	約160	

#### 5 海外展開

プログラム名	TURN - LA TOLA
伝統工芸研修期間	平成30(2018)年5月~6月
交流プログラム実施期間	5/30~6/30
発表	7/7
会場	エクアドル中央大学、カサ・デ・ラス・バンドス、カサ・ソモス、ラ・トラ地区 ほか
主催	エクアドル中央大学、国立大学法人東京藝術大学、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人Art's Embrace
参加アーティスト	大西健太郎、小野龍一、ダイアナ・ボルハ、セザール・ボルティヤ
内容	エクアドル中央大学と国立大学法人東京藝術大学との連携のもと、エクアドルのラ・トラ地区を中心に「TURN - LA TOLA」を実施。「TURN」のコンセプトを軸に、日本からアーティスト2人が日本の伝統的な風習や技術を携えて現地へ赴き、エクアドルのアーティスト2人と協働しながら、ラ・トラ地区のコミュニティでTURN交流プログラムを実施した。また、ラ・トラ地区の抱える地域社会の課題や、住民の日常に触れる交流プログラムでの経験をもとに、同地区の公共空間や文化施設を会場にパフォーマンス等を発表した。

#### 【参加者の声】

##### ●TURN フェス4

- ・様々な「障害」を持つ人やその環境がみえるきっかけとなるので続けてほしいです。
- ・初めてアーティストの方とツアーという形で各ブースを回らせていただきました。自分だけで見るのとだいぶ違って面白さが倍増しました。

・障害のある人もない人も一緒に楽しめる。

### ●TURNミーティング

- ・TURNがどんな活動をしているのか知らなかったのが、一番聞きたかった。シンプルな構造でわかりやすく、今年のテーマをきいて、イメージが広がり、この一年間が楽しみです。(第5回)
- ・具体的な内容を聞いたことや、多様な方面での活動を模索している現状を知ることができた。上野の文化施設の取り組みは関係者の話や事例がわかりやすく説得力があった。(第6回)
- ・自分の中に固定されていた考え方に変化が生じるという経験に対して、恐れを抱かずに向き合うことの重要性を思った。一人ひとりに「主体性」を感じさせながらできるのが、アートと多様性のコラボレーションなのではないかと感じた。(第7回)

### 【サポーターの声】

- ・従来の展覧会とは違って子供達がノビノビしていることが印象的だった。
- ・自由な空間で自由に表現できるTURNの場を見て社会に気づかないところで「当たり前」とか「規律」が重々しく存在するのだなと思った。
- ・ケアする側とされる側の境界が無くなる。それがTURN。

### 【発行物】

TURN PAPER、TURN事業案内、TURN冊子、TURN NOTE 2018、TURNジャーナル 2018

## 04

## Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成

## 【事業概要】

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020年に向け、より多くの人々が文化プログラムに参加できること、また2020年以降の東京の芸術創造環境の向上を目的とした助成事業を実施する。

## 【事業趣旨（目的）】

〈気運醸成プロジェクト支援〉

民間企業など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある芸術文化事業を支援し、文化プログラムを人々へ周知するとともに、2020年に向けた気運の醸成を図る。

〈市民創造文化活動支援〉

都民の日常的かつ主体的な芸術文化活動を支援する。

〈海外発文化プロジェクト支援〉

海外からのアーティスト等の東京での新作発表を支援し、東京が魅力ある都市となるとともに、都民が新しい表現に触れる機会を提供する。

〈未来提案型プロジェクト支援〉

アートとサイエンスの融合により、新しい表現の創造や技術の開発にチャレンジするプロジェクトを支援する。

## ■平成30（2018）年度実績

全体 申請件数： 155件（第1期93件＋第2期62件）

採択件数： 48件（第1期24件＋第2期24件）

交付決定総額： 337,106千円

（第1期130,363千円＋第2期206,743千円）

## 〔内訳〕

第1期（対象期間：平成30（2018）年7月1日～令和2（2020）年9月）

## ①気運醸成プロジェクト支援

申請件数： 35件

採択件数： 7件

交付決定総額： 46,131千円

申請団体名	申請活動名
一般社団法人 Arts and Creative Mind	現代 アウトサイダーアート リアル ー現代美術の先にあるものー
日比谷音楽祭実行委員会	日比谷音楽祭
特定非営利活動法人 東京フィルメックス実行委員会	第19回東京フィルメックス/TOKYO FILMeX 2018
株式会社デザイナーアート	DESIGNART TOKYO 2018
寺田倉庫株式会社	TOKYO CANAL LINKS (HANEDA-TENNOZ)
一般社団法人 TYA Japan	TYA インクルーシブ・アーツ・フェスティバル2019
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会	東京アート&ライブシティプロジェクト

## ②市民創造文化活動支援

申請件数： 26件

採択件数： 8件

交付決定総額： 35,738千円

申請団体名	申請活動名
neoneo編集室	東京ドキュメンタリー映画祭
中野フレッシュロックフェスティバル実行委員会	NAKANO Fresh ROCK FES.2019
渋谷ズンチャカ実行委員会	渋谷ズンチャカ！ 2018
特定非営利活動法人 Ubdobe	THE UNIVERSE
とっておきの音楽祭 in Machida 実行委員会	とっておきの音楽祭 in Machida 2019
合同会社 別視点	マニアフェスタ
株式会社 CINRA	NEWTOWN 2018
トロールの森実行委員会	野外×アート×まちなか トロールの森2018

③海外発文化プロジェクト支援

申請件数： 14件  
採択件数： 5件  
交付決定総額： 21,268千円

申請団体名	申請活動名
ゲーテ・インスティトゥート東京ドイツ文化センター	亡命申-ゲーテ・インスティトゥート・タマスカス@東京
シアターコモンズ実行委員会	シアターコモンズ'19
Art in Country of Tokyo実行委員会	Art in Country of Tokyo 2019
アジア・ミーティング・フェスティバル	アジア・ミーティング・フェスティバル (AMF) 台湾・東京プログラム
ライフアートユニオン	「バリ姫神話」日韓共同舞台製作プロジェクト

④未来提案型プロジェクト支援

申請件数： 18件  
採択件数： 4件  
交付決定総額： 27,226千円

申請団体名	申請活動名
TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH PROJECT	TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH
一般社団法人MUTEK Japan	MUTEK.JP2018
NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会	耳フェス2019~SAVE THE EAR LIVE~
ヴォロシティ株式会社	Art Hack Day

第2期（対象期間：平成30（2018）年12月1日～令和2（2020）年9月）

①気運醸成プロジェクト支援

申請件数： 21件  
採択件数： 8件  
交付決定総額： 66,697千円

申請団体名	申請活動名
公益社団法人能楽協会	ESSENCE能～見どころ！ぎゅっと凝縮・能楽アンソロジー～
NPO法人日本お祭り推進協会リアルジャパン'オン	日比谷大江戸まつり (Hibiya Oedo Matsuri 2019)
スマイルズ	The Chain Museum Tokyo Tokyo Fes 2020
株式会社インフィオラータ・アソシエイツ	東京インフィオラータ2020「ワールドフラワーカーペット in 東京」世界で最も美しい花の絨毯の祭典を東京で！
一般社団法人エル・システムジャパン	世界子ども音楽祭2020 in 東京：仲間と共に奏で、歌い、平和を祝おう
特定非営利活動法人芸術文化ワークス	inc.percussion days 2019-2020 'Xenakis et le Japon in TOKYO'
特定非営利活動法人 東京画	渋谷 東京 好奇心2018-2020 SHIBUYA TOKYO CURIOSITY 2018-2020
合同会社 KUNIO,Inc.	古典▶クリエイティブプログラム2019→2020

②市民創造文化活動支援

申請件数： 14件  
採択件数： 5件  
交付決定総額： 26,318千円

申請団体名	申請活動名
東京カラオケまつり実行委員会	東京カラオケまつり2019
わーどダンスフェスティバル実行委員会	わーどダンスフェスティバル in TOSHIMA2019 ~『ダンスで繋ごう世界と豊島』~
NPO法人シニア演劇ネットワーク	シニア劇団による東京の島巡演の旅2019
一般社団法人日本オルガニスト協会	「オルガンは回る」～トウキョウ・オルガン・マラソン～
医療ネットワーク支援センター	"200人の市民"と"アマチュア演奏家"が作る全く新しい音楽ソサエティ Tokyo Playing Music Camp

## ③海外発文化プロジェクト支援

申請件数： 15件

採択件数： 6件

交付決定総額： 74,251千円

申請団体名	申請活動名
株式会社バルコ	舞台「POLITICAL MOTHER ~Tokyo Cut~」
株式会社オカムラ&カンパニー	バ(ロ)ック トゥー ザ フューチャー / Baroque to the Future 坂田直樹 ∞ イエリーン・ベルワルツ
公益財団法人東京オペラシティ文化財団	カミーユ・アンロ (仮題)
ブリティッシュ・カウンシル	国際共同制作:ジェニー・シーレイ演出による障害のあるアーティスト(日本・英国・ブラジル・バングラデシュ)の舞台芸術作品「テンベスト(仮)」の上演
株式会社東急文化村	HIROSHIMA 太田川七つの流れ
一般社団法人マルタス〇+	SUPER-T マーケットAmsterdam X Tokyo

## ④未来提案型プロジェクト支援

申請件数： 12件

採択件数： 5件

交付決定総額： 39,477千円

申請団体名	申請活動名
東京ミッドタウンマネジメント株式会社	TOKYO MIDTOWN × ARS ELECTRONICA 「未来の学校祭」
株式会社ライゾマティクス	Super Flying Tokyo 2019
株式会社SIL	STREET × TECH : ステテク vol.1
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	落合陽一&日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト Vol.3 音の共感 覚化・身体化による新たなオーケストラ音楽体験創出事業 (仮称)
サードリサーチ開発研究室	Tech-Art Symposium:テクノロジーとしてのアート

※申請団体名および申請活動名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

# 05

## トパコ（都民パフォーマーズコーナー）

### 【事業概要】

#### 1. 第2回トパコ

開催日	平成30（2018）年11月4日（日）
会場	三井アウトレットパーク多摩南大沢 B 街区フェスティバルステージ
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
協力	オリンピック・パラリンピック等経済界協議会
出演者	25人 ・Tonakai（小学生バンド） ・FANTASY（殺陣演武） ・リム&ハッチと仲間達（ウクレレ・フラダンス） ・ハンドベル講座（ハンドベル） ・式参流 南京玉すだレ（玉すだれ）
観覧者数	延べ1,312人

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会参加企業である三井不動産株式会社より会場提供の協力を得て、昨年度に引き続き実施。東京都内で活躍する小学生から高齢者まで幅広い年齢層のアマチュア団体によるパフォーマンスを披露した。

#### 2. 第3回トパコ

開催日	平成31（2019）年3月24日（日）
会場	渋谷ストリーム 稲荷橋広場
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
出演者	49人 ・AOSABA（フリージャズビッグバンド） ・KANA Bellydance Arts（ベリーダンス） ・チアダンスユニットLifeTy（チアダンス） ・多摩ダブルダッチクラブ（ダブルダッチ） ・Yukie indian dance company SAMPATTI（ポリウッドダンス） ・津軽三味線集団弦音巴（津軽三味線）
観覧者数	延べ9,222人

第1回トパコと同じく、週末の買い物客等で賑わう渋谷の中心部を舞台に、トパコの出演登録団体の中から、6組のアマチュア団体が日頃の成果を披露した。

#### 3. トパコ登録アマチュア団体数：101団体（平成31（2019）年3月31日時点）

### 【事業趣旨（目的）】

民間企業等と連携し、自社ビル等の場を開放してもらい、都民の芸術文化活動の発表の機会を創出する事業。2020年に向け、様々な人が文化プログラムへ参画すること、また従来の枠組みや場所にとらわれない文化プログラムの展開に繋げていくことを目的とする。会場提供企業等も含め、より多くの人の文化プログラムへの興味を喚起することも目指す。

## 06

Tokyo Tokyo FESTIVAL  
プロモーション・ブランディング事業

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
総参加者数	延べ22,431人

## 【事業趣旨（目的）】

各種広報やプロモーションイベント等を実施し、Tokyo Tokyo FESTIVAL を効果的にプロモーション・ブランディングすることで、文化の面から大会開催気運の醸成を図っていく。

## 【開催状況】

## 1. プロモーションイベント

Tokyo Tokyo FESTIVAL をより多くの人に知ってもらうため、ゲストを招いたイベントを都内各所で計4回開催した。

開催日	会場	プログラム名	出演者名	内容	参加者（人）
10/24	東京芸術劇場 プレイハウス	トークイベント「文化芸術 都市 TOKYO の未来」	百田夏菜子、本広克行、 宮城聡、小池百合子	「演劇」というテーマを共通項に、 東京の多彩で奥深い芸術文化と これからの東京の在り方について 出演者が意見を交わしたトー クイベント	613
11/9	羽田空港国際線旅客ター ミナル4階「江戸舞台」	Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーションイベント第 1弾「東京の芸術文化を世 界へ」	市川海老蔵、吉本光宏、 小池百合子、東京都交響 楽団による弦楽四重奏	世界への玄関口としての象徴的 な場所である、羽田空港国際線 旅客ターミナルで実施したプロ モーションイベント	93
3/20	秋葉原 UDX GALLERY	Tokyo Tokyo FESTIVAL フォーラム「東京はアートの 力を信じている。」	田口亜希、中井美穂、伏 谷博之、吉本光宏、加藤 弘子、日置圭子、山野井 寛之	2020年に向けて東京が世界中 から注目されていく中、Tokyo Tokyo FESTIVAL のねらいや 今後の展開、全体像をより多く の人に知ってもらうために実施 したフォーラム	125
3/30	KITTE 1階アトリウム	Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーションイベント第 2弾「文化でつながる。未 来とつながる。」	Little Glee Monster、 大川義秋、DON ALMAS、 森田智博、小池百合子、 東京都交響楽団による弦 楽四重奏	2020年に向けて文化の面から 気運醸成を図るため、大会500 日前のタイミングをとらえて実 施したプロモーションイベント	21,600

## 2. 各種広報活動

Tokyo Tokyo FESTIVAL の取組みが多くの人に伝わるよう、以下の広報活動を実施した。

## (1) 公式ウェブサイトのリニューアル

<https://tokyotokyofestival.jp/> <https://tokyotokyofestival.jp/en/>

新着情報や今後開催予定のプログラムを掲載し、Tokyo Tokyo FESTIVAL を網羅的に確認できる内容に更新。

## (2) 交通広告媒体における集中広報

Tokyo Tokyo FESTIVAL のコンセプトコピーである「文化でつながる。未来とつながる。」をイメージしたビジュアルを作成し、都内ターミナル駅で展開。

## (3) 広報ツールの作成

プロモーションイベントや各文化プログラムの会場で配布する広報グッズ、テレビやウェブサイト等で放映するプロモーション動画等を作成。

## 【参加者の声】

- ・1部でTokyo Tokyo FESTIVAL の概要を掴み、2部でコンテンツ詳細を知ることができ、興味が深まった。参加するのが楽しみ。(3/20フォーラム)
- ・2020年に向けた13のプロジェクトに大いに期待したい。(3/20フォーラム)
- ・2020年が文化の祭典でもあることが知れて良かった。(3/30イベント)
- ・若い方々の熱気でとても楽しく、賑わっていた。またこのような企画があると良い。(3/30イベント)
- ・大道芸が好きなので、ちょうど通りかかって見ることができて良かった。(3/30イベント)

# 07 東京芸術文化創造発信助成、東京地域芸術文化助成、 芸術文化による社会支援助成

## 【事業概要】

東京の芸術文化の魅力を上向きに世界に発信していく創造活動を支援するため、発信力のある活動を行う団体等に対する助成を実施する。若手、中堅の芸術団体への支援や、最長3年にわたる長期助成等、今後の成長が期待される団体を中心にサポートするとともに、地域振興や社会の課題に対応する特徴ある助成を行っている。

## 【事業趣旨（目的）】

### 東京芸術文化創造発信助成（【単年助成プログラム】【長期助成プログラム】）

「東京芸術文化創造発信助成」は、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体等に対して活動経費の一部を助成する。

【単年助成プログラム】では、この1年間に東京都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、国際的な芸術交流活動、また東京の芸術創造環境の向上に資する各種活動をサポートする。

【長期助成プログラム】では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップの後押しを目的に最長3年間の支援を行う。また、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成する。

### 東京地域芸術文化助成

東京都内の無形民俗文化財を活用した地域の文化の振興に資する公演活動等や特定の地域における文化資源を活用した事業を実施する東京を拠点とするNPOや実行委員会、芸術団体、保存会、継承団体等に対して活動経費の一部を助成する。

### 芸術文化による社会支援助成

様々な社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動を助成する。社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する活動を支援する。

## 平成30（2018）年度実績

### 東京芸術文化創造発信助成

申請件数：単年助成プログラム292件、長期助成プログラム25件

採択数：単年助成プログラム114件、長期助成プログラム5件

交付決定総額：147,030千円

単年助成第1期（助成事業対象期間：平成30（2018）年4月1日～令和元（2019）年6月30日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	高橋悠治作品演奏会実行委員会	高橋悠治作品演奏会 I / 歌垣
	団体	21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」	Tokyo Cantat 2018
	団体	一般社団法人 アンサンブル・ノマド	アンサンブル・ノマド定期演奏会 第63～65回「超える vol.1～3」
	団体	公益財団法人 東京二期会	東京二期会オペラ劇場「後宮からの逃走」
	団体	一般社団法人 東京シンフォニエッタ	東京シンフォニエッタ2018年度定期演奏会（第43・44回）
	団体	作曲家グループ<邦楽2010>	作曲家グループ<邦楽2010>コンサート 音のカタログvol.8
	団体	川島素晴 Works 実行委員会	川島素晴 works vol.2 by 神田佳子
演劇	団体	田尾下哲シアターカンパニー	OPERA ART ACADEMIA 2018 -オペラという芸術表現を360度の視点から参加者と共に考える年間プログラム-
	団体	劇団 温泉ドラゴン	温泉ドラゴン第11回公演「嗚呼、萬朝報！」
	団体	ブルドッキングヘッドロック	ブルドッキングヘッドロック
	団体	有限会社 ゴーチ・プラザーズ	ゴジゲン第15回公演「君が君で君君で君を君を君を」
	団体	Q	Q『地底妖精』リクリエーション版 再演
	団体	チーム夜営	チーム夜営vol.6「上にまいます。」
	団体	ARICA	孤島 On the Island
	団体	合同会社アルシュ	庭劇団ベニノ「蝸入道 忘却ノ儀」
団体	□字ック	番外公演「FUTAMATA vol.2」	

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
演劇	団体	劇団子供鉦人	真夜中の虹
	団体	水素74%	ロマン
	団体	範宙遊泳	範宙遊泳新作公演(「フィジカルシアター・フェスティバル吉祥寺」参加作品)
	団体	mizhen	溶けない世界と
	団体	TAPE 実行委員会	シェイクスピア作品の上演とワークショップを通じたアジアの演劇人による創造的交流
	団体	有限会社アゴラ企画	青年団国際演劇交流プロジェクト 『GHOSTs』
	団体	垂細垂の骨	演劇でアジアを繋ぐ2018
	団体	合同会社 マームとジブシー	IL MIO TEMPO-わたしの時間- イタリア公演
	団体	有限会社ストアハウス	ストアハウスコレクション
	団体	KPR/開幕ベナントレース	あしたの魔女ヨー [或いは Rocky Macbeth]
	団体	一般社団法人 mamagoto	台北芸術祭2018『我並不哀傷 是因為你離我很遠(わたしが悲しくないのはあなたが遠いから)』
団体	合同会社 風姿花伝プロデュース	シアター風姿花伝 若手支援事業プロモシングカンパニー「パラドックス定数」	
舞踊	団体	一般社団法人アオキカク	新人Hソケリッパ! 東京近郊路上ダンス「日々荒野」ツアー～路上にて生まれる景色と未来の行方～
	団体	N//K	N//K 新作公演
	団体	ROCKSTAR 有限会社	可能性の獣たち2019
	団体	「ダンスがみたい!」実行委員会	ダンスがみたい! 20「病める舞姫」を上演する
	団体	トルネージョ	森田志保フラメンコ公演 「はな9」
	団体	ながめくらしつ	ながめくらしつ 結成10周年記念 新作現代サーカス公演
	団体	Baobab	Baobab 第11回本公演「フィールド」
	団体	エルタニン	eltanin - 鈴木竜ソロプロジェクト:『BU/AFTER RUST』@シビウ国際演劇祭
	団体	Co.Ruri Mito	Co. Ruri Mito 新作公演 「me.me」
団体	クリエイティブ・アート実行委員会	インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響-Kyo 韓国公演	
団体	団体せきかおり	「RAISU / ライス」 Contemporary Dance Production Center (CEPRODAC、メキシコ)における振付家、関かおりによるクリエーション・レジデンシー・プロジェクト	
美術・映像	団体	インナー・ランドスケープス・プロジェクト・イン・ジャパン 実行委員会	インナー・ランドスケープス・プロジェクト・イン・ジャパン
	団体	合同会社ダイスコネクティング	ざわれる国宝を楽しもう ～新しい美術鑑賞法「賞道(しょうどう)」のいろは～
	団体	ANIME SAKKA ZAKKA	ANIME SAKKA ZAKKA anthology
	団体	「わたしの穴 美術の穴」製作チーム	「わたしの穴 途方も無い風景へ」
	個人	白井良平	畠山記念館におけるグループ展
	団体	ハギワラプロジェクト	Devening ProjectsとのExchange Show
	団体	「広島」展実行委員会	Chim ↑ Pom展「広島!!!!!!」(New York)
	団体	田中制作集団	ミグロ現代美術館(チューリッヒ)での個展における新作映像制作
	団体	現代家族リサーチーズ	現代家族リサーチーズ
	個人	小山泰介	小山泰介個展『SENSOR_CODE』
	団体	ラーニングプロジェクト実行委員会	国際シンポジウム カタストロフの時代の美術:アーティストと文化施設の取り組み
	個人	小林勇輝	マリナー・アブラモヴィッチ回顧展 "The Cleaner "におけるパフォーマンス
	個人	村田冬実	Comfort Station Visual Arts Program 2018 「Unstable #2」
	団体	毛利悠子「Voluta」展実行委員会	毛利悠子「Voluta」
個人	橋本聡	展覧会とパフォーマンスイベント《闇+時=夜》の開催	
伝統芸能	団体	公益財団法人 日本舞踊振興財団	日印芸術の祭典(日本舞踊とインド芸術のコラボレーション凱旋公演)
	個人	吉村 七重	邦楽展 Vol.34 Koto Collection Today
	団体	日本尺八演奏家協会(JSPA) 設立準備委員会	巢鶴鈴慕 VURSUS 鶴の巣籠り
	団体	公益社団法人 能楽協会	第15回 ユネスコ記念能
	団体	十二音会	十二音会 第四十回公演
	団体	現代邦楽作曲家連盟	第32回 現代邦楽作曲家連盟作品演奏会
	団体	「今藤政太郎作品演奏会」実行委員会	第4回 今藤政太郎作品演奏会
	団体	現代邦楽"考"	現代邦楽"考"
	団体	一般社団法人 伶楽舎	伶楽舎 子どものための雅楽コンサート2018
	個人	小濱 明人	第1回 小濱明人 尺八リサイタル
	団体	邦楽四重奏団	邦楽四重奏団 concert vol.10
	個人	新内多賀太夫	新内 多賀太夫の会

# 芸術文化支援事業

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
複合	団体	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	現代日本演劇のダイナミズム
	団体	青山実験工房実行委員会	青山実験工房公演 第1回
	団体	さんびん	日本縦断! 秋祭り巡業公演『NEW HELO』～突撃! 隣のプレシヤスご飯、デリシヤス!!～
	団体	国際能プロジェクト実行委員会	能リ・イマジンド2018, ロンドン能音楽ライブ、マドリッド 能公演
	団体	特定非営利活動法人 ハーモニーオブジャパン	特定非営利活動法人 ハーモニーオブジャパン ハワイ日系移民 GANNENMONO 150周年記念事業「日本とハワイを永遠に繋ぐ伝統芸能特別公演」
	団体	音楽詩劇研究所	トランス・ステップロードー 東京プロジェクト
	団体	アジア女性舞台芸術会議実行委員会	第3回アジア女性舞台芸術会議・ベトナム
	団体	特定非営利活動法人 東京ノーヴィ・レポーターシアター	ロシアにおける日本年記念事業「陰陽師 鉄輪恋愛輪舞曲(かなわぬこいおののロンド)」ロシア公演
	団体	特定非営利活動法人 舞台芸術制作者オープンネットワーク	APPキャンプ in インドネシア プロデューサー派遣事業
団体	異形の愛製作委員会	異形の愛2018製作委員会	

単年助成第2期(助成事業対象期間:平成31(2019)年1月1日~令和元(2019)年12月31日)

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」	Tokyo Cantat 2019
	団体	Point de Vue	Point de Vue vol.13
	団体	Ftarrri (ふたり)	Ftarrri Festival
	団体	芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ	オーケストラ・ニッポニカ 第34回演奏会<間宮芳生90歳記念>
	団体	ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン 2019年音楽祭
	団体	特定非営利活動法人 芸術文化ワークス	加藤訓子 2019 MONA FOMA レジデンシー
	団体	トラベルムジカ	「トラベルムジカ」アハトブリュッケン音楽祭2019招聘公演
演劇	団体	くちびるの会	『疾風のメ』
	団体	ニカサン	ニカサン公演「アフターフィルム」
	団体	新聞家	屋上と屋内
	団体	口口	口口 vol.15
	団体	円盤に乗る派	清潔でとても明るい場所を
	団体	劇団 温泉ドラゴン	温泉ドラゴン第13回公演『渡りきらぬ橋』
	団体	範宙遊泳	範宙遊泳『うまれてないからまだしねない』
舞踊	団体	THEATRE MOMENTS	日馬共同制作「パニック」& THEATRE MOMENTS「檜山節考」ダブル公演
	団体	岡崎藝術座	神里雄大/岡崎藝術座『バルバライソの長い坂をくだる話』東京公演
	団体	Co.Ruri Mito	Co. Ruri Mito新作公演「me.me」
	団体	Tarinof dance company	Tarinof dance company New Creation 2019
	団体	eltanin	eltanin 第1回カンパニー公演<LOST THING>
	団体	岩淵貞太 身体地図	[岩淵貞太 身体地図] タンス公演2019『残光/曙光』
	団体	東雲舞踏	舞踏誕生60周年記念公演『Quiet House』
美術・映像	個人	樋口朋之	樋口朋之
	個人	市原えつこ	来訪神・祭礼儀式のリデザイン
	個人	ヴィンセント・ライタス	「Breathing in/ex-terior」展
	団体	国立奥多摩美術館	「国立奥多摩美術館～D.I.Y「映画」撮影展覧会～」
	団体	ザ・ユージーン・スタジオ株式会社	「Lyr」
	団体	アサクサ実行委員会	ミン・ウォン来日制作
	個人	杉浦 藍	個展「Some Ways to Know Spring has Sprung」開催、及びNida Art Colonyでの滞在制作
伝統芸能	団体	有限会社 遊工房	「アイミタガイ」—東京・London若手作家AIR交換活動、その実践と評価
	団体	「徹の笛」実行委員会	徹の笛 一十回福原徹演奏会—
	団体	東京神楽坂組合	第三十六回 神楽坂をどり
	団体	一般社団法人 新内	人間国宝の会
複合	団体	一般社団法人 邦楽離子研究所蔵松会	蔵松会『心に響く歌舞伎音楽の調べ』モンテネグロ公演
	団体	一般社団法人 もんてん	第5回両国アートフェスティバル
	団体	夢枕	2019年 夢枕 公演 「アウトサイドソサエティ—」
	団体	「鍵」プロジェクト実行委員会	THE 鍵KEY
	団体	一般社団法人 オフィスアルブ	Cross Transit プロジェクト
団体	一般社団法人 文化政策経営人材研究所	CPMエグゼクティブ・プログラム (CPM: Cultural Policy and Management)	

長期助成(助成事業対象期間:平成30(2018)年4月1日~令和2(2020)年3月31日〔2年間〕または平成30(2018)年4月1日~令和3(2021)年3月31日〔3年間〕)

活動分野	団体/個人	申請者名	申請プロジェクト名
音楽	団体	一般社団法人 もんてん	未来に受け継ぐピアノ音楽の実験
演劇	団体	合同会社 DULL-COLORED POP	DULL-COLORED POP 演劇・福島3部作
演劇	団体	特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク	盲ろう者(視聴覚二重障害者)への観劇サポート支援

活動分野	団体/個人	申請者名	申請プロジェクト名
舞踊	団体	合同会社S20	Somatic Field Project リサーチ・公演・ネットワーキング
美術・映像	団体	東京ろう映画祭実行委員会	東京ろう映画祭

平成30（2018）年度実績

東京地域芸術文化助成

応募総数：34件、採択数：21件

交付決定総額：10,300千円

（助成事業対象期間：平成30（2018）年4月1日～平成31（2019）年3月31日）

	個人/団体	申請者名	申請活動名
一次募集	団体	代々木果道会	代々木果道会別会「一之輔落語×竹灯籠能『紅葉狩』」
	団体	三遊亭美るくの小笠原落語会	小笠原諸島返還50周年 記念寄席
	団体	一般社団法人 糸座	文化財で体験する伝統芸能（仮）
	団体	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2018
	団体	まち中つながる展覧会実行委員会	まち中つながる展覧会
	団体	第16回両国にぎわい祭り実行委員会	第16回 両国にぎわい祭り
	団体	学校法人 明治学院	明治学院チャペルコンサートシリーズ2018 ヤン・エルンスト&マインデルト・ツヴァルト デュオリサイタル
	団体	下北沢音楽祭実行委員会	下北沢音楽祭
	団体	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会	第62回東京高円寺阿波おどり
二次募集	団体	高円寺演芸まつり実行委員会	第9回高円寺演芸まつり
	団体	江東区民まつり中央実行委員会	江東区民まつり中央まつり民俗芸能大会
	団体	八王子車人形 西川古柳座	八王子車人形 西川古柳座
	団体	目黒流 貫井囃子保存会	貫井囃子体験教室（仮）
	団体	立川シアタープロジェクト実行委員会	子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台vol.3 「ドリトル先生と動物たち、月へゆく」
	団体	39アート in 向島実行委員会	39アート in 向島2019
	団体	調布市せんがわ劇場イベント実行委員会	JAZZ ART せんがわ2018
	団体	創エネ・あかりパーク2018 実行委員会	創エネ・あかりパーク2018 ステージプログラム
	団体	でんちゆうず	DenchuLab.2018
三次募集	団体	下北沢映画祭実行委員会	第10回下北沢映画祭
	団体	染の小道実行委員会	染の小道2019
	団体	王子狐の行列の会	第26回王子狐の行列

平成30（2018）年度実績

芸術文化による社会支援助成

応募総数：44件

採択数：16件

交付決定総額：9,940千円

社会支援助成第1期（助成事業対象期間：平成30（2018）年4月1日～令和元（2019）年6月30日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
演劇	団体	特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク	ホスピタルシアタープロジェクト2018
	団体	特定非営利活動法人舞はんど舞らいふ	聴者もろう者もみんな楽しく！手話ダンス・ミュージカル「HAND POWER」
舞踊	団体	コミュニティダンス・アソシエーション・東京	コミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール2018
美術	団体	アールブリュット立川実行委員会	アール・ブリュット立川2018～こころが描くアート展～
	団体	knock-knock	ミュージアムに行こう
伝統芸能	団体	公益財団法人 十四世六平太記念財団	第3回 “手話”で楽しむ能狂言鑑賞会
複合	団体	一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ	聴覚障害者アテンドによる体験型エキシビジョン「ダイアログ・イン・サイレンス2018」
	団体	おこわ	こどもと音楽の未来をつくる

社会支援助成第2期（助成事業対象期間：平成31（2019）年1月1日～令和元（2019）年12月31日）

活動分野	団体/個人	申請者名	申請活動名
音楽	団体	Baby&Mama ART	0歳からのコンサート
演劇	団体	SAC ミュージカルカンパニー	SACミュージカル「ブンナよ、木からおりてこい」
舞踊	団体	特定非営利活動法人 みんなのダンスフィールド	『未来へのまなざし』ワークショップ&アーカイブー子どもたちはインクルーシブ・ダンスで対話するー
美術・映像	団体	クリエイティブ・アート実行委員会	東京アート・スクール
美術・映像	団体	Nomad Art ノマドアート	「おやこ・de・アート展 2019」 in 立川（仮）
複合	団体	スロームーブメント実行委員会	SLOW MOVEMENT SHOWCASE & FORUM vol.3におけるワークインプログレス
複合	団体	特定非営利活動法人 こどもの城合唱団	こどもたちからのサウンドメッセージ ～ Music Connects Us! ～
複合	団体	コドモチョウナイカイ事務局	(仮)コドモチョウナイカイ「デザインピック」2019

※ 申請者名および申請活動名は変更になる場合があります。

# 08

## 東京芸術文化創造発信助成 【長期助成プログラム】活動報告会

### 【事業概要】

開催期間 平成30（2018）年6月、9月、11月  
 会場 アーツカウンシル東京 会議室  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 入場者数 計108人

### 【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年度より開始した東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】の助成対象事業を終了した助成採択団体による、公開型の活動報告会。助成採択団体による助成対象活動を振り返るプレゼンテーション、担当プログラムオフィサーとの対話形式による成果と課題等の深掘り、事業内容に関連したデモンストレーション等を通して、助成対象事業の成果の検証と紹介、団体の今後の展望の共有を図るとともに、長期助成プログラムの成果紹介と広報につなげた。

### 【開催状況】

開催日	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者（人）
6/18	第4回 創作と上演を積み重ねて見えてくる作品の成熟とは～ダンス・カンパニー ニブロールのアジアでの挑戦～ 【平成25（2013）年採択：活動期間3年間】	Nibroll 報告者：矢内原美邦（振付家・演出家・劇作家、ニブロール主宰）、高橋啓祐（映像作家）、SKANK／スカンク（音楽家）	<p>【第1部】</p> 活動概要の自己紹介と自己評価・分析 ○「リアルリアリティ」のクリエイションと上演にあたっての背景・目標 ○活動概要：3年間の活動全体の流れ、各年に取り組んだこと ○活動過程での変化・変遷 <p>【第2部】 深掘り振り返り（インタビュー形式）</p> ○当初の目標、目的の達成度について ○活動する中での変化、成長、長期プロジェクトならではの苦労など ○アジアへの関心が生まれた経緯 ○長期助成プログラムの評価 ○長期助成以後の活動の展開 ○これからの課題、目標、ヴィジョン等 <p>【助成対象活動の概要】</p> 振付家・矢内原美邦を中心に、映像作家・高橋啓祐、音楽家・SKANK／スカンクなど様々な分野で活動するメンバーが集まり舞台作品を発表するダンス・カンパニー ニブロールの「リアルリアリティ」のクリエイションにあたり、平成25（2013）年度より3年間に渡り東京芸術文化創造発信助成の長期助成を受け、和歌山・愛知・東京でクリエイションワークショップを行い、各地の要素を取り入れて創作、上演。その後、国内・アジアツアーを実施。	36
9/20	第5回 伝統芸能の手法で“心の時代”以前・以後をさぐる ——「てんらい」が挑んだ世界最古のシュメール神話「イナンナの冥界下り」 【平成27（2015）年採択：活動期間3年間】	任意団体 てんらい 報告者：安田 登（下掛宝生流ワキ方音楽師）、玉川奈々福（浪曲師）、奥津健太郎（和泉流狂言方音楽師）、ヲノサトル（作曲家、音楽家）、ほかてんらいメンバー5人	<p>【第1部】</p> 活動概要の自己紹介と自己評価・分析 ○本企画の意図と、それを作品としてまとめた経緯 ○3年間の助成を受けた期間のこと ○欧州公演のための準備と、欧州公演 <p>【第2部】</p> 助成以後の発展形としての人形劇『イナンナの冥界下り』 ○ミニ上演 ○何が変わったのか／これからの可能性 <p>【助成対象活動の概要】</p> 世界最古のシュメール神話「イナンナの冥界下り」を、最古の言語シュメール語と能楽を軸に、日本伝統芸能の様式を用い、上演するプロジェクト。3年間にわたって段階的に創作が重ねられ、定期的なワークショップと小公演を通じて創作過程を一般公開し、イギリスとリトアニアで海外公演を行った。	35

開催日	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者(人)
11/29	第6回 「みんなで一緒に舞台を楽しもう！」—当事者とともにすすめる観劇サポートの研究と実践 【平成27(2015)年採択:活動期間3年間】	特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 報告者: 廣川麻子 (特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長)、石川絵理 (特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク事務局長)	【第1部】 助成対象活動の紹介 ○活動概要: 活動の目標、3年間の活動全体の流れ、各年に取り組んだこと ○活動過程での変化・変遷  【第2部】 音声ガイド、舞台字幕、舞台手話通訳の実演 音声ガイド: 鈴木大輔 字幕操作: 鎌倉宏志 舞台手話通訳: 小島祐美  【第3部】 深掘り振り返り(インタビュー形式) ○活動過程での発見、変化・変遷など ○観劇サポート支援を受けた団体や観客からの反応 ○長期助成プログラムの評価 ○これからの課題、目標、ビジョン等  【助成対象事業の概要】 「みんなで一緒に舞台を楽しもう！」を合言葉に、障害があっても気軽に劇場に足を運び、観劇ができるような社会づくりを目指して設立された特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワークによる事業。平成27(2015)年度から3年間の長期助成を受け、手話通訳や音声ガイドなど観劇サポートの導入を希望する劇団や劇場など主催者に対して助言や機材提供、人材派遣などの観劇サポート支援を実施するとともに、聴覚障害を持つ演劇人が演劇の稽古やワークショップなどに参加する際の手話通訳の派遣を行った。	37

**【参加者の声】**

- ・期待していたより作り手の率直な思い、それも作品作りのアートの部分だけでなく、ビジネス的な視点も語られていたのが良かった。映画や演劇と比較するとコンテンポラリーダンスのぜいじゃくな環境が理解できたし、問題、課題、解決の仕方も見えてきたような気がした。
- ・無駄な時間こそ作品作りに大事だという考え方は興味深かった。また、自国に留まらず、海外の芸術家との共同作業で試行を積み重ねていく中で様々な発見をしてきたこと、改めてグローバルな視点の重要性を感じた。
- ・文化に対する日本の取り組みの深刻度がよく分かった。アーティストが生きていくために助成金の使い方も色々なプロジェクトに広くあまねくではなく、一つに集中するなどもありかと思う。コンテンポラリーダンスの高齢者によるボトムアップも一つの方法だが、やはり若いアーティスト、若い人たちのことも考えるのが長期的には有効では。
- ・助成側が何を期待して助成したか、長期の活動をどう評価しているかも少しでいいから伺いたかった。
- ・3年間の活動がダイジェストされており、とても分かりやすい内容だった。また長期助成のメリットなどについても理解できたので良かった。
- ・長期間の助成による作品の変化や挑戦を知ることができ、良かった。
- ・ミニ公演が見たかったことが一番の参加動機でしたが、3年に渡る活動の発展の様子がとても面白かった。
- ・これまでに見た「イナンナの冥界下り」の歩みを知ることができたこと、また安田先生をはじめ登壇者のみなさま方、ならびに関係者の方々のご尽力やパフォーマンスにこめられた思い、etcを拝聴できた貴重な機会だった。
- ・初めて舞台手話通訳、音声ガイドを体験した。このような体験のできる場が増えると良いし、存在を知ってもらえたらと思った。
- ・音声ガイドと字幕の実演が画面なし、音声なしで体験できたのが有意義だった。音声ガイドも舞台手話通訳も、人材育成が進むことを願う。
- ・海外向けの字幕制作などは提供したことがあるが、障害者向けの情報を初めて知り、もっと様々な情報を知りたいと思った。

# 09

## 伝統芸能公演

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年9月17日（月・祝）、12月9日（日）、平成31（2019）年1月2日（水）・3日（木）、1月17日（木）
会場	国立劇場 大劇場、狛江エコルマホール、東京国際フォーラム、世田谷パブリックシアター
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
入場者数	延べ5,389人

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の活性化・普及およびその魅力を幅広く国内外に発信することを目的として、多様なジャンルの伝統芸能を取り上げ、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層にその魅力を知り楽しんでもらうよう、初心者にもわかりやすく、その魅力を様々な角度や切り口から紹介する。

### 【開催状況】

開催日	公演名	会場	曲目等	出演者等	入場料（円）	入場者（人）
9/17	大江戸寄席と花街のおどり その八※1	国立劇場 大劇場	【第一部】 大江戸寄席 落語 水戸大神楽 紙切り 落語「男の花道」 【第二部】 花街のおどり 「元禄花見踊」 「風流船崩」 「玉兔」 「浅妻船」 「年中行事」 「二上がり都々逸」 「廻り灯籠」 「明け染めて」 「卯の花」 「二人狸々」ほか	葛西聖司 【第一部】 五明樓玉の輔、柳貴家 小雪、柳貴家雪之介、 林家正楽、春風亭小朝、 太田その社中、三遊亭 好也 【第二部】 新橋芸者連中、赤坂芸 者連中、浅草芸者連中、 神楽坂芸者連中、芳町 芸者連中、向島芸者連 中、櫻川七好、櫻川七 助、櫻川八好	S席：5,000 A席：4,000 学生：2,000 3階席（当日券 のみ） 一般：1,000 学生：500	1,355
12/9	第19回多摩川流域郷土芸能フェスティバル	狛江エコルマホール	山梨県丹波山村 獅子舞、 奥多摩町 囃子、山梨県小 菅村 神楽、多摩市 囃子、 日野市 囃子、府中市 囃 子、調布市 囃子、稲城市 囃子、狛江市 おはやし	丹波山村文化財保存 会、小丹波こ組囃子連、 小永田神代神楽保存 会、武蔵国一之宮小野 神社囃子連、日野市祭 ばやし連合会、府中囃 子保存会 本町支部、 調布市郷土芸能祭ばや し保存会（下石原はや し連）、青渭囃子保存 会、緒方はやし保存会	無料	687
1/2、3	萬斎プロデュース「新春狂言」 (J-CULTURE FEST 連 携事業※2)	東京国際フォーラム ホールB5	謡初「雪山」／狂言・演 目の解説 野村萬斎 狂言「二人袴」野村裕基 狂言「棒縛り」野村太一 郎	野村萬斎、野村裕基、 野村太一郎 ほか	4,000	1,427
1/2、3	詩楽劇「すめらみことの 物語～宙舞飾夢幻（そら にまうかざりのゆめ）～」 (J-CULTURE FEST 連 携事業※2)	東京国際フォーラム ホールB7	詩楽劇「すめらみことの 物語～宙舞飾夢幻（そら にまうかざりのゆめ）～」	市川猿之助、愛加あゆ、 川井郁子、吉井盛悟、 尾上菊之丞 ほか 脚本：横内謙介 演出：尾上菊之丞 時代考証：磯田道史 装束衣裳：井筒企画	6,000	1,359
1/17	伝統芸能普及公演 「平家物語」の世界 日本 人の心をつつず古典芸能	世田谷パブリックシア ター	琵琶「壇の浦」友吉鶴心 講談「扇の的」神田松之 丞 舞踊×琵琶「忠度」尾上 菊之丞・友吉鶴心 長唄「静と知盛」尾上右 近	友吉鶴心、神田松之丞、 尾上菊之丞、尾上右近	一般：4,000 学生：3,000	561

※1「大江戸寄席と花街のおどり その八」制作協力：独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場・国立演芸場）

※2「J-CULTURE FEST」主催：株式会社東京国際フォーラム、共催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京

## 【参加者の声】

### ●大江戸寄席と花街のおどり その八

- ・葛西さんの豊富な知識と的を得た分かりやすい解説が心地よく、素晴らしかった。普段は見られない芸者さんたちの踊りがとても良かった。(50代・女性)
- ・今回初めて拝見させていただきましたが、大変楽しく、今後も観たいと思います。(70代・男性)
- ・素晴らしい企画。なかなか目にする事の出来ない小朝さん、柳貴家姉弟の見事な芸、踊るような紙切り、大勢の芸者さん、どれも本物の芸を堪能させていただきました。長唄、清元、小唄、端唄、全部聴かせてくださり、見せてくださって感激しました。(60代・女性)

### ●萬齋プロデュース「新春狂言」(J-CULTURE FEST 連携事業)

- ・狂言について親しみやすく、かつ本物の世界を観ることができて、とても楽しかったです。萬齋さんのお話もとても刺激を受けました。(20代・女性)
- ・とっても楽しめました。いつも能とセットで拝見していた狂言でしたが、単独公演では初めてで、解説もあって、とても楽しかったです。ありがとうございました。若手の皆さんのレベルがものすごく高くて、すっかりファンになりました。(40代・女性)

### ●詩楽劇「すめらみことの物語～宙舞飾夢幻(そらにまうかざりのゆめ)～」(J-CULTURE FEST 連携事業)

- ・猿之助さんの舞が見られ、とても嬉しかったです。バイオリンや笛など、伝統芸能との融合がとても斬新でした。(30代・女性)
- ・伝統の重みを分かりやすく伝えてくれて、ありがとうございました。素敵な舞台でした。最後は完全に引き込まれました。「日本の心を伝えていきます」の言葉が印象的でした。(40代・女性)

### ●「平家物語」の世界 日本人の心をうつす古典芸能

- ・尾上右近さんの舞踏、素踊りなのに静や知盛の装いをしているように見えて素敵でした。美しく、猛々しく、とても感動しました。また観たいです。(40代・女性)
- ・松之丞さんの「扇の的」が良かった。生で講談を聞くのは初めてだったが、前説もあり、理解しやすいストーリーに落とし込んでくれていた。こういう講談ならまたぜひ聞きたい。(50代・女性)
- ・4つの芸事を一緒に見られて大変満足。再演を期待しています。(60代・男性)

### ●第19回多摩川流域郷土芸能フェスティバル

- ・日野市の祭囃子や、府中市の囃子保存会など、多くの子供たちが加わって愛嬌のある舞を披露してくれました。伝統芸能を受け継いでいく観点からも非常に頼もしく、今後より一層の活躍を祈ります。本日はありがとうございました。
- ・各団体ともに郷土芸能の保存に努力されている実態にふれ、感動しました。

# 10

## 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2018～

### 【事業概要】

実施日	平成30（2018）年9月22日（土）10：00～17：00 9月23日（日）10：00～17：00
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
共催	公益財団法人立川市地域文化振興財団
助成協力	東京都
後援	町田市、日野市、日野市教育委員会、あきる野市、あきる野市教育委員会、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益社団法人八王子観光コンベンション協会、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード
事業協力	首都大学東京難波研究室、山野美容芸術短期大学茶道部
会場	JR八王子駅北口 (西放射線ユーロード、中町公園、横山町公園)
出演	八王子車人形 西川古柳座、説経節の会、八王子芸妓衆、長友暘瑤、瀬戸岡獅子舞保存会、中相原囃子連、日野囃子保存会、本郷高等学校日本文化部、武蔵野女子学院中学校・高等学校箏曲部、都立東久留米総合高等学校箏曲部、立川羽三囃子連、八王子祭囃子連合会、人力車岡崎屋惣次郎、人力屋坂福、青木尚哉、宮田太郎、藤みち子、吉野美知子、SIBA、平野透山、三浦咲、中山理恵、首都大学東京難波研究室、山野美容芸術短期大学茶道部
料金	無料（一部参加費あり）
参加者数	9月22日（土）18,903人、9月23日（日）16,399人 合計35,302人

### 【事業趣旨（目的）】

八王子市をはじめとする多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や野外ステージを舞台にした本格的な公演など、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルの開催を通じて、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供するとともに、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成することにより、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承することを目的に実施。

### 【開催状況】

八王子や多摩地域に伝わる伝統文化・芸能の魅力を気軽に鑑賞・体験できる機会として実施し、伝統芸能に馴染みのない方々や若い世代の伝統文化に対する興味・関心を高め、市民文化の向上への一助とすることができた。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていく「東京2020公認文化オリンピックアード」として、多摩地域の伝統を八王子から発信した。

開催日時	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	来場者(人)
9/22 ①14：00～14：30 ②16：30～17：00 9/23 ③13：30～14：00 ④15：00～15：30	中町公園	八王子芸妓衆の華と粋 ～艶やかにおもてなし～	八王子芸妓衆（出演者）めぐみ、まどか、若葉、あやめ、小太郎、菜乃佳、理子、葉月、成華、友う、小菊、小鶴、ふく弥、てる葉、ふみ	演目／姫三社、手古舞木遣り、縁かいな、から傘、二上り甚句	①270 ②300 ③260 ④270
9/22 ①14：30～15：00 ②15：30～16：00		薩摩琵琶～消えゆく余韻に漂う～	長友暘瑤	演目／安宅の関	①150 ②160
9/23 ①10：20～11：00		中相原囃子連～小さな町の大きな絆、今を生きる人たちへ～	中相原囃子連	演目／屋台・昇殿・鎌倉・神田丸・印幡・子守唄・四丁目・車切	①260
9/23 ①11：20～12：00		日野囃子保存会～日野に息づく江戸の祭囃子～	日野囃子保存会	演目／破矢、鎌倉、昇殿、宮鎌倉、国固め、四丁目、仁羽	①220
9/23 ①12：20～13：00		立川羽三囃子連～立川羽衣町の心意気～	立川羽三囃子連	演目／屋台・鎌倉・国固・四丁目・仁羽	①210
9/23 ①14：30～15：00 ②16：30～17：00	①横山町公園 ②中町公園	八王子祭囃子連合会～粋で鯛背な夏の音～	八王子祭囃子連合会	江戸祭囃子、寿獅子の曲	①450 ②200

開催日時	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	来場者(人)
9/22 ①13:30~ ②14:00~ ③14:30~ ④15:00~ ⑤15:30~ 9/23 ⑥11:00~ ⑦11:30~ ⑧12:00~ ⑨12:30~ ⑩14:30~ ⑪15:00~ ⑫15:30~	中町公園付近	茶会～街なかで日本のおもてなし～	山野美容芸術短期大学茶道部 指導：裏千家茶道名誉師範河原宗孝	「立礼式」と呼ぶ、椅子に座ったお茶席で、お菓子とお抹茶によるおもてなし。	①18 ②17 ③10 ④16 ⑤10 ⑥8 ⑦17 ⑧14 ⑨10 ⑩17 ⑪15 ⑫17
9/22 ①10:00~17:00 9/23 ②10:00~17:00		古地図展示～古道、そしてその軌跡～		遠い昔、人が往来していた今はなき道が八王子の地には数多く存在している。現在の八王子と古地図を見比べながら、残された歴史に思いを馳せ、その足跡を探していただいた。	①650 ②750
9/22 ①10:00~17:00 9/23 ②10:00~17:00	綱代園南側蔵の前 近く	人力車展示～文明開化の花形から、未来のstarへ～	首都大学東京難波研究室	自動運転で、しかも2輪で自立して走る未来のEV「Rickshawリクショウ」の展示。同時に明治時代の人力車とともに、人を運ぶ車の変遷を展示。	①500 ②500
9/22 ①10:00~17:00 9/23 ②10:00~17:00	綱代園南側カフス蔵の前	蔵の出店～昔も今も子どもの遊び～		昔ながらの子供の遊び(ケンケンパ、輪投げ、けん玉)を紹介し、参加者にはお面や羽子板への絵付けを体験していただいた。	①270 ②300
9/22 ①13:30~14:00 9/23 ②15:30~16:00 ③16:30~17:00	横山町公園	八王子車人形～魂宿る車人形～	八王子車人形西川古柳座五代目家元西川古柳、説経節の会	①三番叟、東海道中膝栗毛 ②③信太妻、葛の葉子別れの段	①300 ②500 ③310
9/22 ①14:30~15:10 ②15:50~16:30		古道が紡いだ八王子の物語	宮田太郎(解説・語り)、藤みち子(歌)、吉野美知子(歌)、SIBA(歌)、平野透山(尺八)、三浦咲(マリンバ)、中山理恵(打楽器)、青木尚哉(ダンス) 宮川絵理・近土歩・村川菜乃・敷地理(ダンス)、望月成一(映像)	経糸と横糸のように交わる古道の数々。山と海の民が出会い、武士が行き交い、庶民が暮らし、地域文化が紡がれる。八王子に繋がり広がる主な古道に着目し、語り・音楽・ダンス・映像・インスタレーションに昇華される伝承のたまはこオリジナル創作舞台。	①600 ②550
9/23 ①11:00~11:30 ②12:00~12:30 ③13:00~13:30		邦楽演奏～中高生による和楽器の響き～	①本郷高等学校日本文化部 ②武蔵野女子学院中学校・高等学校箏曲部 ③都立東久留米総合高等学校箏曲部	①曲目：あこがれ、春景八章、円転 ②曲目：千本桜、舞踏曲、OKOTO ③曲目：人生のメリーゴーランド、ルパン三世'78のテーマ、砧三章	①134 ②148 ③152
9/23 10:00~10:40		瀬戸岡獅子舞～あきる野に伝わる郷土芸能～	瀬戸岡獅子舞保存会	演目/豊年神楽の舞、花掛り、寿の舞	112
9/22 ①10:00~ ②10:30~ ③14:00~ ④16:00~ ⑤16:30~ 9/23 ⑥11:00~ ⑦11:30~ ⑧13:00~ ⑨15:00~	西放射線ユーロード	人力車～歴史の面影を探るめぐり～	人力車岡崎屋惣次郎、人力屋坂福	人力車乗車体験。6台の人力車で、黒旗通りなどをめぐり、八王子の文化の説明を織り交ぜつつ運行した。	①6 ②9 ③9 ④10 ⑤10 ⑥12 ⑦11 ⑧12 ⑨11
9/22 ①13:00~13:30 ②15:00~15:30 9/23 ③14:00~14:30 ④16:00~16:30		華やかな衣裳でお目見え～人力車「お練り」巡行～	八王子車人形西川古柳座、説経節の会、八王子芸妓衆、人力車岡崎屋惣次郎、人力屋坂福	①③は八王子車人形西川古柳座、説経節の会が、②④は八王子芸妓衆が人力車に乗って西放射線ユーロードを練り歩いた。	①210 ②282 ③183 ④236

【参加者の声】

- ・人力車で普段見れない裏通りを見れたし、乗り心地も最高でした！（10代・男性）
- ・地元八王子の伝統を様々な人に知らせる機会はとても素晴らしい。（20代・男性）
- ・八王子車人形と芸妓さんを見たくて来ましたが、他の地域への宣伝はあまりできていない気がします。また車人形の舞台がもう少し高い位置で、直接太陽が当たらないようにしてもらえたら、より多くの人に見やすいのではと感じました。（40代・女性）
- ・車人形を初めてみました。大変面白かったです。またいずれかの機会に全幕見てみたいと思います。
- ・八王子車人形を一度は観たかった。今回1番前の席で観れて良かった。（60代・女性）
- ・古道が素晴らしく、感動しました。八王子の昔の位置づけ等を改めて知り、勉強させて頂きました。（70代・男性）

# 11

## 東京大茶会2018

### 【事業概要】

開催日	平成30（2018）年10月13日（土）・14日（日）、10月20日（土）・21日（日）
会場	江戸東京たてもの園、浜離宮恩賜庭園
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
共催	公益財団法人東京都公園協会（浜離宮恩賜庭園開催のみ）
後援	中央区（浜離宮恩賜庭園開催のみ） 小金井市、小金井市商工会（江戸東京たてもの園開催のみ）
特別協力	東京都華道茶道連盟、東京都高等学校文化連盟茶道部門（浜離宮恩賜庭園開催のみ） 東京都茶道会、公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京たてもの園（江戸東京たてもの園開催のみ）
来場者数	約19,500人

### 【事業趣旨（目的）】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語で解説をする野点、日本の伝統文化を楽しめるステージイベントやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育ててきた「江戸・東京の文化」を紹介する。

### 【開催状況】

開催日	会場	体験者（人）	参加料（円）	イベント	出店	来場者（人）	
10/13、14	江戸東京たてもの園	茶席	高橋是清邸	423	独楽回しパフォーマンス、けん玉パフォーマンス、フォトスポット	小金井市商工会	約8,200
			西川家別邸	409			
			川野商店	276			
		野点		1,096			
		茶道はじめて体験		419			
		WELCOME！英語で楽しむ茶席		254			
	子供のための茶道教室		257				
		計	8,247			計	約19,500
10/20、21	浜離宮恩賜庭園	茶席	中島の御茶屋	676	箏演奏、小唄演奏、能楽ステージ、歌舞伎パフォーマンス、書道パフォーマンス、歌舞伎メイク体験、書道体験	茶菓子、抹茶、伝統小物、お弁当販売等	約11,300
			芳梅亭	522			
		野点		2,087			
		WELCOME！英語で楽しむ野点		693			
		高校生野点		585			
		茶道はじめて体験		550			
		計	8,247			計	約19,500

### 【参加者の声】

- 江戸東京たてもの園
  - ・茶道の基礎を丁寧に教えていただき良かったです。（30代・男性）
  - ・お茶の席では色々とお茶やその道具などについて詳しく説明、お話をさせていただいたので、お茶を学んだ事がなくとも興味深く楽しくお茶をいただくことができました。（40代・女性）
- 浜離宮恩賜庭園
  - ・綺麗な景色と抹茶に癒されました。とても貴重な経験になりました。（20歳未満・女性）
  - ・日本文化が身近に感じられる良いイベントだと思います。（50代・女性）
  - ・素晴らしい野点でした。お茶がとてもとてもおいしくて驚きました。素晴らしいの一言につきます。（50代・男性）

# 12

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018

### 【事業概要】

**開催期間** 平成30（2018）年11月10日（土）、11日（日）  
**会場** 神楽坂界限  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 粋なまちづくり倶楽部  
**助成・協力** 東京都  
**後援** 新宿区、一般社団法人新宿観光振興協会  
**協力** 東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺、東京都消費生活総合センター、若宮町自治会、東京理科大学、法政大学、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 神楽坂支店、スターバックス コーヒー 神楽坂下店、ちかけん、マインド  
**入場者数** 延べ42,541人

### 【事業趣旨（目的）】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用し、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加できる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能の屋外型フェスティバルを実施。

### 【開催状況】

<前夜祭> 11月10日（土） 15：00～19：40

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	料金（円）	入場者（人）
11/10	縁香園、離島キッチン、THEGLEE、神楽坂モノガタリ	店めぐり・古典芸能ライブ	あんみ通（民謡）、松山うめ吉（俗曲）、岡村慎太郎（地唄・箏曲）、本條満留ひで×本條秀英二（端唄）、神田山緑（講談）、尻流複写二（落語）、鶴賀若狭一門（新内節）	神楽坂の飲食店の店内、ライブハウスなどで、神楽坂にゆかりのある実演家による伝統芸能ミニライブを実施。	無料	253
11/10	神楽坂界限	神楽坂路上界限	新内流し：鶴賀若狭一門（鶴賀伊勢吉×鶴賀伊勢一郎 ほか） 城端曳山祭（庵唄）：宝槌会	神楽坂の路地や横丁で、三味線などの流しを実施。	無料	1,127

<本祭> 11月11日（日） 11：30～18：00

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	料金（円）	入場者（人）
11/11	毘沙門天善國寺境内	神楽坂楽座～講釈場	竹本越孝×鶴澤寛也（義太夫節）、神田鯉栄（講談）、琵琶デュオ（薩摩琵琶）、玉川奈々福×沢村豊子（浪曲）	講釈場を再現し、伝統の語り芸を披露。	無料	5,920
11/11	神楽坂界限	神楽坂芸能めぐり街角ライブ	若獅子会（邦楽囃子）、雅楽トリオゆらら（雅楽）、セ三味ストリート（津軽三味線パフォーマンス）、丸一仙翁社中（江戸太神楽）、大多和正樹（和太鼓）×小山豊（津軽三味線）、五二三（箏・尺八）、尺八カルテットGMQ（尺八）、弓連者（胡弓）、藤山大樹（手妻）	神楽坂のメインストリートに3か所のライブスポットを設置し、様々な伝統芸能のパフォーマンスを披露。	無料	24,465
11/11	神楽坂界限	神楽坂路上界限	新内流し：鶴賀若狭一門（鶴賀伊勢吉×鶴賀伊勢一郎 ほか） 城端曳山祭（庵唄）：宝槌会	神楽坂の路地や横丁で、三味線などの流しを実施。	無料	790
11/11	東京神楽坂組合見番	覗いてみようお座敷遊び	神楽坂芸者衆 立方：桃子、小夏、毘よ乃 地方：真由美（唄）、夏栄・櫻子（三味線）、由みゑ（鳴物）	芸者衆のお稽古場「見番」を会場に、芸者衆による唄や三味線、踊りの鑑賞、お座敷ゲームを体験するプログラム。	2,500	76
11/11	赤城神社 神楽殿	赤城神社 夕暮れライブ	丸一仙翁社中（江戸太神楽）、荒井龍鳳（吟詠）×水島結子（薩摩琵琶）、芳村伊十治郎連中（長唄三味線）×若獅子会（邦楽囃子）、司会：シリル・コピーニ	夕景スポットの赤城神社で伝統芸能ライブを展開。	無料	850

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	料金 (円)	入場者 (人)
11/11	神楽坂エリア内7か所、歴史スポット8か所、白銀公園、寺内公園	神楽坂タイムスリップ (スタンプラリー、歴史ガイド、こども広場)	渋谷画劇団 (紙芝居)、上條充 (江戸糸あやつり人形)	名所旧跡をめぐるスタンプラリー、歴史スポットでの案内、こども広場では、紙芝居や江戸糸あやつり人形を実演。	無料	9,060

### 【参加者の声】

- ・ 古典は日本人の心なので、ぜひこの伝統文化を繋げて行ってほしい。(60代・女性)
- ・ 神楽坂という町の歴史の深さを初めて感じた。(50代・男性)
- ・ 普段行かないお寺や路地を歩いて楽しかった。ガイドによる地名や歴史の説明がためになった。(40代・女性)
- ・ 歴史と文化が理解できるので、引き続き毎年開催してほしい。(40代・男性)
- ・ スタンプラリーで、スタッフからの応援の声かけが爽やかで元気になり、楽しく過ごせた。(20代・女性)

# 13 プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

## 【事業概要】

開催期間 平成30（2018）年6月16日（土）～平成31（2019）年3月3日（日）  
 会場 都内12地域  
 主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 入場者数 6,624人

## 【事業趣旨（目的）】

子供から大人まで幅広い方々にクラシック音楽を身近に楽しんでいただくため、観客参加・体験型のオーケストラ公演やアンサンブル公演を、“首都東京の音楽大使”である東京都交響楽団が多摩・島しょ地域で開催する。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げていけるよう気運の醸成を図る。

## 【開催状況】

東京の音楽文化の発信に寄与することを目的として、多摩地域での10公演（オーケストラ6公演、アンサンブル4公演）、島しょ地域では八丈島、青ヶ島2町村でアンサンブル4公演を入場無料で実施。オーケストラ公演では、開演前にヴァイオリン、チェロの楽器体験企画も実施し、多くの方々に楽器に触れていただいた。

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者（人）
6/16	奥多摩町公演 奥多摩文化会館 2階 視聴覚室 共催：奥多摩町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏&ソプラノ ヴァイオリン：横山和加子、沼田雅行 ヴィオラ：樋口雅世 チェロ：古川展生 ソプラノ：三宅理恵 ☆の曲に出演	クライスラー：愛の喜び モーツァルト：セレナード第13番ト長調 K.525《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》 ヴァイロフ：カッチーニのアヴェ・マリア☆ アルディーティ：くちづけ☆ 木村弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 ワーク：大きな古時計 中山晋平/篠原敬介編曲：童謡メドレー しゃぼん玉～背くらべ～兎のダンス～砂山～てるてる坊主～雨降りお月さん～黄金虫～あの町この町 富貴晴美：NHK大河ドラマ『西郷どん』メインテーマ（アンコール） プッチーニ：歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」☆ 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと☆	78
6/24	武蔵村山公演 武蔵村山市民会館 さくらホール	指揮：梅田俊明 管弦楽：東京都交響楽団 司会：朝岡聡	古関裕而（栗山和樹編曲）：オリンピック・マーチ（1964） ロッシェニ：歌劇『ウィリアム・テル』 メンデルスゾーン：フィンガルの洞窟 モーツァルト：交響曲 第39番 変ホ長調 K.543（アンコール） アンダーソン：プリंक・ブランク・ブランク 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン42人、チェロ9人）	813
7/8	日野公演 ひの煉瓦ホール （日野市民会館） 大ホール 共催：日野市市民会館文化事業協会	指揮：梅田俊明 管弦楽：東京都交響楽団 司会：江原陽子	古関裕而（栗山和樹編曲）：オリンピック・マーチ（1964） モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』序曲 K.492 ロッシェニ：歌劇『セビリアの理髪師』序曲 モーツァルト：交響曲 第40番 ト短調 K.550（アンコール） アンダーソン：プリंक・ブランク・ブランク 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン44人、チェロ13人）	980
8/1	町田公演 町田市民ホール 共催：一般財団法人町田市文化・国際交流財団	指揮：梅田俊明 管弦楽：東京都交響楽団 司会：朝岡聡	古関裕而（栗山和樹編曲）：オリンピック・マーチ（1964） メンデルスゾーン：劇音楽『真夏の夜の夢』より“結婚行進曲” ロッシェニ：歌劇『どろぼうかさざぎ』序曲 モーツァルト：交響曲 第41番 八長調 K.551“ジュピター”（アンコール） アンダーソン：プリंक・ブランク・ブランク 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン45人、チェロ15人） ステージ体験（36人）	730
9/24	檜原村公演 檜原村やすらぎの里 3階多目的ホール 共催：檜原村、檜原村教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる金管五重奏 トランペット：内藤知裕、中山隆崇 ホルン：和田博史 トロンボーン：小田桐寛之 チューバ：佐藤潔 特別出演 檜原村長 坂本義次 ☆の曲に出演	サミュエル・シャイト：《戦いの組曲》より「カンツォン・ベルガマスク」 すぎやまこういち：『ドラゴンクエスト』より アンダーソン：トランペット吹きの日 サン＝サーンス：ロマンス へ長調 op.36 アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌 ウォーラー：浮気はやめた 中村八大：上を向いて歩こう☆ 久石譲：ジブリメドレー（アンコール） スーザ：ワシントン・ポスト 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと☆	43

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
9/24	瑞穂町公演 瑞穂ビューパーク・スカイホール 小ホール 共催：瑞穂町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏&ソプラノ ヴァイオリン：大和加奈、山本翔平 ヴィオラ：樋口雅世 チェロ：松岡陽平 ソプラノ：今野沙知恵 ☆の曲に出演	レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲より「イタリアーナ」 モーツァルト：セレナード第13番ト長調K.525《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》 ヴィヴァロフ：カッチーニのアヴェ・マリア☆ J・シュトラウス2世：喜歌劇『ごもり』より「侯爵様、あなたのようなお方は」☆ 木村弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 久石譲：『となりのトトロ』より「ねこバス」「さんぽ」 中山晋平／篠原敬介 編曲：童謡メドレー しゃぼん玉～背くらべ～兎のダンス～砂山～てるてる坊主～雨降りお月さん～黄金虫～あの町この町 富貴晴美：NHK大河ドラマ『西郷どん』メインテーマ 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと☆	188
10/2	八丈島公演 八丈町立三根小学校体育館 共催：八丈町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 ヴァイオリン：遠藤香奈子、大和加奈 ヴィオラ：林康夫 チェロ：松岡陽平	モーツァルト：セレナード第13番ト長調K.525《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章 モーツァルト：弦楽四重奏曲第17番 変ロ長調 K.458《狩》より第1楽章 黒須克彦：『ドラえもん』より「夢をかなえてドラえもん」 織田哲郎：『ちびまる子ちゃん』より「おどるポンポコリン」 久石譲：『ハウルの動く城』メドレー 大野克夫：『名探偵コナン』より「メインテーマ」 アンダーソン：フィドル・ファドル（アンコール） アンダーソン：ワルツィングキャット 【参加体験企画】 全員合唱 野口雨情（作詞） 藤井清水（作曲）：三根小学校 校歌	210
10/2	八丈島公演 八丈町多目的ホールおじゃれ 共催：八丈町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 ヴァイオリン：遠藤香奈子、大和加奈 ヴィオラ：林康夫 チェロ：松岡陽平	モーツァルト：セレナード第13番ト長調K.525《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章 モーツァルト：弦楽四重奏曲第17番 変ロ長調 K.458《狩》より第1楽章、第4楽章 木村弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 久石譲：『ハウルの動く城』メドレー 浜圭介：舟唄 富貴晴美：NHK大河ドラマ『西郷どん』メインテーマ ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー（アンコール） アンダーソン：フィドル・ファドル 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと	102
10/27	青ヶ島公演 青ヶ島村立青ヶ島小中学校 共催：青ヶ島村教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 ヴァイオリン：遠藤香奈子、及川博史 ヴィオラ：森朱理 チェロ：清水詩織	モーツァルト：セレナード第13番ト長調K.525《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番 へ長調 op.96《アメリカ》より第1楽章 三木たかし：『それいけ！アンパンマン』主題歌「アンパンマンのマーチ」 馬飼野康二：『忍たま乱太郎』より「勇気100%」 黒須克彦：『ドラえもん』より「夢をかなえてドラえもん」 織田哲郎：『ちびまる子ちゃん』より「おどるポンポコリン」 大野克夫：『名探偵コナン』メインテーマ 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン8人、チェロ4人）	36
10/27	青ヶ島公演 青ヶ島村立青ヶ島小中学校 共催：青ヶ島村教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 ヴァイオリン：遠藤香奈子、及川博史 ヴィオラ：森朱理 チェロ：清水詩織	モーツァルト：セレナード第13番 ト長調 K.525《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第12番 へ長調 op.96《アメリカ》より第1楽章 木村 弓：『千と千尋の神隠し』より「いつも何度でも」 中山晋平／篠原敬介 編曲：童謡メドレー しゃぼん玉～背くらべ～兎のダンス～砂山～てるてる坊主～雨降りお月さん～黄金虫～あの町この町 久石譲：『魔女の宅急便』メドレー 富貴晴美：NHK大河ドラマ『西郷どん』メインテーマ 【参加体験企画】 全員合唱 高野辰之（作詞）、岡野貞一（作曲）：ふるさと	35
11/17	東大和公演 東大和市民会館ハミングホール 共催：東大和市民会館ハミングホール指定管理者	指揮：キンポー・イシイ 管弦楽：東京都交響楽団 司会：朝岡聡	古関裕而（栗山和樹編曲）：オリンピック・マーチ（1964） リスト：交響詩《レ・プレリュード》S.97 ハイドン：交響曲第101番 二長調 Hob.I:101《時計》（アンコール） 歌劇『フィガロの結婚』序曲 K.492 【参加体験企画】 楽器体験（ヴァイオリン44人、チェロ14人） アフタートーク	624
12/1	日の出町公演 日の出町やまびこホール 共催：日の出町、日の出町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる木管五重奏 フルート：柳原佑介 オーボエ：鷹栖美恵子 クラリネット：勝山大輔 ファゴット：長哲也 ホルン：五十畑勉 特別出演 平井中学校吹奏楽部 ☆ の曲に出演	イベール：《3つの小品》より 第1楽章 ドビュッシー（神田寛明編曲）：小組曲 内田祥子 編曲：日本の歌メドレー ～四季折々のうた～ 三木たかし：『それいけ！アンパンマン』主題歌「アンパンマンのマーチ」 ロジャース：『サウンド・オブ・ミュージック』メドレー 【参加体験企画】 ワルターズ：インスタント・コンサート☆	163

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
3/2	小平公演 ルネこだいら (小平市民文化会館)  共催：公益財団法人小平市文化振興財団	指揮：角田鋼亮 ヴァイオリン：大関万結 管弦楽：東京都交響楽団  司会：江原陽子	古関裕而(栗山和樹編曲)：オリンピック・マーチ(1964) ブラームス：大学祝典序曲 op.80 指揮体験(ブラームス：ハンガリー舞曲第5番を使って) サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ op.28 リスト：ハンガリー狂詩曲第2番 (アンコール) ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番 【参加体験企画】 楽器体験(ヴァイオリン42人、チェロ3人) 指揮体験(3人)	998
3/3	府中公演 府中の森芸術劇場 どりーむホール  共催：公益財団法人府中文化振興財団	指揮：角田鋼亮 ヴァイオリン：大関万結 管弦楽：東京都交響楽団  司会：江原陽子	古関裕而(栗山和樹編曲)：オリンピック・マーチ(1964) ブラームス：大学祝典序曲 op.80 指揮体験(ブラームス：ハンガリー舞曲第5番を使って) ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ op.28 リスト：ハンガリー狂詩曲第2番 (アンコール) ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番 【参加体験企画】 楽器体験(ヴァイオリン45人、チェロ15人) 指揮体験(3人)	1,624

### 【参加者の声】

#### オーケストラ公演

- ・無料のコンサートでモーツァルト39番を全曲聞けるとは思っていなかったので大感激です。導入がオリンピックマーチ、そしてアンコールのピチカートの楽しい曲と、とても良いプログラムだったと思います。(武蔵村山公演)
- ・都心に行かなければ観ることができないクラシックコンサートが多摩地区で、しかも無料で観られてありがたいです。素敵な演奏そして司会者の心あたたまるお話ありがとうございました。(日野公演)
- ・感動しました。どのパートも高水準で非常に完成度の高い秀演でした。メリハリの効いた躍動感のある演奏にパワーをいただきました。(町田公演)
- ・クラシックに縁のない人間でも地域に都響が来てくれて、参加できて良かったです。指揮のキンボーイシイさん、素晴らしかったです。(東大和公演)
- ・素人の指揮にも見事に合わせられるオーケストラ。皆様のプロのすごさを奏でられる面白さ。角田さんのお話の上手さ、MCの方の耳ごこち良い声。そしてハンガリー狂詩曲ひさしぶりに聴いて、「オーケストラの少女」のシーンが一気に思い出され、素晴らしかったです。(小平公演)
- ・オリンピックマーチに始まり涙が出るほど感動的であった。素晴らしいハーモニー また、指揮コーナーでの皆さんの立派な振り様にうらやましく思った。バイオリンソロ心震える演奏だった。(小平公演)
- ・素晴らしかったです。感動をありがとうございます。ヴァイオリンの独奏は特に印象的でした。心と身体で音楽を感じることができました。(府中公演)
- ・演奏者の方々と距離が近く、コンサートも身近なものに感じられました。指揮体験がどんなものなのかなと思っておりましたが、とても楽しく良かったです。娘と同じ7歳の子どもが2人でとても感化されたようでした。次回も是非参加したいです。(府中公演)

#### アンサンブル公演

- ・こんな身近で素晴らしい演奏が聞けたり、素晴らしい歌声を聴かせていただき、ありがとうございました。感動いたしました。(奥多摩町公演)
- ・とっても楽しいプログラムでした。クラシックから子供達もなじみのある曲まで、幅広く楽しめました。オペラの日本語のうたは面白くて、思わず笑ってしまいました。ぜいたくな時間をありがとうございました。(瑞穂町公演)
- ・私も実は小学生のころから吹奏楽でホルンをやっていたのですが、今は子育て中なのでそのホルンも押し入れの中です。今日夕々に生の音にふれることができ、また音楽をやりたくなりました！(檜原村公演)
- ・島で生演奏を聞く機会はなかなかないのでとても嬉しかったです。またぜひ来て下さい。楽しみにしています！(八丈島公演)
- ・四重奏と聞いて、もっとこじんまりとした演奏だと想像したが、実際聴いてこんなに立体的で豊かなものだと知り感動した。(八丈島公演)
- ・とっても楽しかったです。体験もさせてもらって子供も喜んでいました。説明も丁寧で分かり易かったです。(青ヶ島公演)
- ・生の音と、みなさんの呼吸が伝わって、すごくいい気持ちにさせてもらって帰ります。ありがとうございます。(青ヶ島公演)
- ・素敵でした！一時間だと足りないです。平井中との共演もっと聞きたかったです。いつも楽しみにしています。(日の出町公演)

# 14

## Music Program TOKYO

### 【事業概要】

**開催期間** 平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月  
**会場** 東京文化会館 ほか  
**主催** 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京  
**助成** 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会  
**入場者数** 延べ36,014人

### 【事業趣旨（目的）】

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラム。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信する。

### 【開催状況】

#### 1. Enjoy Concerts!

(1) 小曽根真&エリック・ミヤシロ "Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団

共催：公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団（オリンパスホール八王子公演）

開催日	会場	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
9/29	東京文化会館 大ホール		<第1部> タルティーニ：トランペット協奏曲 二長調より 第1楽章、第3楽章（トランペット：エリック・ミヤシロ） ガーシュウィン：ピアノ協奏曲 ヘ調（ピアノ：小曽根真）		2,183
9/30	オリンパスホール 八王子	ピアノ：小曽根真 トランペット：エリック・ミヤシロ 指揮：エドウィン・アウトウォーター※ 管弦楽：東京都交響楽団 ※ ※第1部のみ	<第2部> ジャズ・セッション 小曽根真×エリック・ミヤシロ	S席：5,000 A席：4,000 B席：3,000 25歳以下： 1,000	1,295
計					3,478

#### (2) プラチナ・シリーズ

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金（円）	入場者（人）
6/15		第1回 マリオ・フルネロ	チェロ：マリオ・フルネロ ピアノ：江口 玲	ドビュッシー：チェロ・ソナタ 二短調 L135 フランク：チェロ・ソナタ イ長調 M.8（原曲：ヴァイオリン・ソナタ）ほか		623
10/26		第2回 ブルーノ・レオナルド・ゲルバー	ピアノ：ブルーノ・レオナルド・ゲルバー	ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」 シューマン：謝肉祭 op.9ほか	[5回セット券] S席：22,500 A席：18,000	621
11/16	東京文化会館 小ホール	第3回 吉野直子 & 徳永二男	ハープ：吉野直子 ヴァイオリン：徳永二男	J.S.バッハ／グノー：アヴェ・マリア シューベルト：ソナチネ第1番 二長調 D384ほか	[1回券] S席：5,000 A席：4,000 B席：2,500 25歳以下： 1,000	601
12/12		第4回 ロン・カーター	RON CARTER with Strings featuring HAJIME MIZOGUCHI ベース：ロン・カーター チェロ：溝口肇ほか	RON CARTER：OPUS ONE POINT FIVE、DESERT WINDSほか		614
1/26		第5回 有田正広 & 上原彩子	フルート：有田正広 フォルテピアノ／ピアノ：上原彩子	モーツァルト：フルートとピアノのためのソナタ ト長調 K.379（フルート&フォルテピアノ）ほか		597
計						3,056

(3) シャイニング・シリーズ

後援：イタリア大使館、イタリア文化会館、日本ロッシェニ協会 (Vol.3公演)

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者 (人)
11/17	東京文化会館 小ホール	Vol.3 ジョアキーノ・ロッシェニ没後150年記念レクチャーコンサート「ロッシェニの魅力再発見！」	ヴァイオリン：岸本萌乃加 コントラバス：白井菜々子 クラリネット：アレクサンドロ・ペヴェラリ ピアノ：西村翔太郎 メゾソプラノ：富岡明子、高橋華子 バリトン：ヴィタリ・ユシュマノフ 解説：水谷彰良 ほか	ロッシェニ：弦楽のための6つの四重奏ソナタより 第1番 ト長調 チェロとコントラバスのための二重奏曲 二長調より 第3楽章 クラリネットとピアノのための幻想曲 間隔の体操 ほか	3,000 25歳以下： 1,000	545
12/21	東京文化会館 小ホール	Vol.4 成田達輝×阪田知樹デュオコンサート	ヴァイオリン：成田達輝 ピアノ：阪田知樹	シュニトケ：きよしこの夜 シマノフスキ：神話 op.30 ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタト長調 ほか	3,000 25歳以下： 1,000	530
計						1,075

(4) 3歳からの楽しいクラシック

開催日	会場	出演者	プログラム	料金 (円)	入場者 (人)
11/10	東京文化会館 小ホール	ピアノ：白石光隆 フルート：上野由恵	ビゼー：『アルルの女』より「メヌエット」 リムスキー＝コルサコフ：熊蜂の飛行 ドビュッシー：『子供の鎮分』より 第1曲「グラドウス・アド・バルナッサム博士」(ピアノ独奏) ほか	500 ※対象：未就学児(3～6歳)と保護者およびその家族	582

(5) まちなかコンサート

①まちなかコンサート ～芸術の秋、音楽さんぽ～

共催：公益財団法人東京都公園協会 (旧岩崎邸庭園公演)

国立西洋美術館 (国立西洋美術館公演)

国立国会図書館 (国立国会図書館 国際子ども図書館公演)

開催日	会場	編成	出演者	料金 (円)	鑑賞者 (人)
9/14	上野の森美術館 本館 1階口 ビー	カウンターテナー&リュート	カウンターテナー：村松稔之 ほか	無料	300
9/21	国立西洋美術館 企画展示館 地下2階講堂	ソプラノソロ	ソプラノ：盛田麻央 ほか		207
9/22	東京文化会館キャノピー	金管五重奏	トランペット：守岡未央 ほか		791
9/23		フルート四重奏	フルート：伊藤優里 ほか		1,115
10/6	国立科学博物館 中庭※1	金管五重奏	トランペット：野呂紀之、守岡未央 ほか		492
10/6	旧岩崎邸庭園 洋館内※1	ソプラノ&バリトン	ソプラノ：今井実希 ほか		172
10/7		弦楽三重奏	ヴィオラ：瀧本麻衣子 ほか		200
10/13	江戸東京たてももの園 子宝湯 ※2	クラリネット三重奏	クラリネット：極木亜裕美 ほか		318
10/13		弦楽四重奏	ヴィオラ：鈴木大樹、チェロ：加藤文枝 ほか		446
10/14		木管三重奏	ファゴット：鈴木一成 ほか		402
10/14		トランペット四重奏	トランペット：多田将太郎 ほか		670
10/19	東京国立博物館 本館 大階段 ※1	弦楽三重奏	ヴァイオリン：福田俊一郎 ほか		365
10/28	旧吉田屋酒店 (下町風俗資料館付設展示場)	トロンボーン四重奏	トロンボーン：東川暁洋 ほか		237
10/28	国立国会図書館 国際子ども図書館 レンガ棟3階ホール	木管五重奏	オーボエ：副田真之介、ファゴット：柿沼麻美 ほか		354
11/3	東京都美術館 佐藤慶太郎記念	木管五重奏	フルート：多久和怜子 ほか		392
11/4	アートラウンジ	ソプラノ&メゾソプラノ	ソプラノ：清水理恵 ほか		276
計					6,737

※1 施設への入館料/入園料が必要

※2 「東京大茶会2018」と連携

②まちなかコンサート×シタマチ・ハロウィン 2018

共催：上野中央通り商店会、上野中通商店街振興組合

開催日	会場	編成	出演者	料金 (円)	鑑賞者 (人)
10/27	上野公園 (上野動物園弁天門前 広場)	金管八重奏	トランペット：多田将太郎、野呂紀之 トロンボーン：井上康一、上田智美 ほか	無料	72

③まちなかコンサート×ドリーム夜さらい祭り  
共催：ドリーム夜さらい祭り実行委員会、フジテレビ

開催日	会場	編成	出演者	料金(円)	鑑賞者(人)
11/2	お台場 自由の女神会場 メイン舞台	金管八重奏	トランペット：多田将太郎 トロンボーン：上田智美 ほか	無料	268

2.Workshop Workshop!

(1) 国際連携企画

①ワークショップ・リーダー育成プログラム

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協力：上野学園大学、株式会社ヤマハミュージックジャパン

開催期間	会場	講師	対象	料金(円)	参加者(人)
7/21~3/13	東京文化会館、北とびあ、北区滝野川会館、調布市グリーンホール、調布市文化会館たづくり、大正幼稚園 ほか	ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・アラウージョ、ジョルジュ・ケイジヨ、パウロ・ネート	18歳以上 アーティスト、教職員、学生、音楽ワークショップ・リーダーの活動に興味がある方	受講：10,000 聴講： 全日コース：6,000 各日コース：2,000	延べ：2,254 受講：24 聴講：11

研修用カーサ・ダ・ムジカアウトリーチ

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
7/23	松が谷福祉会館	ポルトガルの音楽家と音楽をつくらう	ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・アラウージョ、ジョルジュ・ケイジヨ、パウロ・ネート、磯野恵美、坂本夏樹、桜井しおり、澤田知世、たかせみお、高田有香子、野口綾子、古橋果林、松井千恵子、山橋司、吉澤延隆	生活介護サービス利用者	無料	18
						32
11/30	久我山青光学園小学部	One Day セッション	ジョルジュ・ブレンダス、ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケイジヨ	小学3~6年生	無料	20
	台東区立大正幼稚園	なぜなゼルーレット	たかせみお、ジョアナ・アラウージョ、パウロ・ネート	小学1~2年生		22
				3歳児		26
				4歳児		25
12/3	日の出町立大久野中学校	ボディ・ビート	ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケイジヨ	5歳児	27	
				3年生	42	
				1年生	45	
				2年生	48	
計						305

②東京文化会館ミュージック・ワークショップ

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協力：上野学園大学、株式会社ヤマハミュージックジャパン

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
4/22	東京文化会館 リハーサル室	咲かせよう！音楽の花	磯野恵美、渡辺明子、Sunny	6~18か月	500※	39
				19~35か月		39
				3~4歳		34
6/17		タネまき、タネまき、大きなあれ！	高田有香子、吉澤延隆	19~35か月		44
				3~4歳		32
				with My Baby		妊娠中の方
8/11		スペース・トラベル	高田有香子、吉澤延隆	3~4歳		34
				5~6歳		30
				カラダ・オト・ウタウ		たかせみお、野口綾子
9/22		動物たんてい ~かくれているのは、だあれだ？~	磯野恵美、桜井しおり	6~18か月		46
				19~35か月		37
				3~4歳		34
10/28		ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、野口綾子	3~4歳		20
				小学生~大人		18
				Shall we シング？		高田有香子、渡辺明子、稲垣領子
11/11	あけてみよう！海のふしぎな宝箱	桜井しおり、野口綾子	6~18か月	43		
			19~35か月	45		
			チーズを探せ！くいしんぼうネズミ！	澤田知世、古橋果林	5歳~6歳	32
2/3	東京文化会館 小ホール	はじめましてクラシック~ ピアノ&ヴァイオリン& チェロ~	桜井しおり、加藤文枝 ほか	6か月~6歳と保護者 およびその家族	513	
		One Day セッション	磯野恵美、野口綾子	小学生~大人	31	
3/2	東京文化会館 リハーサル室	あけてみよう！海のふしぎな宝箱	桜井しおり、野口綾子	3~4歳	42	
				5~6歳	34	
				桜井しおり、野口綾子、吉澤延隆	聴覚障害を持つ3~6歳	12
計						1,217

※ 「Shall we シング?」、「One Day セッション」は65歳以上の方を事前募集にて無料招待

③ミュージック・ワークショップ・フェスタ<夏>

共催：公益財団法人北区文化振興財団  
 後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会  
 協力：上野学園大学、株式会社ヤマハミュージックジャパン

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)	
7/21	東京文化会館 リハーサル室	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	6~18か月 19~35か月	500※	32 34	
		GO!ワイルド!	たかせみお、野口綾子	小学生~大人		35	
7/22	北とびあ ベガサスホール	おとぎの国へLet's go!	たかせみお、ジョアナ・アラウ ジョ、パウロ・ネート	3~4歳 5~6歳		40 32	
		7/24	北とびあ ベガサスホール	コオロギの大冒険		ブルーノ・エスティマ、パウロ・ ネート	6~18か月 19~35か月
7/24	北とびあ カナリアホール	はじめましてクラシック~クラ リネット&ピアノ~	たかせみお、コハーン・イシュ トヴァーン ほか	19~35か月 6~18か月		44 51	
		7/25	北区滝野川会館 小ホール	はじめましてクラシック~弦楽 四重奏~		坂本夏樹、岸本萌乃加 ほか	6~18か月 19~35か月
7/25	北とびあ ベガサスホール	リズムカル・キッチン	ジョルジュ・ケイジョ、パウロ・ ネート	小学生~大人		34	
		7/27	北とびあ ベガサスホール	めざせ!おんがく忍者!		たかせみお、野口綾子	3~4歳 5~6歳
One Day コーラス	ジョルジュ・ブレンダス、ジョ アナ・アラウジョ、ジョルジュ・ ケイジョ			小学生~大人		51	
7/28	北区滝野川会館 小ホール	コオロギの大冒険	ブルーノ・エスティマ、パウロ・ ネート	3~4歳 5~6歳		30 10	
		7/29	東京文化会館 リハーサル室	ライオン・ビート		磯野恵美、ブルーノ・エスティマ、 パウロ・ネート	5~6歳 3~4歳
One Day セッション	ジョルジュ・ブレンダス、ジョ ルジュ・ケイジョ、パウロ・ネート			小学生~大人		41	
計						698	

※「リズムカル・キッチン」、「One Day コーラス」、「One Day セッション」は65歳以上の方を事前募集にて無料招待

④ミュージック・ワークショップフェスタ<冬>

共催：公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団  
 後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会  
 協力：上野学園大学、株式会社ヤマハミュージックジャパン

開催日	会場	プログラム名	出演	対象	料金(円)	入場者(人)
12/1	東京文化会館 リハーサル室	One Day コーラス<スペシャ ル>	ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・ アラウジョ、ブルーノ・エスティマ、 ジョルジュ・ケイジョ、パウロ・ネート	小学生~大人	500	38
12/2	東京文化会館 リハーサル室	なぜなゼルーレット	たかせみお、ジョアナ・アラウジョ、 パウロ・ネート	3~4歳 5~6歳		38 34
				12/3		調布市文化会館たづ くり むらさきホ ール
12/4	調布市グリーンホ ール 小ホール	コオロギの大冒険	ブルーノ・エスティマ、パウロ・ネ ート	19~35か月 6~18か月		45 47
				12/6		調布市グリーンホ ール 小ホール
One Day コーラス	ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・ アラウジョ、ジョルジュ・ケイジョ	小学生~大人	28			
12/6	調布市文化会館たづ くり 大会議室	タネまき、タネまき、大きな あれ!	高田有香子、吉澤延隆	3~4歳 5~6歳		20 16
				12/6		調布市文化会館たづ くり むらさきホ ール
12/7	調布市文化会館たづ くり むらさきホ ール	ミーゴのまほう	櫻井音斗、平山佳奈、塚本江里子	6~18か月		27
				12/7		調布市グリーンホ ール 小ホール
12/7	東京文化会館 小ホール	ライオン・ビート	磯野恵美、ブルーノ・エスティマ、 パウロ・ネート			
		12/8	東京文化会館 リハーサル室	チーズを探せ!くいしんぼうネ ズミ!		澤田知世、古橋果林
12/8	東京文化会館 リハーサル室			めざせ!おんがく忍者!		たかせみお、野口綾子
		ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	小学生~大人		23

開催日	会場	プログラム名	出演	対象	料金(円)	入場者(人)
12/9	東京文化会館 リハーサル室	とびだせ!おんがくたんけん隊	坂本夏樹、桜井しおり、たかせみお	3~4歳	500	26
				5~6歳		30
	東京文化会館 小ホール	クラシックであそぼう!	磯野恵美、野口綾子、ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・エステイマ、ジョルジュ・ケイジヨ、パウロ・ネート	小学生~大人		537
計						1,275

⑤その他団体との連携

ミュージック・ワークショップ in 文京

共催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
5/14	文京シビックホール 小ホール	あけてみよう!海のふしぎな 宝物	磯野恵美、桜井しおり	6~18か月	500	36
				19~35か月		42
		はじめましてクラシック~金 管五重奏~	野口綾子、野呂紀之 ほか	6か月~6歳		74
計						152

ミュージック・ワークショップ KIDS MUSIC LAND in あきる野市

主催：秋川キララホール / あきる野ルピア

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
8/19	秋川キララホール	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	3~4歳	1組500	28
				5~6歳		8
	あきる野ルピア	はじめましてクラシック~弦 楽四重奏~	坂本夏樹、岸本萌乃加 ほか	6~35か月		45
計						81

ミュージック・ワークショップ in 多摩

主催：公益財団法人多摩市文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
8/25	バルテノン多摩	あけてみよう!海のふしぎな 宝物	桜井しおり、野口綾子	6~18か月	500	26
				19~35か月		36
				3~4歳		20
計						82

ミュージック・ワークショップ in 立川

主催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
11/23	たましんRISURUホ ール サブホール	タネまき、タネまき、大き なあれ!	高田有香子、吉澤延隆	3~4歳	300	18
				19~35か月		37
				5~6歳		16
11/24	たましんRISURUホ ール 展示室	One Day セッション	磯野恵美、野口綾子	小学生~大人	300	13
				旅するヨーロッパ		磯野恵美、桜井しおり
	たましんRISURUホ ール 展示室	はじめましてクラシック~金 管五重奏~	野口綾子、野呂紀之 ほか	4~6歳		18
				19か月~3歳		32
				6~18か月		27
たましんRISURUホ ール サブホール	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	3~4歳	6		
計						205

館外ワークショップ

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)
10/31	寿子ども家庭支援セン ター	ミーゴのまほう	櫻井音斗、平山佳奈、塚本江里 子	6~18か月		35
		〇△□ランドへようこそ♪	鎌田恵梨華、高井彩加、西田望	19か月~3歳		41
1/23	北ノ山保育園	チーズを探せ!くいしんぼう ネスミ!	澤田知世、古橋果林	3歳	無料	20
				4~5歳		30
	差木地+波浮保育園	チーズを探せ!くいしんぼう ネスミ!	澤田知世、古橋果林	3~5歳		8
				3歳		16
	元町保育園	とびだせ!おんがくたんけん 隊	坂本夏樹、桜井しおり、たかせ みお	4歳		19
				5歳		22
大島町役場	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、桜井しおり、たかせ みお、澤田知世、古橋果林	小学生以上	18		

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金(円)	入場者(人)	
1/24	大島町子ども家庭支援センター	チーズを探せ!くいしんぼう ネスミ!	澤田知世、古橋果林	0~3歳	無料	16	
	岡田保育園	とびだせ!おんがくたんけん 隊	坂本夏樹、桜井しおり、たかせ みお	3歳		12	
				4歳		14	
				5歳		10	
2/19	カーザ・ダ・ムジカ(幼稚園来館)	ミーゴのまほう	櫻井音斗、平山佳奈、塚本江里 子	3~6歳		20	
				3~6歳		18	
3/18	寿子ども家庭支援センター	お菓子屋さんでドレミファン 旅するヨーロッパ Vol.2	磯野恵美、吉澤延隆	6~18か月		35	
				磯野恵美、桜井しおり		19か月~3歳	37
計						371	

(2) 2020 on stage & legacy

プログラム1: ブリティッシュ・カウンシル等各種機関との連携プロジェクトを核とした長期プロジェクト

協力: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、公益財団法人日本センチュリー交響楽団、仙南芸術文化センターえぞホール

実施協力: 台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター

助成: 一般財団法人地域創造

<音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング>

開催日	会場	対象	プログラム	入場者(人)
1/8	すみだトリフォニーホール		指揮者体験ではない、参加者が主役になるアクティビティのためのトレーニング	16
				17
1/9	東京文化会館 リハーサル室	オーケストラ楽団員、プロの音楽家、ワークショップリーダーなど	即興音楽づくりのためのトレーニング	14
				13
1/10	くらまえ高齢者在宅サービスセンター	高齢者デイスサービス利用者	即興音楽づくりのためのワークショップ実践とふりかえり	12
				11
			音楽づくりワークショップ	31
計				114

プログラム2: 特別支援学校におけるオーケストラ公演等の開催

共催: 東京オーケストラ事業協同組合

助成: 一般財団法人地域創造

開催日	会場	対象	出演	入場者(人)
6/18	都立田園調布特別支援学校	高校1~3年生	日本フィルハーモニー交響楽団	154
12/5	都立白鷺特別支援学校	高校1~3年生	東京フィルハーモニー交響楽団	340
12/18	都立城東特別支援学校	小学1~中学3年生	東京交響楽団	371
12/19	都立光明学園	中学1~高校3年生	新日本フィルハーモニー交響楽団	181
計				1,046

プログラム3: 特別支援学校や高齢者施設等におけるワークショップ

後援: 台東区(3/10のみ)

特別協力: パイオニア株式会社(3/10のみ)

助成: 一般財団法人地域創造

開催日	会場	プログラム	ワークショップ・リーダー	対象	入場者(人)
6/14	東京都立大塚ろう学校 城東分教室	あけてみよう!海のふしぎな宝物 リズムカル・キッチン	桜井しおり、野口綾子、吉澤 延隆	幼稚部	23
				小学部	29
9/20	東京都立八王子特別支援学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、坂本夏樹、澤田知 世	中学1年生	27
				中学2年生	33
				中学3年生	33
10/4	東京都立八王子特別支援学校	カラダ・オト・ウタウ	たかせみお、野口綾子、吉澤 延隆	小学4年生	28
				小学5年生	35
				小学6年生	35
10/5	東京都立小平特別支援学校	ミュージックを探せ!~7つの海の冒険	坂本夏樹、野口綾子、松井千 恵子	中学生	20
				中学生	12
10/12	東京都立多摩桜の丘学園	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、桜井しおり、たか せみお	中学2年	22
				中学3年	27
				中学1年	28
12/15	NPO法人りんご村	One Day セッション	磯野恵美、桜井しおり、野口 綾子、澤田知世、古橋果林	18歳以上	44
12/19	東京都立久我山青光学園	とびだせ!おんがくたんけん隊	桜井しおり、たかせみお、野 口綾子	幼稚部	7

開催日	会場	プログラム	ワークショップ・リーダー	対象	入場者(人)
1/21	身体障害者療護施設みずき	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、桜井しおり、たかせみお、澤田知世	18歳以上	21
	障害福祉サービスこまえ/生活介護事業所ポンテ	One Day セッション	磯野恵美、桜井しおり、たかせみお、澤田知世	18歳以上	19
1/23	東京都立あさぎ野学園	リズムカル・キッチン	磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆	小学4・5年生	29
				小学6年生	28
2/12	都立調布特別支援学校	はじめましてクラシック～弦楽四重奏～	野口綾子、吉江美桜 ほか	中学部	70
2/18	障害者支援施設かえで	リズムカル・キッチン	磯野恵美、桜井しおり、たかせみお、澤田知世	18歳以上	26
3/4	東京都立あさぎ野学園	動物たんてい～かくれているのは、だあれだ?～	磯野恵美、桜井しおり、高田有香子	小学3年生	20
				小学2年生	24
				小学1年生	22
3/10	東京文化会館 小ホール	はじめましてクラシック～弦楽四重奏～	野口綾子、吉江美桜 ほか	障がい者とそのご家族・介助者	175
計					837

プログラム4：高齢者向け音楽ワークショップの検証

実施協力：台東区立あさくさ高齢者在宅サービスセンター、社会福祉法人足立邦栄会

研究協力：同志社女子大学

助成：一般財団法人地域創造

開催日	会場	プログラム	ワークショップ・リーダー	対象	参加者(人)
12/21	東京文化会館 リハーサル室	ワークショップ・リーダーのための社会包摂トレーニング		東京文化会館ワークショップリーダー	8
		高齢者施設実践のためのトレーニング			4
12/22	介護付有料老人ホーム リブインさくら	即興音楽ワークショップ「音の砂場」	磯野恵美、野口綾子、吉澤延隆、松井千恵子	高齢者施設入居者	11
	台東区立あさくさ高齢者住宅サービスセンター			高齢者デイサービス利用者	19
1/5	介護付有料老人ホーム リブインさくら	即興音楽ワークショップ「音の砂場」	磯野恵美、坂本夏樹、野口綾子、吉澤延隆、松井千恵子	高齢者施設入居者	11
	台東区立あさくさ高齢者住宅サービスセンター			高齢者デイサービス利用者	19
1/11	東京文化会館 リハーサル室	ワークショップ・リーダーのための社会包摂トレーニング		東京文化会館ワークショップリーダー	6
		高齢者施設実践のためのトレーニング			5
1/12	介護付有料老人ホーム リブインさくら	即興音楽ワークショップ「音の砂場」	磯野恵美、坂本夏樹、野口綾子、松井千恵子	高齢者施設入居者	9
	台東区立あさくさ高齢者住宅サービスセンター			高齢者デイサービス利用者	12
1/26	台東区立あさくさ高齢者住宅サービスセンター	即興音楽ワークショップ「音の砂場」	磯野恵美、坂本夏樹、野口綾子、吉澤延隆、松井千恵子	高齢者デイサービス利用者	27
2/8	東京文化会館 リハーサル室	ワークショップ・リーダーのための社会包摂トレーニング		東京文化会館ワークショップリーダー	7
		高齢者施設実践のためのトレーニング			3
2/9	介護付有料老人ホーム リブインさくら	即興音楽ワークショップ「音の砂場」	磯野恵美、坂本夏樹、野口綾子、松井千恵子	高齢者施設入居者	9
	台東区立あさくさ高齢者住宅サービスセンター			高齢者デイサービス利用者	34
2/16	介護付有料老人ホーム リブインさくら	即興音楽ワークショップ「音の砂場」	磯野恵美、坂本夏樹、野口綾子、吉澤延隆、松井千恵子	高齢者施設入居者	11
3/14	東京文化会館 大会議室	公開報告会		財団・行政・文化芸術・社会福祉関係者など	49
計					244

(3) 東京ネットワーク計画

共催：江戸川区/江戸川区総合文化センター指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ (11/3のみ)

公益財団法人板橋区文化・国際交流財団 (11/7のみ)

協力：認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール (2/15のみ)

公益財団法人サントリー芸術財団サントリーホール (2/15のみ)

開催日	会場	対象	プログラム	入場者(人)
11/3	タワーホール船堀	江戸川区民・在勤者など	アトリウム・コンサート	140
				120
11/7	成増アクトホール	板橋区民・在勤者など	清水理恵プロムナードコンサート	173
2/15	東京文化会館 大会議室	若手アーティストの育成支援、また若手アーティストによるアウトリーチコンサートなどに関心のある首都圏の文化施設、文化団体、社会教育施設関係者など	3館連携による育成事業紹介 文化施設連携による若手アーティスト活動支援—若手アーティストの活動の場を広げるために	47

開催日	会場	対象	プログラム	入場者(人)
2/15	東京文化会館 小ホール	一般	3館連携若手アーティスト支援アフタヌーン・コンサート	465
計				945

### 3. Music Education Program

#### (1) Talk & Lesson 小曾根真ワークショップ「自分でみつける音楽」Vol.6

開催日	会場	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
9/24	東京文化会館 小ホール	小曾根真	バッハ～枯葉をテーマにしたインプロヴィゼーション 小曾根真：ミラー・サークル	一般：1,500 25歳以下：1,000 (全席自由)	614

#### (2) アウトリーチ・コンサート

開催日	学校名	曲目	編成・出演代表者	鑑賞者(人) ※
5/18	葛飾区立北野小学校	福山浩一：『ドラゴンクエスト』より「序曲のマーチ」ほか	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	434
5/24	練馬区立小竹小学校	宮川彬良：「ゆうがたクインテット」テーマ曲ほか	木管五重奏・副田真之介(オーボエ)ほか	114
5/30	日の出町立大久野小学校	バッヘルベル：カノンほか	弦楽四重奏・小川響子(ヴァイオリン)ほか	55
6/1	町田市立町田第三小学校	ブッチーニ：「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」ほか	金管五重奏・井上康一(トロンボーン)ほか	472
6/6	八王子市立上巻分方小学校	ビゼー：『カルメン』より「ハバナラ」ほか	メゾソプラノ&バリトン・高橋華子(メゾソプラノ)ほか	550
6/8	八王子市立別所小学校	バッヘルベル：カノンほか	弦楽四重奏・小川響子(ヴァイオリン)ほか	425
6/12	台東区立金竜小学校	ロジャース：サウンド・オブ・ミュージックほか	木管五重奏・梶川真歩(フルート)ほか	440
6/14	江東区立第二亀戸小学校	ヴェルディ：『アイーダ』より「凱旋行進曲」ほか	金管五重奏・井上康一(トロンボーン)ほか	624
6/19	台東区立金曾木小学校	オフエンバック：『天国と地獄』より「カンカン」ほか	金管五重奏・東川 暁洋(トロンボーン)ほか	481
6/21	武蔵村山市立小中一貫校 村山学園	宮川彬良：「ゆうがたクインテット」テーマ曲ほか	木管五重奏・柿沼 麻美(ファゴット)ほか	190
10/2	葛飾区立東金町小学校	モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章ほか	弦楽四重奏・鈴木大樹(ヴィオラ)ほか	238
10/4	新宿区立西新宿小学校	ビゼー：『カルメン』より「ハバナラ」ほか	メゾソプラノ&バリトン・高橋華子(メゾソプラノ)ほか	297
10/10	台東区立根岸小学校	デンツァ：フニクリ・フニクラほか	ソプラノ&バリトン・清水理恵(ソプラノ)ほか	612
10/22	江東区立第一大島小学校	ヴェルディ：『アイーダ』より「凱旋行進曲」ほか	金管五重奏・井上康一(トロンボーン)ほか	163
11/12	荒川区立尾久幼稚園	エルガー：愛の挨拶ほか	チェロ&ピアノ・加藤文枝(チェロ)ほか	57
11/15	台東区立根岸幼稚園	シュトラウス1世：ラデツキー行進曲ほか	フルート&ピアノ・多久和 怜子(フルート)ほか	71
11/30	台東区立柏葉中学校	デュカス：『ラ・ペリ』より「ファンファーレ」ほか	金管五重奏・井上康一(トロンボーン)ほか	139
12/17	台東区立上野小学校	プロコフィエフ：木管五重奏とお話による『ピーターと狼』ほか	木管五重奏・梶川真歩(フルート)ほか	410
12/18	清瀬市立芝山小学校	チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より「トレバック」ほか	木管五重奏・鈴木一成(ファゴット)ほか	87
12/20	調布市立滝坂小学校	オフエンバック：『天国と地獄』より「カンカン」ほか	金管五重奏・多田将太郎(トランペット)ほか	421
1/22	港区立芝小学校	モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章ほか	弦楽四重奏・鈴木大樹(ヴィオラ)ほか	350
2/13	台東区立松が谷保育園	クラーク：トランペット・ヴォランタリーほか	トランペット&ピアノ・多田将太郎(トランペット)ほか	54
2/22	江東区立ちどり幼稚園	ディ・カプア：オー・ソレ・ミオほか	ソプラノ・清水理恵(ソプラノ)ほか	76
計				6,760

※鑑賞者には教員および見学者(保護者)の数を含む

(3) アウトリーチワークショップ

アウトリーチ・ワークショップ1 (クリニック)

開催日	学校名	プログラム	指導者	参加者(人)
12/26、1/16、 2/18、26、27	新宿区立落合第五小学校	シング・シング・シング* れもん *講師も演奏に参加	多田将太郎 (トランペット) ほか	331
1/12、19、2/2、9	文京区立千駄木小学校	メリーさんのひつじ インカンテーションズ* *講師も演奏に参加	多田将太郎 (トランペット) ほか	287
計				618

アウトリーチ・ワークショップ2

開催日	学校名	プログラム	出演者	参加者(人)
5/17	東村山市立大岱小学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、坂本夏樹、桜井しおり	136
5/29	荒川区立汐入こども園	動物たんてい〜かかっているのは、だあれだ?〜	高田有香子、渡辺明子	39
6/4	文京区立小日向町幼稚園	スペース・トラベル	高田有香子、吉澤延隆	84
6/6	日野市立日野第六小学校	カラダ・オト・ウタウ	桜井しおり、野口綾子	111
6/11	文京区立千駄木幼稚園	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	50
6/12	稲城市立南山小学校	One Day セッション	磯野恵美、野口綾子	183
6/14	荒川区立大門小学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、坂本夏樹	86
6/26	中野区立塔山小学校	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、坂本夏樹	63
6/29	台東区立千束幼稚園	チーズを探せ! くいしんぼうネズミ!	澤田知世、古橋果林	55
7/10	瑞穂町立瑞穂第三小学校	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	94
7/17	台東区立竹町幼稚園	あけてみよう! 海のふしぎな宝箱	磯野恵美、桜井しおり	63
7/18	台東区立松葉小学校	カラダ・オト・ウタウ	磯野恵美、野口綾子	45
7/18	台東区立育英幼稚園	はじめましてクラシック〜クラリネット&ピアノ〜	たかせみお、コハーン・イシュトヴァーン (クラリネット) ほか	48
9/14	葛飾区立北住吉幼稚園	動物たんてい〜かかっているのは、だあれだ?〜	磯野恵美、桜井しおり	46
9/20	板橋区立高島幼稚園	とびだせ! おんがくたんけん隊	桜井しおり、たかせみお、野口綾子	40
10/11	台東区立待乳保育園	チーズを探せ! くいしんぼうネズミ!	澤田知世、古橋果林	63
10/16	新宿区立四谷第六小学校	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	129
10/23	八王子市立長沼小学校	カラダ・オト・ウタウ	たかせみお、野口綾子	18
10/26	千代田区立番町幼稚園	動物たんてい〜かかっているのは、だあれだ?〜	磯野恵美、桜井しおり	92
10/29	八王子市立第六小学校	GO! ワイルド!	たかせみお、野口綾子	18
10/30	渋谷区立千駄谷幼稚園	めざせ! おんがく忍者!	たかせみお、野口綾子	85
11/2	墨田区立緑幼稚園	はじめましてクラシック〜木管五重奏〜	磯野恵美、梶川真歩 (フルート) ほか	80
11/5	港区立赤羽幼稚園	とびだせ! おんがくたんけん隊	桜井しおり、たかせみお、野口綾子	52
11/6	台東区千束保育園	はじめましてクラシック〜弦楽四重奏〜	野口綾子、吉江美桜 (ヴァイオリン) ほか	69
11/12	文京区立本駒込幼稚園	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	80
1/28	台東区立台桜幼稚園	はじめましてクラシック〜ピアノ&ヴァイオリン&チェロ〜	桜井しおり、加藤文枝 (チェロ) ほか	30
2/19	新宿区立落合第三幼稚園	咲かせよう! 音楽の花	磯野恵美、渡辺明子、Sunny	59
2/22	八王子市立美山小学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、桜井しおり	68
計				1,986

(4) オペラをつくろう!

共催：公益財団法人大田区文化振興協会

開催日	会場	プログラム	対象	料金(円)	参加者(人)
7/25~10/21 成果発表9/1、2	東京文化会館 ほか	オペラの登場人物になる! 《合唱・演技》	小学1年生~高校3年生	2,000	延べ: 942 オペラの登場人物になる! 《合唱・演技》: 20
8/18、19 成果発表※ゲネプロ鑑賞 8/30	東京文化会館 (8/18、30)、 大田区民プラザ (8/19)	オペラに登場するものづくり! 《工作》	小学校1~6年生	500	オペラに登場するもの づくり!《工作》: 103
7/24~10/21 成果発表9/1、2	東京文化会館	舞台を学ぶ	18~25歳	2,000	舞台を学ぶ: 6

【参加者の声】

・都響と小曽根さんと別々に聞いたことは何回もありますが、今回のようなコラボは初めてです。ジャズとクラシックの共存、素晴らしいと思います。即興もワクワクしました。後半のお二人のステージ圧巻でした。(9/29小曽根真&エリック・ミヤシロ “Jazz Meets Classic” with 東京都交響楽団)

- ・古楽の深い演奏から現代の楽器演奏への変遷の流れが、手に取るように体感できて、感謝しております。(プラチナ・シリーズ第5回)
- ・子供がとても楽しんでます。そして参加したことを大切な思い出にしているようで、いつもくりかえしくりかえし話しています。また行けることをいつも子供が心待ちにしているので、また参加できたら嬉しいです！(ミュージック・ワークショップ)
- ・子供をつれて気軽に参加できる催しがなかなかないのでありがたいです。出演者の方も終始えがおでとても好感がもてました。内容に体を動かす内容があったので子供もより楽しめたようでした。ひさしぶりに生演奏がきけて親の自分も満足しました。また参加したいです。(ミュージック・ワークショップ・フェスタ<冬>)
- ・奏者の皆さんは演奏が素晴らしかったことももちろんですが、楽器紹介での工夫など子供たちと音楽のよい出会いのために、とても考えて準備してくださっていることにとても感激致しました。選曲にも工夫してくださり、プログラムが進むほどに子供たちがひきこまれていました。(アウトリーチコンサート)
- ・音や演奏にしだいにひきつけられていく子供達の姿や、講師と一緒に音や動きを楽しむ姿が印象的でした。(アウトリーチ・ワークショップ)
- ・「オペラとは」というお話もとても面白く、ワークショップの内容も。自分用の小さなもの、皆で仕上げる大きなもの、とあり、2時間で盛り沢山、とても良かったです。ゲネプロもとても楽しみです！(オペラをつくろう！)

# 15

## アンサンブルズ東京

### 【事業概要】

開催日	平成30（2018）年8月26日（日）※事前にプレイベント、ワークショップを実施
会場	東京タワー 南側駐車場 ほか
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、アンサンブルズ東京実行委員会【P3 art and environment、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、株式会社文化放送】
助成・協力	東京都
後援	港区
協力	国立音楽院、株式会社三陽商会、株式会社東京タワー、公益財団法人日本デザイン振興会、パイオニア DJ株式会社、ブラザー販売株式会社
芸術監督	大友良英
来場者・参加者数	累計約14,942人

### 【事業趣旨（目的）】

誰もが参加できる参加型音楽フェスティバルとして、音楽家・大友良英のディレクションの下、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手でフェスティバルを作り上げ、地域の新たな魅力を発見するとともに、東京ならではの場所で、東京の独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信することを目的に実施。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	出演者等	料金（円）	参加者（人）
6/28	GOOD DESIGN Marunouchi	プレイベント in 丸の内 大友良英・芳垣安洋・山岸清之進 トーク&ライブ	大友良英、芳垣安洋、山岸清之進	無料	62
8/16~19 8/21~23	GOOD DESIGN Marunouchi	大風呂敷ワークショップ	プロジェクト FUKUSHIMA!	無料	109
8/24、25	東京芸術劇場 シンフォニー スペース	リズムの話法、そして歌ワークショップ 【歌クラス】	サンティアゴ・バスケス	3,000 60歳以上・小中学生：1,000 ／歌3回分、リズム2回分	74
		リズムの話法、そして歌ワークショップ 【リズムクラス（楽器クラス）】			103
8/24	Red Bull Music Studios Tokyo	オヤコラップ・ワークショップ	高木完×DJみそしるとMCごはん	オヤ：2,500 コ：1,000 ／1回分の料金	15
8/23、25	東京芸術劇場 シンフォニー スペース	リズム・アンサンブル・ワークショップ	芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!	2,000 60歳以上・小中学生：1,000 ／1回分の料金	79
8/26	東京タワー 南側駐車場など	アンサンブルズ東京	サンティアゴ・バスケス、高木完×DJみそしるとMCごはん、芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!、大友良英、勝井祐二、柴田聡子、高良久美子 ほか ゲスト：のん	無料	累計約14,500
計					14,942

### 【参加者の声】

- プレイベント in 丸の内 大友良英・芳垣安洋・山岸清之進 トーク&ライブ
  - ・トークもライブもとっても良かった。今年は是非ワークショップも参加したい。(30代/女性)
- アンサンブルズ東京
  - ・一般参加も可能で、実績のあるプロのアーティストの方々とはとにかく楽しもうという姿勢で演奏に参加できるイベントで、他にはない魅力だらけで、今回は是非ステージに立ちたいと思いました。演奏も興味深く拝見することが出来、音楽的にリズムやパート構成が面白く、時間が過ぎるのがあっという間に感じました。(20代/男性)
  - ・毎年楽しみにしています。大変ですが、どうぞ来年も続けて下さい！よろしくお願いします！(40代/女性)
  - ・緊張したけど楽しかった。また参加したい。(10代未満/女性)
  - ・何も予備知識無しで飛び込んだイベントでしたが、大変素晴らしい、楽しく参加出来た内容でした。また次回も参加したいと思いました。ありがとうございました。(50代/女性)

# 16

## 上野「文化の杜」新構想

### 【事業概要】

**開催時期** 平成30（2018）年4月1日～平成31（2019）年3月31日  
**会場** 上野恩賜公園および周辺文化施設  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 上野文化の杜新構想実行委員会

### 【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年12月に、上野「文化の杜」新構想推進会議が発足した。  
 同会議では、年間3,000万人の集客を可能とするために必要なハード・ソフト両面にわたる整備方策が検討され、平成27（2015）年7月に、2020年に向けた国際発信戦略として、上野「文化の杜」新構想が取りまとめられた。  
 博物館、美術館、音楽ホールや動物園等の関係機関による実行委員会を中心とした推進体制の下、上野公園周辺を舞台に、「文化の杜」として各機関・団体が相互に連携・協力し、文化芸術発信力を高める活動を展開。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	料金（円）	来場者（人）
9/28～30 ※30日は台風のため開催中止	上野恩賜公園 国際子ども図書館	UENOYES バルーン DAYS 2018	ホセ・マリア・シ ンリア、小山田徹、 西原尚、藤田龍平、 毛原大樹、北澤潤、 新人Hソケリッ サ!、トラスヴィ レッジ ほか	大道芸人をモデルとした「スタチュー写真大会」をはじめ、合唱ワークショップやダンスパフォーマンス等を展開した。また、東日本大震災以後、東北で活動を続けてきたスペイン人アーティストの活動を作品展示とともに紹介した。	-	278,576
11/23～25 （「アナウサギを追いかけて」は11/23から2/24までの毎週金・土・日曜日）	旧博物館動物園駅舎 上野恩賜公園野外ステージ 谷中地域	UENOYES バルーン DAYS#2	羊屋白玉、サカタ アキコ、山本高之、 百瀬文+西澤諭志、 酒井直之、進藤冬 華、島袋道浩、大 西健太郎、白石美 徳、豊福亮、向井 知子、宗政浩二、 村田正樹、RIO ほか	旧博物館動物園駅舎にて、障害の有無に関わらず鑑賞できるインスタレーション作品を発表した。また、アーティストによるリレートーク、谷中地域でアートプログラムを実施した。	-	25,030
2/22～24	上野恩賜公園 国立科学博物館 東京文化会館 黒田記念館 市田邸、旧谷邸	UENOYES バルーン DAYS #3	小沢剛、和田昌宏、 地主麻衣子、マー ク・サルバトウス、 Post-Museum ほか	古民家をリサーチ拠点として地域の歴史を探るプロジェクトなど、上野の歴史・文化資源を独自の視点から探求した作品を発表した。	-	52,723
7/29、30 2/22	黒田記念館 上野周辺地域	上野スタディーズ	山田創平、岡部友 彦、和田昌宏、 五十嵐泰正、石倉 敏明、長島確、住 友文彦 ほか	フィールドワークを通して、上野の歴史の多様性について観察するなど、1年間の活動を振り返り、成果を報告した。	-	135
2/11	東京都美術館	UENOYES フォー ラム	<UENOYES 総合 プロデューサー> 日比野克彦 <ディレクター> 岡部あおみ、住友 文彦、小川希	社会包摂と文化芸術との新たな関係性を考える公開ディスカッションを行った。	-	50
2/13	東京文化会館 上野の森美術館 国立科学博物館 東京国立博物館 旧東京音楽学校奏楽堂 東京都美術館	文化の杜の音めぐり	東京音楽コンク ール入賞者を中心 とした若手音楽家（ピ アノ・ソロ、木管 四重奏、弦楽四重 奏、ソプラノ&テ ノールを編成）	上野公園内の文化施設を会場に、若手音楽家によるミニコンサートを実施した。	入館料（国立科学博物館、東京国立博物館、旧東京音楽学校奏楽堂）	1,616

### 【その他】

- ・上野文化の杜 インクルーシブ・アート・プログラム（UENOYES）特設サイト公開 平成30（2018）年9月
- ・上野文化の杜 バリアフリーマップ制作 平成31（2019）年3月
- ・上野文化の杜 インクルーシブ・アートプログラムのプロモーション映像制作 平成31（2019）年3月

**【参加者の声】**

- ・ 上野公園の開けた場所に、スタチューや風船、楽器等でポップな混沌が出来上がっていてワクワクしました。
- ・ ホセ・マリア・シシリア（スペイン人アーティスト）の紙粘土で作品をつくるワークショップに参加して、自分が創作する側になれて楽しかった。
- ・ （視覚障害のガイドツアーへ参加した方）作品を見ながら障害のある方の日常のことを聞いたのが良い経験になりました。自然に会話をすることができました。

# 17

## 六本木アートナイト2018

### 【事業概要】

テーマ 『街はアートを見る』

メインプログラム・アーティスト 金氏徹平、鬼頭健吾、宇治野宗輝

開催日 平成30（2018）年5月26日（土）・27日（日）

※事前にプレプログラム、通年で事業評価事業等も実施

会場 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】

助成 平成30年度 文化庁 国際文化芸術発信拠点形成事業

特別助成 台湾文化部

後援 観光庁、経済産業省、内閣府知的財産戦略推進事務局、台北駐日経済文化代表処 台湾文化センター、今井町親睦会、東京ミッドタウン町会、西麻布霞町町会、日ヶ窪親和会、龍土町会、六本木材木町町会、六本木町会、六本木ヒルズ自治会、六本木“Art&Designの街”推進会議、テレビ朝日

メディア協賛 BMW、グランドハイアット 東京

エリア協賛 サントリーウイスキー響、株式会社そごう・西武

協賛 飯田電機工業株式会社、株式会社クオラス、TSP太陽株式会社、株式会社電通、株式会社東京タカラ商会、アットホーム株式会社、株式会社コングレ、中村展設株式会社、ピーディーシー株式会社、株式会社アルタイル、株式会社イースト、株式会社オリコム、株式会社共立、株式会社クラフト、株式会社ジールアソシエイツ、笑遊堂、シンテイ警備株式会社、大成株式会社、株式会社つむら工芸、TRI-SEVEN ROPPPONGI、株式会社トランジットジェネラルオフィス、株式会社バーニーズ ジャパン、富士急グループ 株式会社フジエクスプレス、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、株式会社ブランコ、ペンブロークリアルエステートジャパン、LLC、株式会社モンタージュ、郵船トラベル株式会社

運営協力 六本木安全安心パトロール隊、六本木をきれいにする会、六本木クリーンアップ

協力 R.S、UQIYO、宇治野スタジオ、おおさか創造千島財団、桂由美ブライダルハウス東京本店、カラーキネティクス・ジャパン株式会社、神戸芸術工科大学、GOLD STAR ROPPPONGI、子安薬局 六本木店、株式会社シネ・フォーカス、株式会社スタジオハル、スターバックスコーヒージャパン株式会社、大黒屋 六本木店、立原金物店、タリーズコーヒー 六本木店、天祖神社 龍土神明宮、乃木坂郵便局、PC DEPOT スマートライフ 六本木店、深作眼科六本木院、BLUE BOTTLE COFFEE、三井孝明、山本現代、LUMIX、六本木アマンド、六本木ワールドシガレット、Vivitek/ A brand of Delta

協力ホテル グランドハイアット 東京

入場料 無料（但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料）

鑑賞者数 2日間にわたる全作品の延べ鑑賞者総数約76万人

### 【事業趣旨（目的）】

様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を創出することで、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、アートとまちが一体化することにより、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出することを目的に実施する「一夜限りのアートの饗宴」。

【開催状況】

【広域プログラム】

会場	プログラム名	アーティスト名
六本木ヒルズ アリーナ	コアタイムキックオフセレモニー	
国立新美術館	『タワー』	金氏徹平
東京ミッドタウン キャノビー・スクエア	『hanging colors』、『broken flowers』	鬼頭健吾
六本木ヒルズアリーナ	『ドラゴンヘッド・ハウス』	宇治野宗輝
	『オープニングアクト』	
	『パフォーマンス「ザ・コンストラクションズ、2018年のルーフトップ コンサート」』	金氏徹平
	『パフォーマンス「オバケのレクチャー」』	
	『パフォーマンス「二種類のトリートメント」』	
	『ワークショップ「オバケのスカulptチャー」』	
六本木交差点 橋脚	金氏徹平×鬼頭健吾×宇治野宗輝×南條史生 『アーティストトーク』	金氏徹平、鬼頭健吾、宇治野宗輝、南條史生
六本木交差点	『フィナーレ「たてもの」』	金氏徹平
六本木交差点 プランター、六本木ヒルズ毛利庭園	『Lost in Memories』	スー・チャーシン (蘇佳星)
街なか各所	『wonder bolt』	magma
外苑東通り沿い 東京ミッドタウン向かい	(オープンコール・プロジェクト)『未来庭園』	生田目礼一
天祖神社	(オープンコール・プロジェクト)『組み合わせの方法-六本木の場合-』	牛島光太郎
東京ミッドタウン プラザ1F	(オープンコール・プロジェクト)『挟まる人』	志茂浩和
六本木ヒルズ ウェストウォーク2F	(オープンコール・プロジェクト)『UVLS/Komainu』	森貴之
六本木ヒルズ 毛利庭園	(オープンコール・プロジェクト)『鳥の交差点』	小原典子
六本木西公園	(オープンコール・プロジェクト)『すり抜ける紙飛行機』	片岡純也
	(オープンコール・プロジェクト)『踊るランタン』	三枝文子
	『ボンドアート』	富永ボンド
	『Untitled』	丸倫徳
	(オープンコール・プロジェクト)『時のウロボロス』	サムワンスガーデン×アトリエまあん
	『ロードワーク』	サイドコア
	『Dreaming Frame-ゆめみるがくぶち-』	CALAR.ink
	アール・ブリュット&障がいがある人の作品展 『共生のエレメント-Dreaming ART Night』	—
	(オープンコール・プロジェクト)『夜警』	加藤立
	(オープンコール・プロジェクト)『12:47』	崎山莉奈 (カンパニーデラシネラ)
(オープンコール・プロジェクト)『RINGO』	コンタクトアーツカンパニー	
(オープンコール・プロジェクト)『影ワニ』	宮本宗	
(オープンコール・プロジェクト)『4'33"』	小田浩之×高橋灯	
三河台公園	『2000年後の六本木プロジェクト』	柴川敏之
	『提灯が照らす六本木ベースキャンプ』	小菱屋忠兵衛 (小嶋俊、小嶋諒)
	『往古来今 流れる時間を言葉で捉えるワークショップ』	谷口西歌
	『六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー』	—
	『InVisible Playcity 都市は見えない遊び場展』 (ROPPONGI ART NIGHT CAFE Supported by Seibu & Sogo)	キャサリン・ディグナツィオ、井上尚子、 苦瓜推進協議会
六本木ヒルズ アリーナ他、国立新美術館屋外エリア、東京ミッドタウン プラザ1階	『光の巨人』	DUNDU (ドゥンドゥ)
六本木ヒルズ メトロハット、国立新美術館 1階ロビー 正面入口付近、東京ミッドタウン キャノビー・スクエア	『夢』 巨大パナー展示	オノ・ヨーコ
六本木ヒルズ アリーナ、六本木ヒルズ 66プラザ、東京ミッドタウン キャノビー・スクエア	「夢」シールの配布	
六本木ヒルズ 66プラザ	『マーブルズ』	ダーン・ローズガールデ
東京ミッドタウン キャノビー・スクエア	『レクチャー・パフォーマンス』	宇治野宗輝
六本木ヒルズ ウェストウォーク2階	『ひったくられ続けるバッグ』 展示	JART (ジャール)
六本木ヒルズ アリーナ	『ひったくられ続けるバッグ』 パフォーマンス	

【各館プログラム・同時開催プログラム】

会場	プログラム名	アーティスト名
六本木ヒルズ 66プラザ	『まちと美術館のプログラム「六本木ヒルズ15周年記念インスタレーション」』	マグダ・セイエグ
六本木ヒルズ ウエストウォーク2F	『提灯ロケット』	ニコラ・ビュフ
六本木ヒルズ ノースタワー タリーズコーヒー前	『みんなのちからV,東京』	ツワージック・チン・チョー・レン
六本木ヒルズアリーナ	『六本木夜舞場(ろくほんもくやまいば) Vol.6(真夜中の盆踊り)』	近藤良平とその仲間たち
	『クラシックなラジオ体操』	日本フィルハーモニー交響楽団×インビジブル
	『Eighty-one Moment』	+81
六本木ヒルズ 66プラザ	『THE ALL-NEW BMW X2 ART CAR』	—
六本木ヒルズ 大屋根プラザ	『サントリーウイスキー「響」ART OF BLENDING』	—
六本木ヒルズ ヒルサイド1階	六本木ヒルズ・森美術館 まちと美術館のプログラム『紡木プロジェクト』	—
六本木ヒルズ 森タワー52階 東京シティビュー	『六本木ヒルズ展望台 東京シティビューオールナイト開館』	—
六本木ヒルズ 森タワー52階 森アーツセンターギャラリー	『創刊50周年記念 週刊少年ジャンプ展VOL.2-1990年代、発行部数653万部の衝撃-』	—
ROPPONGI HILLS A/D GALLERY	『HOPE』	美島菊名
森美術館	『六本木ヒルズ・森美術館15周年記念展 建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの』	—
	『MAM コレクション007：見えない都市』	—
	『MAM スクリーン008：近藤聡乃』	—
	『MAM プロジェクト025：アビチャップン・ウィーラセタクン+久門剛史』	—
森美術館 オーディトリウム	『建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの ディスカッション・シリーズ第1回 激論「建築日本展」を語りつくす』	—
森美術館 展示室内	『建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの 耳でみるアート 暮らしの中から、建築や街を考えよう』	—
東京ミッドタウン 芝生広場	『空気の人』	鈴木康広
	『Cube』(Street Art Performances)	遠藤有奈
	『あなたとかなたのかおを作る』(Street Art Performances)	大野光一
	『セルフポートレート一場所と記憶を結ぶ形一』(Street Art Performances)	金子未弥
	『Chain Grown』(Street Art Performances)	松本千里
	『紐で葉っぱの絵を描こう』(Street Art Performances)	山根英治
	『Street Museum』	遠藤有奈、大野光一、金子未弥、七瀬綾乃、松本千里、山根英治
東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー	『インサイドアウト・プロジェクト IN JAPAN presented by Reborn-Art Festival』	JR
東京ミッドタウン プラザ1階、B1階	『「街中こいのぼり」ワークショップ2018』	須藤玲子
東京ミッドタウン プラザ1階	『Tokyo city view』	大村雪乃
東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン	『ビルズクラウド』	栗真由美
東京ミッドタウン プラザ1階	『Tokyo city view』	大村雪乃
東京ミッドタウン・ガーデンテラスB1階	『XHIASMA』	廣川玉枝×湯浅永麻×脇田玲
東京ミッドタウン 外苑東通り沿い ガレリアゲート前	『武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ Colorized Night』	epa !
サントリー美術館	『ガレも愛した一清朝皇帝のガラス』	—
サントリー美術館 6階ホール	『MIZUNOMICHI』	曾谷朝絵
サントリー美術館 1階レクチャールーム	『和の演芸ひろば』	林家花、宮田章司、KYOKO
サントリー美術館 6階ホール	『フレンドリートーク』	—
21_21 DESIGN SIGHT	21_21 DESIGN SIGHT プログラム	—
	『写真都市展-ウィリアム・クラインと22世紀を生きる写真家たち-』	—
	『トーク「現代美術と現代写真」』	榎木野衣、伊藤俊治
国立新美術館 企画展示室2E	『こいのぼりなう！須藤玲子×アドリアン・ガルドール×齋藤精一によるインスタレーション』	—
	『「こいのぼりなう！」展関連スペシャル・プログラム』	Softpad
国立新美術館 館内各所	『建築ツアー2018：歩く・見る・知る美術館』	—
国立新美術館 3階 講堂	『TOKYO_ANIMA!2018』	—
国立新美術館 展示室1A-1D	『公募展 第114回太平洋展』	—
国立新美術館 展示室2A-2D	『公募展 70回三軌展』	—
国立新美術館 展示室3A、3B	『公募展 第40回日本新工芸展』	—
国立新美術館 展示室2A	『尺八、三味線が唄う日本の心-ふるさとの思いを音色に託して-』	尺八 竹弾観洞、三味線 加藤梅清山、高橋惇
ラビロス六本木	六本木商店街プログラム	—
	『Roppongi Art Night Photo Spot』	—

会場	プログラム名	アーティスト名
トライセブン ロッポンギ	同時開催プログラム 『灯台』	シーラ・ヒックス

【その他】

- (1) インクルーシブ・ツアー、英語ガイドツアー、多言語インフォメーション実施など
- (2) 『六本木をきれいにする会×六本木クリーンアップ アートナイトスペシャル2018』
- (3) 参加施設・ギャラリー 20施設・ギャラリー  
開館時間延長や特別プログラムなど
- (4) 参加店舗 71店舗  
営業時間延長や特典など
- (5) 無料シャトルバス  
六本木と渋谷、新宿・池袋、吉祥寺・国分寺・立川を結ぶ無料シャトルバスを運行
- (6) 事業評価検証（通年）

【参加者の声】

- ・毎回異なったプログラムが用意されているので、参加するたびに新たな感動を味わっています。そのため、いつも参加するのが楽しみです。もっとも、真夜中の盆踊りやラジオ体操のように定番のプログラムも楽しみにしているので、毎回続けて行ってほしいと思います。(40代/男性)
- ・日曜日の昼間に行ったので家族連れも多く、アート作品を子どもが楽しそうに見ているのをみて六本木の街の新たな一面を見た気がした。芸術やアートというと気軽に参加できないイメージがあったが、今回参加していたJARTを見てアートはもっと自由なものなんだと改めて感じた。アートと笑いの融合とても良かった。見ている人を巻き込んだり、臨場感を味わえたりと、とても良いパフォーマンスだった。また参加したいと思った。(10代/女性)
- ・楽しかったです。アートナイトなので、普段は入れない深夜の美術館に入ることができたり、夜なので、光を活用した作品が綺麗に見えたり、なかなか立ち会えないインスタレーションを観賞できたり、六本木アートナイトでしか体験できないことがたくさんありました。(20代/女性)
- ・六本木に行けばギャラリーや美術館をはしご出来るので好きな街です。今回はミッドタウンの庭での空気が人が空を浮かんでいたのが最高でした。それから街中の挟まる人、公園、神社でのインスタレーションにときめきました。(30代/女性)
- ・簡潔で分かりやすいテーマがよいです。しかも、深くて想像が膨らむもの。具体的でありながら、抽象へと想像が膨らむ、感情への喚起もあったほうがよいです。毎年違うテーマを企画するのは大変だと思いますが、楽しみにしていますので、宜しくお願いします！！(50代/女性)

# 18

## MOT サテライト 2018秋 うごきだす物語

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年10月20日（土）～11月18日（日）14日間 ※金、土、日、祝日開催
会場	清澄白河エリアの各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館・アーツカウンシル東京
後援	江東区、駐日韓国大使館 韓国文化院
特別協力	深川資料館通り商店街協同組合、東京藝術大学芸術情報センター、東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室
協賛	大日本印刷株式会社
協力	デル株式会社、錯視ブロックワークショップグループ、一般社団法人 江東区観光協会、法政大学大学院 地域創造システム研究所、江東区文化観光ガイドの会、江東区立深川図書館、江東区深川江戸資料館、江東区立元加賀小学校、元加賀小学校和太鼓クラブ、旭写真店、白河二丁目町会、江東区芭蕉記念館、グランチェスター・ハウス、龍徳山 光厳教寺 雲光院、株式会社ささき、THE FLEMING HOUSE、アライズ コーヒーエンタングル、サッカー、ティーポンド、株式会社滑川建具、善徳寺、一般社団法人 まちふね みらい塾、株式会社キョーダイ社

第21回 文化庁メディア芸術祭協賛事業

入場者数 14,139人  
 関連プログラム参加人数 1,118人

### 【事業趣旨（目的）】

MOT サテライトは、現代美術館が、その活動を館の外に拡張し、外部組織とのネットワークを築きながら、展示、パフォーマンス、トークなど多彩なプログラムを毎年都内各所で実施する事業。現代美術館の工事休館中に開催される第1回から3回目は清澄白河エリアの地域活性化と、都内各所での拠点形成を目指す。第3回となる「MOT サテライト2018秋 うごきだす物語」は、2019年春の美術館のリニューアル・オープンへの気運を高め、地域や教育機関、関係各所との連携をさらに深めていくことを目指して実施した。

### 【開催状況】

#### (1) MOTスペース

清澄白河エリアの工場跡地や地域拠点など、「MOTスペース」と名づけたスペースで作品を展示。

開催日	会場	アーティスト名	入場者（人）
10/20～11/18	深川資料館通り商店街協同組合事務所1F	東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室×DNP ARプロジェクト、東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト、錯視ブロックワークショップグループ	2,395
	グランチェスター・ハウス	志村博	1,801
	白河の倉庫	ジョン・ヨンドウ	1,825
	大島倉庫	鈴木のぞみ	1,811
	旧酒房越路	デニス・オッペンハイム	1,778
	三好の旧製本所	宮永愛子	1,820
	白河二丁目町会会館	鈴木のぞみ	2,709

#### (2) MOTスポット

商店街等を利用した小規模展示。

開催日	会場	アーティスト名
10/20～11/18	ささきビル（外壁）	ひがしちか
	旭写真店	鈴木のぞみ
	アライズ コーヒーエンタングル	鈴木のぞみ
	江東区立深川図書館	のらもじ発見プロジェクト （下浜臨太郎、西村斉輝、若岡伸也）
	サッカー	鈴木のぞみ
	善徳寺（外壁）	ひがしちか

(3) 関連プログラム

開催日	プログラム名	会場	入場者(人)
10/20	レセプション	フレミングハウス	250
10/21	アーティストトーク(志村博、中谷日出)	江東区深川図書館 3階ホール	22
10/26	上映&トーク(ジョン・ヨンドウ)	深川江戸資料館	41
10/27	のらもじ発見プロジェクトワークショップ	江東区深川図書館 3階ホール	21
10/28	アーティストトーク(鈴木のぞみ、丹羽晴美)	白河二丁目町会会館	10
11/3、4	鉄割アルパトロスケット 演劇公演	フレミングハウス	354
11/3	サッカク・ブロック・ワークショップ	江東区深川図書館 3階ホール	25
11/4	ARまちあるきツアー@清澄白河	清澄白河周辺	16
11/10	アーティストトーク(ひがしちか、戌井昭人)	リトルトーキョー	25
11/11	ワークショップ(鈴木のぞみ)	白河二丁目町会会館	9
11/17	アーティストトーク(宮永愛子、小野正嗣)	フレミングハウス	41
11/17	心臓ピクニック@清澄白河	龍徳山 光厳教寺 雲光院本堂	48
10/27	第57回MOT美術館講座 「アート×落語-交わることで生まれたこと」	フレミングハウス	38
11/10	第57回MOT美術館講座 「MOTコレクション-保存しながら、見せるということ」	リトルトーキョー	30
10/27、28 11/3、4、10、11、17、18	トーク&まち歩きクルーズ 「ガイドとめぐるMOTサテライト」全8回	MOTサテライト各会場	188

**【参加者の声】**

- ・ まちの良さを引き出す視点が良いと感じた。
- ・ 映像の表と裏、光と陰、全体が一体と感じ素晴らしいエネルギーを感じました。
- ・ スタンプラリーが街のいろいろな場所でアートを感じることができるのが面白い。
- ・ 美術館イベントに合わせて公演の演目をつくられているようで面白かった。
- ・ 普段、アーティストや批評家の話を聞く機会が多いが、ディレクターやアート畑以外の方の地域との関わり方のお話が大変面白く、多角的な視点を知ることができた。

# 19

## 第11回恵比寿映像祭

### 【事業概要】

テーマ	トランスポジション 変わる術
開催期間	平成31 (2019) 年2月8日 (金) ~ 2月24日 (日) [15日間/12日 (火)、18日 (月) 休館]
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京、日本経済新聞社
共催	サッポロ不動産開発株式会社、公益財団法人日仏会館
後援	駐日フィリピン共和国大使館、オーストリア大使館・オーストリア文化フォーラム、駐日韓国大使館 韓国文化院、在日スイス大使館、駐日ブラジル大使館、ポーランド広報文化センター、TBS、J-WAVE 81.3FM
協賛	全日本空輸株式会社、サッポロビール株式会社、東京都写真美術館支援会員
協力	アダム・ミツケヴィチ・インスティテュート Culture.pl、ぴあ株式会社、ドゥービー・カンパニー株式会社、株式会社ロボット
入場者数	64,223人 (地域連携プログラム等含む)

### 【事業趣旨 (目的)】

東京都写真美術館を中心とする恵比寿周辺エリアで、展示、上映、ライブ、シンポジウム、トーク・セッションなど多彩なプログラムによる映像のフェスティバルを開催することにより、映像分野における創造活動の活性化と映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として実施。

### 【開催状況】

東京都写真美術館をメイン会場に、恵比寿ガーデンプレイス内の施設や日仏会館など複数の会場で、展示・上映・オフサイト展示・ライブイベント・シンポジウム・地域連携プログラム・ガイドツアーなど、多彩なプログラムを展開した。

出品作品数：展示：30作品／上映：40本／オフサイト展示：1作品／ライブ：1作品 計72作品

参加作家・ゲスト数：67組 (26の国と地域)

#### ●展示

開催日	会場	出品作家	料金	入場者 (人)
2/8~24	東京都写真美術館 3F、2F、B1F 展示室	レン・ライ [ニュージーランド]、ルイズ・ボツカイ [ブラジル]、地主麻衣子 [日本]、市原えつこ [日本]、岡田裕子 [日本]、デヴィッド・オライリー [アイルランド]、ユニヴァーサル・エヴリシング [イギリス]、サシャ・ライヒシュタイン [スイス/オーストラリア]、ヘ・シャンユ [中国/ドイツ]、カロリナ・フレグワ [ポーランド]、牧野貴 [日本]、黒川良一 [日本/ドイツ]、ミハイル・カリキス [ギリシア/イギリス]	無料	28,718
	日仏会館ギャラリー	三宅唱+YCAM [日本]		

#### ●上映

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/8~24	東京都写真美術館 1F ホール	ウロボロス——ガザから始まる実験的トラベログ	前売500 当日1,000	2,574
		演出と俳優、その身体——草野なつか《王国 (あるいはその家について)》(150分版)		
		いつか合う視線——ミディ・ジー《14個のりんご》		
		ナーヴァス・トランスレーション——革命後夜の、個人的な社会のはなし。		
		映画が生まれるとき——三宅唱《ワイルドツアー》		
		ウテ・アウラント特集——フィルムという日常の運動 [16ミリフィルム上映]		
		ダナ・ハラウェイ——生き延びるための物語り		
		越境についての四編		
		ACCシネマ・ファンド特集——リ=ヴィジョンナリー・フレーム		
		トランスポジションのアニメーション——DigiCon6 ASIA		
		牧野貴4K最新作《Memento Stella》+スペシャルトーク		
		スペシャル上映 三宅唱《ワイルドツアー》《無言日記2018》		

開催日	会場	プログラム名	料金 (円)	入場者 (人)
2/8~24	東京都写真美術館 1Fホール	スペシャル上映 Hardcore Ambience企画「Another World」: 大野松雄《タージ・マハル旅行団「旅」について》+スペシャルライブ	前売2,500 当日3,000	2,574
		スペシャル上映 赤ちゃんも参加できる上映会《キートンの探偵学入門》	前売350 当日600	
		上映関連企画・小学生向けワークショップ こども映画教室シネクラブ@恵比寿映像祭 2019	事前申込 1,500	

●オフサイト展示

開催日	会場	作品名	出品作家	料金 (円)	入場者 (人)
2/8~24	恵比寿ガーデンプレイス センター広場	《platter》	さわひらき	無料	25,792

●ラウンジトーク、ラウンジセッション

開催日	会場	出品作家	料金 (円)	入場者 (人)
2/8	東京都写真美術館 2Fロビー	さわひらき、ホノ下智恵子	無料	872
2/9		ミハイル・カリキス、片岡真実		
2/9		カロリナ・プレグワ		
2/10		市原えつこ		
2/11		ヘ・シャンユ		
2/16		地主麻衣子		
2/17		三宅唱、阿部一直		
2/19		[地域連携プログラム Gallery 工房 親+MuCuL] 馬場隆子、佐藤慶子		
2/24		岡田裕子、武藤香織		

●シンポジウム

開催日	会場	作品名	出品作家	料金 (円)	入場者 (人)
2/10	東京都写真美術館 1Fホール	トランスポジションという 術をめぐる	岡田裕子 (展示出品作家)、地主麻衣子 (展示出品作家)、 草野なつか (上映出品作家) モデレーター: 岡村恵子 (恵比寿映像祭ディレクター /東京都写真美術館学芸員)	前売350 当日600	121
2/14	日仏会館ホール	[日仏会館共催企画] クリス・マルケルのトラン スポジション	港千尋 (多摩美術大学教授/写真家)、東志保 (大阪大 学大学院文学研究科助教授) モデレーター: 岡村恵子 (恵比寿映像祭ディレクター /東京都写真美術館学芸員) 司会: 篠田勝英 (白百合女子大学教授/日仏会館常務 理事)		

●ライブ・イベント

開催日	会場	プログラム名	出演者	料金 (円)	入場者 (人)
2/22、23	ザ・ガーデンルーム	ライブ・パフォーマンス「映像を追いか けて——音とイメージの夢幻サーカス」	曾我大穂、小金沢健人 special guest スズキタカユキ	前売1,500 当日2,000	189

●地域発信プロジェクト

開催日	会場	プログラム名	出演者	料金 (円)	入場者 (人)
2/14	YEBISU GARDEN CAFE	YEBISU大学 市民課~映像のシ ティズンシップカフェ	講師: 前田真二郎 (映像作家/情報科学芸術大学 院大学 [IAMAS] 教授) モデレーター: 津田広志 (編集者)	無料	166
2/15	東京都写真美術館 1Fスタジオ	東京藝術大学大学院映像研究科 geidaiRAM2 連携企画 ポストドキュメンタリーをめ ぐる	桂英史 (メディア研究/東京藝術大学大学院映像 研究科教授)、諏訪敦彦 (映画監督/東京芸術大学 大学院映像研究科教授)		
2/15	GREENBOWL (グ リーンボウル)	YEBIZO MEETS交流サロン~ みんなでアートや映像について 語ろう!	主催: GREENBOWL (グリーンボウル)		
2/23	東京都写真美術館 1Fスタジオ・東京 都写真美術館展示 室	フェスティバルを自分の言葉で 伝えよう、書くヒントを見つけ る90分	講師: アンドリュウ・マークル (ライター/編集者)		

●地域連携プログラム

開催日	会場	参加施設	入場者 (人)
2/8~24	恵比寿地域文化施設およ びギャラリーなど (13 施設)	日仏会館、YEBISU GARDEN CINEMA、伊東建築塾、MA2 Gallery、CAGE GALLERY、 Gallery 工房 親、MuCuL、NADiff a/p/a/r/t、スクールデレック芸術社会学研究所、MEM、 Galerie LIBRAIRIE 6、AL、AIT	5,730

●ガイドツアー

開催日	会場	プログラム名	料金(円)	入場者(人)
2/11、17	東京都写真美術館全フロア、センター広場、日仏会館ギャラリー	フェスティバルの全体像を掴もうツアー [90分/日本語] ※2/17のみ手話通訳あり	無料	61
2/17、24	東京都写真美術館全フロア、センター広場	やさしい日本語で巡るガイドツアー [90分/日本語/英語要約あり]		
2/20		異文化・視点のトランスポジションを巡るガイドツアー [60分/日本語]		

**【参加者の声】**

- ・良かったです。映像にも沢山種類があると学びました。(10代/女性)
- ・日々ネットで映像に囲まれて慣れている(当たり前になっている)のに、この映像祭では、新たなきづきがあるのがおもしろいです。(30代/男性)
- ・キャッチーな芸術、動員が望まれる展覧会企画が増えている気がする昨今、TOPらしいとても貴重な場になっていると思います。ぜひ東京の文化的事業の中で非常に重要なものとして位置づけ、世界の様々な才能が会う場として、また世界のあたらしい文化潮流を紹介する場として、継続的に活動いただけることを期待しています。(50代/女性)
- ・現代アートは全くわからないが何回も体験することで違和感がへっていき、なじめるようになってみせていただいています。(70代以上/女性)

# 20

## 芸術セレクション

### 【事業概要】

**開催期間** 平成30（2018）年7月16日（月・祝）～平成31（2019）年2月24日（日）  
**会場** 東京芸術劇場  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
**入場者・参加者** 16,121人（受講生を含む）

### 【事業趣旨（目的）】

若手の人材育成と国際・創造発信を目的として、東京芸術劇場のセレクションにより、若手を中心とした公演や海外の上質な作品を紹介する公演、企画性に富んだプロデュース公演等、様々な舞台芸術作品を上演する。

### 【開催状況】

公演日（回数）	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金（円）	入場者・参加者（人）
7/16～26 (10)	東京芸術劇場 プレイハウス	『BOAT』	作・演出：藤田貴大（マームとジブシー） 出演：宮沢水魚、青柳いつみ、豊田エリー、中嶋朋子 ほか	S席：5,500 A席：4,500 65歳以上（S席）： 5,000 25歳以下（A席）： 3,000 高校生以下： 1,000	5,012
8/2（1）	東京芸術劇場 シアターイースト	芸術＋トーク 異世代作家リーディング 『自作自演』＜第16回＞	出演：永井愛（劇作家・演出家）、長田育恵（劇作家） トーク聞き手：徳永京子（演劇ジャーナリスト）	一般：3,000 65歳以上：2,500 25歳以下：2,000 高校生以下： 1,000	167
9/28～30 (3)	東京芸術劇場 シアターイースト	『間 エチュード—MA étude』	構成・演出：カミュー・ボワテル、セヴ・ベルナル 出演：カミュー・ボワテル、セヴ・ベルナル、井原季子（笙・唄）、青木淳	一般：2,500 65歳以上：2,000 25歳以下：1,800 高校生以下： 1,000	409
10/7～21 (16)	東京芸術劇場 シアターイースト	『書を捨てよ町へ出よう』	作：寺山修司 上演台本・演出：藤田貴大（マームとジブシー） 出演：佐藤緋美、青柳いつみ ほか 映像出演：穂村弘（歌人）、又吉直樹（芸人）、佐々木英明（詩人）	一般前売：4,800 一般当日：5,300 65歳以上：4,300 25歳以下：3,800 高校生以下： 1,000	2,952
12/1、2、4 (3)	東京芸術劇場 プレイハウス	『月に憑かれたピエロ』 『ロスト・イン・ダンス—抒情組曲—』	演出・振付・照明・美術：勅使川原三郎 ダンス：勅使川原三郎、佐東利穂子 歌：マリアヌス・ブスール 指揮：ハイメ・ウォルフソン 演奏：多久潤一朗、岩瀬龍太、田口真理子、松岡麻衣子、甲斐史子、般若佳子、山澤慧	S席：5,000 A席：4,000 65歳以上（S席）： 3,000 25歳以下（A席）： 2,500 高校生以下： 1,000	1,355
1/18、19（3）	東京芸術劇場 シンフォニースペース	北尾亘（Baobab）ダンスワークショップ	講師：北尾亘（Baobab）	各回：2,000	36
1/24～26（3）	東京芸術劇場 シアターイースト	芸術＋トーク 朗読『東京』第六回	演出：長部聡介 出演：A 西田尚美、豊田エリー B 佐々木蔵之介、八十田勇一 C 板尾創路、梶原善 トーク聞き手：泉麻人	一般：3,000 65歳以上：2,500 25歳以下：2,000 高校生割引： 1,000 3公演セット券： 6,000 2公演セット券： 4,500	604
2/2～24 (21)	東京芸術劇場 シアターイースト	『Le Père 父』	作：フロリアン・ゼレール 翻訳：齋藤敦子 演出：ラディスラス・ショラー 出演：橋爪功、若村麻由美、壮一帆、太田緑朗、吉見一豊、今井朋彦	一般：7,000 65歳以上：6,000 25歳以下：3,000 高校生以下： 1,000	5,417

公演日(回数)	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金(円)	入場者・参加者(人)
11/21~24 (4)	東京芸術劇場 リハーサルルームL		【特別ワークショップ】 講師：ジョアン・スワルトヴァゲール	10,000	17
11/20 (1)	アンスティチュ・ フランス東京エ スバスイマー ジュ	ストリート アーティスト ト・アカデ ミー2018	【レクチャー】 講師：ジョアン・スワルトヴァゲール、 アガタ・デュモン 司会：乗越たかお	1,000	152
12/13、 1/19、2/12 (3)	東京芸術劇場 シンフォニース ペース、ギャラ リー2		講師：橋本隆雄 聞き手：サンキュー手塚、高萩宏、三 好勝則 司会：乗越たかお	500	
				合計	16,121

## 【参加者の声】

### ●『BOAT』

- ・出演者の方々のキョリが近く、音に迫力があり、とても勢いのある時間でした。
- ・初めて藤田さんの舞台を見ましたが、かなり観念的、メタファー的で、藤田さんご自身の自問自答が反映されているのかなと思いました。

### ●芸劇+トーク 異世代作家リーディング『自作自演』第16回

- ・創作にまつわるようなお話が本当に面白く、またぜひ同様な企画をお願いします。
- ・台本の朗読(ひとりで)という企画が面白かった。特に観ている作品の場合は、そのシーンが思い出されるようであった。

### ●『間 エチュード—MA étude』

- ・創作過程を公開し、模索中のものを(しかも海外の)共有できる企画に初めて出会いとても意義深く完成形が観たいと思いました。とても面白かった。
- ・ユニークな企画。ありがとうございました。完成形を拝見するのを楽しみにお待ちしております。「間」の意味付けについて、いろいろと考えています。

### ●『書を捨てよ町へ出よう』

- ・すごく面白かったです。初演も3年前にみっていますが、より奥深く、またスタイリッシュになったと思いました。
- ・すぐれた寺山修司の解釈でした。新しい。

### ●『月に憑かれたピエロ』『ロスト・イン・ダンス—抒情組曲—』

- ・『月に憑かれたピエロ』今年観劇したダンス作品の中で、最高でした。踊り、歌、舞台装置、全てが素晴しかったです。舞踊表現のポキャブラリーの広さに感激しました。
- ・こういうコラボレーションをみられるのは芸劇のような会場ならではのなごまたやってほしいです。

### ●芸劇+トーク 朗読『東京』第六回

- ・朗読劇初めてでしたが、とても感動しました。声の演劇がこんなに美しいものとは思いませんでした。
- ・初めて朗読劇というものを観て、一般的な演劇を違ってまた良いなと思いました。東京生まれ東京育ちの私でも知らなかった「東京」を知れてよかったです！！

### ●『Le Père 父』

- ・認知症の主人公の世界を演劇的に表現されているのが面白い。当事者がどれほど混乱した不安な世界にいるのか体験できました。
- ・重いテーマをシャレタ雰囲気と役者のうまさで十分に味わうことができた。

### ●北尾亘(Baobab) ダンスワークショップ

- ・ダンスの根本的な身体を動かすという面白さや楽しさを改めて感じることができました。バレエやジャズダンスと違って、自由に表現する楽しさを学ばせていただきました。
- ・体を動かすのは好きだけど、「ダンス」というと敷居が高く、難しいイメージでしたが、今回動かしてみて、日常生活やイメージだけでこんなにも動きに奥行きがあって動いている方もみている方もおもしろかったです。

### ●ストリートアーティスト・アカデミー2018【特別ワークショップ】

- ・自分にはない考えや発想を手にいれられた。非常に満足です。
- ・ストレッチからインプロの集団パフォーマンス、いつも段取りを考えてしまったり、自分が一番やりたいと思う感情より、どう見て欲しい、見せたいを優先に考えていたので、心のままに体を動かす面白さと気持ち良さを知りました。

### ●ストリートアーティスト・アカデミー2018【レクチャー】

- ・大道芸だけでなく舞台や音楽、エンターテイメント全般にも言える、大変ためになるお話でした。
- ・とてもおもしろく、勉強になりました。前向きな意欲が湧きました。

# 21

## 東京芸術祭2018

### 【事業概要】

- 開催日時** 平成30（2018）年9月1日（土）～12月9日（日）
- 開催場所** 東京芸術劇場、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、池袋西口公園、南池袋公園 ほか
- 主催** 東京芸術祭組織委員会 [公益財団法人東京都歴史文化財団（アーツカウンシル東京・東京芸術劇場）、豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会]

### 【参加事業】

東京芸術祭直轄プログラム、フェスティバル/トーキョー18、芸劇オータムセレクション、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、APAF - アジア舞台芸術人材育成部門

来場者総数：178,568人

- 東京芸術祭直轄プログラム 18,640人
- フェスティバル/トーキョー18 84,589人
- 芸劇オータムセレクション 46,040人
- としま国際アート・カルチャー都市無料発信プログラム 46,842人
- APAF - アジア舞台芸術人材育成部門 437人

### 【事業趣旨（目的）】

東京の多彩な文化的特色をもった地域に着目し、それぞれの地域の文化的拠点の活動を支援することによって、芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図る芸術文化拠点形成支援事業として、豊島区池袋を中心として幅広い層のアーティスト、クリエイター、芸術団体が参画、また幅広い層の観客に向けた舞台芸術祭として、〈フェスティバル/トーキョー〉、〈芸劇オータムセレクション〉、〈としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム〉、〈APAF - アジア舞台芸術人材育成部門〉を東京芸術祭として実施した。また、今年度より、「プランニングチーム」として総合ディレクターと参加事業のディレクターが協働している。

### 【開催状況（主な上演演目）】

東京芸術祭直轄プログラム

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
10/18~28	『野外劇 三文オペラ』	池袋西口公園	作：ベルトルト・ブレヒト 演出：ジョルジオ・バルベリオ・コルセッティ
10/24~25	第七劇場×Shakespeare's Wild Sisters Group 日台国際共同プロジェクト Notes Exchange vol.3『珈琲時光』	東京芸術劇場 シアターウエスト	企画協力：侯 孝賢 脚本：王 嘉明 演出：王 嘉明、鳴海康平
10/27~28	『ガラスの動物園』	東京芸術劇場 プレイハウス	作：テネシー・ウィリアムズ 演出・舞台美術：ダニエル・ジャンストー
10/27~29	『ダーク・サーカス』	東京芸術劇場 シアターウエスト	原作：ペフ 出演：ステレオブティック
11/2~4	『アダルト版 ユメミルチカラ』	東京芸術劇場 シアターイースト	振付・演出・出演：メルラン・ニヤカム
11/3~4	『空は翼によって測られる』	あうるすぽっと	振付・演出：メルラン・ニヤカム

フェスティバル/トーキョー18

開催日	プログラム名	会場	作・出演者等
10/16、11/18	F/Tシンポジウム フェスティバル・アップデート	東京芸術劇場 シンフォニースペース、あうるすぽっと ホワイエ	司会：長島確、河合千佳
10/23～11/11	ディレクターズ・ラウンジ 「ディレクター/ディレクションのこれから」 「背景?前景?」	東京芸術劇場 アトリエイスト	登壇者：吉開菜央、ムハンマド・アル=アッタール ほか
10/25～28	『福島を上演する』/マレピトの会	東京芸術劇場 シアターイスト	作・演出：マレピトの会
11/9～11	『NASSIM』/ナシーム・スレイマンプール×プッシュシアター	あうるすぽっと	作・出演：ナシーム・スレイマンプール
11/13～14	『Changes』/ドキュメント	あうるすぽっと	監督：山本卓卓
(アジアシリーズ vol.5 トランス・フィールド)			
開催日	プログラム名	会場	作・出演者等
10/13、14	『MI(X)G』	南池袋公園	コンセプト・演出：ピチェ・克蘭チェン
11/3、4	『30世紀』/シヨブノ・ドル	東京芸術劇場 シアターウエスト	脚色・演出：ジャヒド・リボン 原作：パドル・ショルカル
11/8～11/11	『境界を越えて～アジアシリーズのこれまでとこれから～』	東京芸術劇場 シアターイスト	
11/10、11	『ポンプン・イン・トーキョー』	北千住 BUoY	キュレーション：ローモールピッチ・リシー
11/10、11	『フィールド：フノンペン』	北千住 BUoY	
(まちなかパフォーマンスシリーズ)			
開催日	プログラム名	会場	作・出演者等
10/20～22	『A Poet: We See a Rainbow』	豊島区内各所	作・演出・出演：森栄喜 ドラマトウルク：長島確
10/27～28 11/10～11/11	『ラジオ太平洋』	東京さくらトラム（都電荒川線車内）	作・演出・出演：福田毅
10/31～11/3	『定吉と金兵衛』	豊島区立目白庭園 赤鳥庵	作・演出・出演：L.PACK. 原案：落語『茶の湯』より
11/14～17	『テラ』	西巣鴨 西方寺	坂田ゆかり（演出）×稲継美穂（出演）×田中教順（音楽） 原案：三好十郎「詩劇『水仙と木魚』-少女の歌える-」 ほか

芸劇オータムセレクション

開催日	プログラム名	会場	作・出演者等
9/1～12 11/3～25	『鷹作 桜の森の満開の下』/NODA・MAP	東京芸術劇場 プレイハウス	作・演出・出演：野田秀樹
9/28～30	日本・フランス国際共同制作『間 エチュード』	東京芸術劇場 シアターイスト	構成・演出・出演：カミーユ・ボワテル
10/8～10/21	『ゲゲゲの先生へ』	東京芸術劇場 プレイハウス	原作：水木しげる 脚本・演出：前川知大
10/20～29	『スモール・メタル・オブジェクト』/バック・トゥ・バック・シアター	池袋西口公園	演出：ブルース・グラッドウィン

としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム

開催日	プログラム名	会場	作・出演者等
9/1～9/30	第30回 池袋演劇祭	あうるすぽっと ほか	参加：51劇団
9/23	伝統芸能@南池袋公園事業 日本の芸能 三番叟～中世から江戸へ～	南池袋公園 特設能舞台	構成・演出：野村万蔵 出演：野村萬、野村万蔵、豊島区民 ほか
9/24	伝統芸能@南池袋公園事業 ひとはおどる -日本の民俗舞踊-	南池袋公園 特設能舞台	出演：長崎獅子連、中野新道エイサー、与那国島青年部 ほか
10/10	『奈々福の、惚れるひと。』	あうるすぽっと	出演：柳家喬太郎、玉川奈々福（曲師：沢村豊子）、神田松之丞 ほか
10/20	『大田楽 いけぶくろ絵巻』	豊島区役所1階としまセンタースクエア（予定会場から変更）	総合演出・出演：野村万蔵（能楽師和泉流狂言方） 出演：稲葉明德、山下由紀子、ACT.JT わざおぎ、石井康太ほか、豊島区民参加、コスプレイヤー ほか
11/22～25	ダンスで演劇 『右まわりのおとこ』	あうるすぽっと	構成・上演台本・演出：芳賀薫 振付・演出：近藤良平 出演：千葉雅子、矢崎広、近藤良平
12/7～9	『光の音・影の音・耳だけで聞くものなのか。』	あうるすぽっと	アーティスティック・ディレクター：南村千里 出演：伊藤キム、振子びじん、aokid ほか

APAF - アジア舞台芸術人材育成部門

開催日	プログラム名	会場	作・出演者等
11/9、10	国際共同クリエーション『ビューティフル・トラウマ～Behind the Seen～』	東京芸術劇場 シアターウエスト	演出：ユスティアンシャ・ルスマナ 出演：アブナー・T・デリナ・ジュニア、三方美由起、南波圭 ほか
11/10、11	国際共同制作ワークショップ 上演会 (3作)	東京芸術劇場 シアターウエスト	演出：デンディ・マディヤ、京極朋彦、イッサ・マナロ・ロベス
11/6～11/12	アートキャンプ	東京芸術劇場 アトリエウエスト、あうるすぽっと ホワイエ ほか	キャプテン：石神夏希 登壇：ワークショップ参加者

## 【参加者の声】

- 『野外劇 三文オペラ』
  - ・前は通りすがりで興味を持ち本日来場した。機会があれば来場したい。
  
- 『ガラスの動物園』
  - ・Tré Tré Bon!!! 感動をありがとうございました!!!! (中略) すばらしい演技!! 舞台!!!!
  - ・テネシー・ウィリアムズに取り組んだ、ジャン・ヌトー氏に感謝します!
  
- 『ダーク・サーカス』
  - ・砂やチョークなどを用いて絵をかき、物語を作り上げていく表現はとても面白かったです。
  
- 『珈琲時光』
  - ・日本語と國語と広東語。混じるというよりは串で刺したような。時代と文化と。よいものを拝見しました。ありがとうございました。
  
- 『スモール・メタル・オブジェクト』
  - ・屋外をステージにすることで観客と演者の立場が逆転するかなのような場であることが新鮮に感じられた。
  
- APAFーアジア舞台芸術人材育成部門『国際共同制作ワークショップ』
  - ・プレゼンテーションを見ること自体が初めてでつくり手がどのような過程を経て作品をつくったのかを想像するのがおもしろかった。

# 22

## Shibuya StreetDance Week 2018

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年11月25日（日）ほか
会場	代々木公園（野外ステージ、イベント広場）ほか
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 Shibuya StreetDance Week 実行委員会
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	公益財団法人東京都公園協会、一般財団法人渋谷区観光協会、東京商工会議所渋谷支部、商店街振興組合原宿表参道櫛会
協力	東京急行電鉄株式会社、東急百貨店 本店、渋谷マークシティ、渋谷ストリーム、En Dance Studio
企画・制作	株式会社パルコ、ファイブメディット株式会社
制作協力	株式会社アノマリー、株式会社LAST TRAIN GETTER、株式会社ワタナベエンターテインメント、株式会社ライジングプロダクション
総来場者数	延べ約29,400人

### 【事業趣旨（目的）】

表現者（ダンサー）、参加者（オーディエンス）、舞台（ステージ）を繋ぎ、幅広い層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立し、ストリートダンサーの聖地である渋谷からストリートダンスの魅力や本質的な価値を国内外へ発信し、活力に溢れた街をつくる。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者（人）
11/25	代々木公園 野外ステージ	BLUE STAGE	<ゲストパフォーマー> Alaventa、QueenMe、GANMI <参加団体> REDEIC DANCE STUDIO KIDS、東京ビジュアルアーツ、なるたか、LOVE JUNX、親子DEダンス教室wa-shoi、VAW栄光ハイスクール、東京ダンス&アクターズ専門学校、日本工学院専門学校、WORKS KIDS、HBDA、avex Dream Team、東放学園 <MC> IMAGINE	ストリートダンスを通じて社会活動を行う様々な団体と、渋谷を拠点に活動するダンサーがステージを披露。	約28,000
		SSDW CONTEST	<出場校> 東京都立光丘高等学校、東京立正高等学校、品川エトワール女子高等学校、東京都立飛鳥高等学校、杉並学院高等学校、川口市立高等学校、東葉高等学校、東京都立練馬高等学校、日本体育大学荏原高等学校、千葉県立松戸国際高等学校、目黒学院高等学校、東京都立足立高等学校、武蔵野中学高等学校、國學院高等学校、高木学園女子高等学校、北九州市立高等学校、千葉敬愛高等学校、東京都立清瀬高等学校、二松学舎大学付属高等学校 <審査員> AKIHITO（ENcounter ENgravers）、suzuyaka、YULI（魁極龍/Dakinee/Nicol. Crossence） <MC> IMAGINE	チーム型のストリートダンスコンテストを通じて、次世代のルーキーの育成、発掘を目的とした高校生対抗ストリートダンス選手権。	
		DANCE WITH music	<テーマソング> Beautiful Monday（Beat Buddy Boi） <出演> FISHBOY、Beat Buddy Boi LECTURE SPOT 参加者、BATTLE PARK 優勝チーム「D.RJ」（烈、RION、TAKARA、RUKA） SSDW CONTEST 優勝校（千葉敬愛高等学校） <MC> IMAGINE	出演者と来場者が一緒にSSDWテーマソングにあわせて踊るオープンプログラム。	

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者(人)
11/25	代々木公園 イベント広場	BATTLE PARK	<参加者> HIP HOP 64人、LOCK 28人、POP 17人、 FREESTYLE 59人 <審査員> 【HIP HOP】 KENTO (S.T.O)、 KYO-KA (I-muth) 【LOCK】 Yu-mah、 YUI (TONY GOGO Family/Revety) 【POP】 BOO、So-ki☆ 【FREESTYLE】 2GOO、 Kid Twiggz (Twiggz Fam) <MC> YAS <DJ> HIROKING、sat0ru、YASUSHI	ジャンル別ソロオーディションを勝ち抜いたダンサーが、4ジャンルからの選抜による当日即席のチームを結成し勝者を決めるSSDWオリジナルルールのダンスバトル。	約28,000
		LECTURE SPOT	<参加者> HIP HOP 100人、JAZZ HIPHOP & POP100人、SOUL & LOCK100人 <講師> 【HIP HOP】 Toyotaka、RYO 【JAZZ HIPHOP & POP】 MAIKO、KITE 【SOUL & LOCK】 YOSHIE、HANA	プロダンサーによるダンスレッスンを無料で受けることができるワークショップ。	

プレス向けイベント

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者(人)
11/19	En Dance Studio	プレス向けイベント	FISHBOY、KENZO (映像出演) <MC> 小林佳果	メディア向けの記者会見を実施。	11

Shibuya DANCE CARAVAN

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	入場者(人)
11/20	渋谷マークシティ、 渋谷ストリーム、 東急百貨店 本店	Shibuya DANCE CARAVAN	Beat Buddy Boi	渋谷のまちなかでダンスショーケースを展開。	1,376

【参加者の声】

- ・バトルが楽しかったし、色々な人のダンスが見れたので、とても参考になった。(20代未満・女性)
- ・無料で見れるなんて贅沢でした。すごく楽しかったです。ありがとうございました。(20代・女性)
- ・屋外という開放感の中で、初めて知り合う人たちと、しかもペアを組むダンスを考えてくれて、とても貴重で楽しめました。(30代・男性)
- ・無料で参加できるワークショップ。定員も多くて、青空の下、とても楽しく参加できた。毎年開催してほしいです。(40代・女性)

# 23

## キッズ伝統芸能体験

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年7月26日（木）（開講式：国立能楽堂）～12月24日（月・休）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
企画制作・運営	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
制作協力	公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、一般社団法人長唄協会
共催	公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センター）、羽村市教育委員会、小金井市民交流センター 指定管理者 こがねいしてい共同事業体
協賛	独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	新宿区
協力	公益財団法人梅若会、公益社団法人宝生会、公益財団法人日本伝統文化振興財団
参加申込者数	1,138人
参加費	スタンダードプログラム 15,000円（全18回／稽古16回、リハーサル1回、発表会1回） ユースプログラム 15,000円（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回）
参加者数	331人（スタンダードプログラム284人、ユースプログラム47人）
観覧者数	1,748人

### 【事業趣旨（目的）】

能楽や日本舞踊、三曲、長唄の一流の実演家が、伝統芸能の稽古にふさわしい場で子供たちに直接、定期的かつ継続的に指導し、最後にその成果を舞台上で発表することを通して、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法や厳しさなどの文化環境を学ぶ機会を提供するとともに、子供たちの伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施。

### 【開催状況】

能楽（謡・仕舞、狂言）、日本舞踊、三曲（箏曲、尺八）、長唄（三味線、囃子）の四つの領域で、一流の実演家が数か月にわたり小学生・中学生・高校生の子供たちを直接指導し、その成果を本格的な舞台上で発表するとともに、講師による実演の鑑賞会を実施した。また、より多くの子供たちに機会を提供するため、中学生・高校生のみを対象を特化したユースプログラムを実施した。

1. スタンダードプログラム

4ジャンル11コースで年齢層に合わせたきめ細かいお稽古を16回と、最後にその成果を披露する発表会を実施。

内容	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)	発表会場	発表日	鑑賞者(人)
能楽	梅若能楽学院会館	9/3、10、18、25 10/1、9、15、22、29 11/5、12、19、26	佐々木多門、大島輝久、友枝真也、塩津圭介、佐藤寛泰、佐藤陽	15	宝生能楽堂		291
		12/3、10、17	山本則俊、山本泰太郎、山本則孝、山本則重、山本則秀、若松隆、山本凜太郎	20			
長唄	羽村市生涯学習センター ゆとろぎ	8/12、19、26 9/2、9、16、23、30 10/7、21 11/4、18、25 12/2、9、16	杵家弥七、今藤政太郎、東音岩田喜美子、今藤政子、今藤政音、杵屋勝孝、東音植松美名、芳村伊十治郎、杵屋五三吉都ほか	20	国立劇場小劇場	12/24	642
		杵家会館	8/12、19、26 9/2、9、16、23、30 10/14、21 11/4、11、18 12/2、9、16	望月庸子、望月太左衛門、梅屋巴、川島佑介、望月太津之ほか			
	8/5、19、26 9/1、8、17、23 10/8、14、21、28 11/4、25 11/18、23 12/2、15、16		福原徹彦、藤舎理生、鳳聲千晴ほか	12			
	8/5、12、19、26 9/2、9、16、23 10/7、21、28 11/4、25 12/2、9、16	(生田流) 福田栄香、青野雅楽浪、大嶋敦子、齊藤文香代妃、阪元沙有理、花岡操聖 (山田流) 山勢麻衣子、奥山益勢、樋口千清代、金澤法花能、瓦田松周、山下紗綾	57				
尺八	清野樹盟、長須佳盟、遠藤鈴匠	15					
日本舞踊	芸能花伝舎	8/19、26 9/2、16、23 10/7、14、21、28 11/4、11、18、25 12/2、9、16	花柳昌風生、藤間翔央、坂東はつ花、水木優翠、西川扇左衛門、花柳寿々彦、花柳寿美琴音、花柳静久郎	44	12/23	402	
		15					
計				284	発表会鑑賞者計		※1,748

※発表会はスタンダードプログラムとユースプログラムとが同時開催のため鑑賞者数は両プログラムを合わせた人数

2. ユースプログラム「伝統芸能☆ミカタ計画」

3コース各10回のお稽古で、短期間でも深い理解を目指す中高生向けの特別カリキュラムを実施。

内容	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)	発表会場	発表日	鑑賞者(人)
長唄	杵家会館	9/23、30 10/14、21 11/4、11、18 12/2、9、16	杵家弥七、今藤政太郎、東音岩田喜美子、今藤政子、今藤政音、杵屋勝孝、東音植松美名、芳村伊十治郎、杵屋五三吉都ほか	16	国立劇場小劇場	12/24	642
三曲	新宿文化センター	9/16、23 10/7、21、28 11/4、25 12/2、9、16	(山田流) 山勢麻衣子、奥山益勢、樋口千清代、金澤法花能、瓦田松周、山下紗綾	16			
日本舞踊	芸能花伝舎	10/7、21、28 11/4、11、18、25 12/2、9、16	花柳昌風生、藤間翔央、坂東はつ花、水木優翠、西川扇左衛門、花柳寿々彦、花柳寿美琴音、花柳静久郎	15	12/23	402	
計				47	発表会鑑賞者計		※1,748

※発表会はスタンダードプログラムとユースプログラムとが同時開催のため鑑賞者数は両プログラムを合わせた人数

## 【参加者の声】

### ●お稽古に参加した子供の声

- ・この日本舞踊体験に参加して「日本の文化ってカッコいいな」と感じるようになった。そして伝統芸能が好きになった。(日本舞踊／女子)
- ・伝統芸能について学べたし、伝統芸能が好きになれた。そして、日本の文化を大事にしていきたいと思った。日本舞踊だけでなく三味線などの楽器もやってみたい。とっても良い体験になりました。(日本舞踊／女子)
- ・日本の文化は素晴らしいので、日本人である私達が知らないのが恥ずかしいと思った。日本の伝統芸能はカッコいいです！(三味線／女子)
- ・毎回お稽古の時間と空かんが、ぼくにとってとくべつにかんじていました。すべてがしんせんでした。(三味線／男子)
- ・約半年間、とてもあっという間に過ぎていきました。習い事をするのは久しぶりで緊張をしたけれど、お稽古を重ねるごとに上達していくのが感じられ、とても嬉しかったです。このような機会を設けてくださりありがとうございました。(三味線／ユース・女子)
- ・練習はキツイかもしれないけれど、自分の自信が増えます！(狂言／男子)
- ・日本の伝統文化は、すばらしく、カッコいい。みんなにもやってほしい。(狂言／男子)
- ・さいごの先生のえんそうが、とてもカッコよかったです。自分も先生みたいにきれいにひけるようになりたいです。(箏曲／女子)

### ●保護者の声

- ・本物に囲まれた中で、とても良い経験になりました。先生方の真剣さも伝わり、貴重な経験を頂いたことに感謝いたします。
- ・伝統芸能を体験した子供たちが1人でも多く伝統文化の継承者になってもらいたいと思います。
- ・初めての古典芸能の体験は子供たちにとって貴重な経験となり、心に残ると思います。低学年の子供たちのセリフや声色が立派で、ただただ感激です。
- ・今日の発表会が終わりではなく、きっとこれから子供たちの日本文化への興味・関心が大きな花を咲かせるのだなと感じました。

# 24

## 子供のための伝統文化・芸能体験事業

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年6月～平成31（2019）年2月
会場	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部、中学部、高等部）および各種学校として認可された外国人学校
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
参加者人数	2,841人

### 【事業趣旨（目的）】

子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校と連携した取組として実施する。

### 【開催状況】

学校名	開催日	内容	実施団体（協力）	体験者（人）
墨田区立中和小学校	6/15	雅楽	一般社団法人伶楽舎	59
江戸川区立小松川小学校	6/15	箏	公益社団法人日本三曲協会	58
板橋区立板橋第六小学校	6/16	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	61
世田谷区立立玉川中学校	6/18	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	121
江戸川区立清新ふたば小学校	6/21	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	90
新宿区立落合第三小学校	6/26	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	59
北区立東十条小学校	6/27	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	73
岩倉高等学校	6/30	三味線	一般社団法人長唄協会	72
稲城市立向陽台小学校	7/7	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	63
杉並区立杉並第三小学校	7/11	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	31
都立総合工科高等学校定時制課程	7/18	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	42
都立神津高等学校	7/18	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	43
江戸川区立西小岩小学校	9/11	茶道	東京都華道茶道連盟	79
足立区立西新井小学校	9/12	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	93
東村山市立秋津東小学校	9/15	演芸（紙切り）	公益社団法人落語芸術協会	53
港区立南山小学校	9/28	箏	公益社団法人日本三曲協会	24
葛飾区立末広小学校	10/13	三味線	一般社団法人長唄協会	44
荒川区立赤土小学校	10/16	雅楽	一般社団法人伶楽舎	76
清瀬市立清瀬第三小学校	10/20	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	73
目黒区立大岡山小学校	10/22	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	106
小金井市立本町小学校	10/29	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	74
品川区立中延小学校	11/7	芸能（江戸糸あやつり）	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	105
東京都立立川ろう学校	11/8	伝統工芸（江戸木版画）	株式会社高橋工房	14
東京都立八王子盲学校	11/20	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	14
練馬区立向山小学校	12/8	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	82
新宿区立落合第二小学校	12/10	三味線	一般社団法人長唄協会	51
豊島区立池袋本町小学校	12/12	雅楽	一般社団法人伶楽舎	164
大田区立蒲田小学校	12/12	日本舞踊	公益社団法人日本舞踊協会	83
八王子市立第十小学校	12/12	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	102
西東京市立住吉小学校	12/17	芸能（八王子車人形）	西川古柳座	60
日野市立日野第七小学校	12/17	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人能楽協会	94
青梅市立吹上小学校	12/18	雅楽	一般社団法人伶楽舎	34
日の出町立大久野小学校	12/19	箏	公益社団法人日本三曲協会	45
荒川区立第三瑞光小学校	1/21	雅楽	一般社団法人伶楽舎	59
中野区立上鷲宮小学校	1/22	伝統工芸（江戸友禅）	東京都染色工業協同組合	61
調布市立国領小学校	1/29	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	55
学校法人岩田学園 New International School of Japan	2/1	茶道	東京都華道茶道連盟	54
江東区立深川第一中学校	2/8	能楽（狂言）	公益社団法人能楽協会	88
八王子市立第六小学校	2/8	箏	公益社団法人日本三曲協会	83
八王子市立東浅川小学校	2/12	伝統工芸（江戸小紋）	東京都染色工業協同組合	69
文京区立礫川小学校	2/16	演芸（落語）	公益社団法人落語芸術協会	49
江戸川区立新堀小学校	2/22	雅楽	一般社団法人伶楽舎	81

**【参加者の声】**

- ・ やってみて、三味線は難しく、やっている人はすごいと感じました。(三味線：高校生)
- ・ 昔からある文化が現代にも明確に受け継がれていることを知り、大切にしていきたいと思いました。(三味線：高校生)
- ・ 今まで自分には関係があまりないものだと思っていたのですが、日本の文化をあらためて感じ、ぜひまた見たいなと思いました。(狂言：中学生)
- ・ たくさんお話が聞けた。ワークショップなどの体験で、歩くだけでも大変なんだと思い、五感すべてで体験することができたので、とても楽しかったです。(狂言：中学生)
- ・ 手ぬぐいと扇子と表情だけで色々なものを表現していて、それがどれも本当にあるように見えた。また、音でも雪や川などを表現していて楽しかった。(落語：中学生)

# 25

## パフォーマンスキッズ・トーキョー

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年5月7日（月）～平成31（2019）年3月21日（木・祝）
会場	ホール5か所（世田谷区民会館、たましんRISURUホール、くにたち市民芸術小ホール・狛江エコルマホール、瑞穂ビューパーク・スカイホール）、公立小中学校12校、特別支援学校2校、児童養護施設2か所、障害児入所施設1か所
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、株式会社世田谷サービス公社（世田谷区民会館開催のみ）、公益財団法人立川市地域文化振興財団（たましんRISURUホール開催のみ）、公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール開催のみ）
共催	一般財団法人狛江市文化振興事業団（狛江エコルマホール開催のみ）、瑞穂町教育委員会（瑞穂ビューパーク・スカイホール開催のみ）
助成・協力	東京都
後援	世田谷区・世田谷区教育委員会（世田谷区民会館開催のみ）、立川市教育委員会（たましんRISURUホール開催のみ）
参加費	無料（参加、公演観覧）
参加者数	907人
観覧者数	6,229人

### 【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上と地域住民への成果発表、プロのアーティストとの触れ合い・キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

### 【開催状況】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロの現代アーティストを、都内の小中学校やホール・文化施設、児童養護施設に派遣。10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくりあげる。最後に発表公演を行い、地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。平成30(2018)年度は、5ホール、12小中学校（特別支援学級、島しょ部含む）、2特別支援学校、2児童養護施設、1障害児入所施設にて開催した。

広報活動の一環として、学校向け事業に関する広報用パンフレットを都内全公立小中学校・特別支援学校1957校ほか、各教育委員会等へ広く配布した。

### 実績一覧

	会場名	アーティスト	開催日	実施日数	参加者(人)	公演タイトル/発表の機会	発表日	観覧者(人)
学校	世田谷区立烏山小学校	黒須育海 (振付家・ダンサー)	10/18、1/21、 28、2/4、12、 22、28、3/1	8	57	『5年生…「5年生」まで あと少し』 (保護者参観)	3/1	50
	中野区立美鳩小学校	青木尚哉 (振付家・ダンサー)	10/30、11/9、 13、14、19、 27、30、12/4	8	116	『からだ・カ・ラ・ダン スだ!』 (図工展覧会)	12/4	500
	葛飾区立柴原小学校	村本すみれ (振付家・演出家・ ダンサー)	9/13、21、27、 10/2、5、9、11	7	41	『パラレルワールド・柴原 小!』(保護者参観)	10/11	150
	江戸川区立春江小学校	楠原竜也 (振付家・ダンサー)	12/11、18、 1/15、23、2/5、 20、22、25	8	109	『ぐんっとのびる ほくら の からだとせかい』 (大きくなったね会)	2/25	120
	調布市立緑ヶ丘小学校	楠原竜也 (振付家・ダンサー)	7/18、9/18、 10/17、23、30、 11/5、8、13、 15、16、17	11	67	『17ひきのねことウピア ハ』 (学芸会)	11/16、17	1,200
	小平市立小平第十五小学 校	入手杏奈 (振付家・ダンサー)	12/13、20、 1/10、30、 2/25、28、3/4、 5	8	65	『僕たちは世界をみてる～ キラキラ光れ! 10歳の自 分～』 (保護者参観)	3/5	70
	清瀬市立清瀬第四小学校	たけうちみずゑ (俳優)	7/9、10/9、20、 22、29、11/5、 12、15、16、17	10	37	『おおきなかぶがぬけな かったほんとうのりゆう』 (学習発表会)	11/16、17	300

会場名	アーティスト	開催日	実施日数	参加者(人)	公演タイトル/発表の機会	発表日	観覧者(人)	
学校	武蔵村山市立雷塚小学校	前嶋のの (脚本家・演出家・俳優)	7/10、9/6、10、18、26、27、10/1、4、5、6	10	41	『黄金の丘の上で』 (学芸会)	10/5、6	700
	奥多摩町立古里小学校	渡辺麻依 (演出家・俳優)	9/12、19、26、10/16、22、11/6、14、15、21、23	10	5	『少年と不思議な紙ひこうき』 (学芸会)	11/23	300
	興本扇学園足立区立扇中学校	長井江里奈 (ダンサー・演出家・山猫団主宰)	7/6、9/7、25、10/10、18、23、25、26、27	9	61	『桃太郎外伝』 (学園祭)	10/26、27	1,005
				3	60	※学校の希望により、他学年のダンスWSを3回実施		
	都立鹿本学園	新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト)	9/11、20、10/19、26、11/2、9、30、12/6、7	9	15	『もりの いきが きこえる』 (学部行事)	12/7	130
都立調布特別支援学校	セレノグラフィカ (ダンスカンパニー)	9/10、11、12/18、19、1/30、31、2/13、14、19	9	12	『この色で歩こう!』 (学部集会)	2/19	86	
学校/高しよ部	大島町立つつじ小学校	中村葵 (振付家・ダンサー)	7/10、11/6、7、15、16、21、22、26、27、28、29、30	12	38	1~3年『ライオンのめがね』 4~6年『冒険者たち』 (学芸会)	12/1	300
	青ヶ島村立青ヶ島小学校・中学校	加藤紗希 (振付家・ダンサー)	5/7、7/11、12、9/5、6、12、13、14、15	9	11	小学校『ブルーアイランドキッズ』 中学校『Hiroe』 (運動会)	9/16	80
ホール	世田谷区民会館	康本雅子 (振付家・ダンサー)	7/25、26、8/1、2、3、7、8、9、10、11	10	44	『タイコロンダ』	8/11	387
	たましんRISURUホール	田村一行 (舞踏家・振付家)	8/13、14、21、22、24、29、30、31、9/1	9	18	『#存在の証明』	9/1	196
	くにたち市民芸術小ホール	かえるP (ダンスユニット)	1/20、26、27、2/2、3、7、8、9、10	9	18	『Come on de DANCE!!』	2/10	114
	狛江エコルマホール	伊藤キム (振付家・ダンサー)	8/4、5、6、8、9、10、16、17、18、19	10	37	『エコルマ乗っ取り大作戦!』	8/19	252
	瑞穂ビューパーク・スカイホール	渡辺麻依 (演出家・俳優)	8/15、16、17、18、20、22、23、24、25、26	10	19	『星にいちばん近い町』	8/26	189
児童養護施設等	品川景德学園	辻田暁 (女優・コンテンポラリーダンサー)	10/8、28、12/16、1/13、2/23、3/2、10	7	8	『大地、浴びる』	3/10	20
	星美ホーム	新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト)	11/18、12/26、1/12、2/2、3/9、16、21	7	6	『いろいろ ぎりぎり びよ〜ん わくピコ おもいで はっぴょうかい!』	3/21	50
	友愛学園児童部	新井英夫 (体奏家・ダンスアーティスト)	7/22、8/24、10/21、11/11、12/16、1/13、2/17、24	8	14	『かなデル からだカラ〜おと・いろ・かたち・うごき〜』	2/24	30
1				8	※施設希望により、放課後等デイサービスの利用者を対象に体験WSを1回実施			
合計				907	合計		6,229	

※実施日数には発表を含む

## 【参加者の声】

### ●ホール

#### ・保護者（たましんRISURUホール/立川市）

時間をかけたワークショップなので、個人としても、また、参加メンバー全員でも一つの作品を通して高めあえているようでした。アーティストの皆様・スタッフの方と、ただの大人ではなく、心を開ける相手として仲良く接していただけで、笑顔たっぷり帰ってきていました。これから先、何か考える時、今回の体験・アーティストの方の言葉を思い出してほしいです。

#### ・子供（世田谷区民会館/世田谷区）

歌を歌ったり、身体で動物をつくったり、たくさん踊ったり、とっても楽しかったです。またこのようなワークショップに行きたいです。

#### ・観客（瑞穂ビューパーク・スカイホール/瑞穂町）

個々の色がよく表現されていて、一人ひとりを見ていたいくらい素晴らしかった。心が温かくなりました。

●学校

- ・先生（烏山小学校／世田谷区）

言われたこと、決められたこと、みんなと同じでなければ、身体で表現できなかつた子供たちですが、このワークショップを通して、間違いや正解がないという事を学ぶことができました。子供たちは「これでもいいんだ」「友達はどうな表現をするんだろう？」「自分とは違う」などと、個性というものを身をもって感じたようでした。

- ・子供（美鳩小学校／中野区）

最初はこんなやって意味あるの？とか面倒くさい、面白くなさそうとか思ったんですが、だんだんやっていくうちに、楽しくなって練習の時間が楽しみになりました。他の人がやっているのを見るのも楽しくて、出来て良かったなと思いました。

- ・保護者（緑ヶ丘小学校／調布市）

普段、お友達とのやりとりを具体的に話してくれる機会は少ないのですが、「劇中〇〇くんとこんな風に腕を組んで…」と嬉しそうに話す姿には、相手のことを考え、お互いの動きを察して息を合わせようという思いやりがあるのだなと感じました。

●島しょ

- ・先生（青ヶ島小学校・中学校／青ヶ島村）

最初に応募させていただいた時には、これほどのイマジネーションと感動に出会えるとは正直思っておりませんでした。子供たちの持つ可能性と、プロとつくり上げる広がり深さに、まだまだ私たちもワクワクしながら頑張っていかなきゃと思わせていただいた昨日でした。これからもたくさんの子供たちとステキな空間を創っていきましょう。

- ・子供（つつじ小学校／大島町）

みんなで一斉に踊るシーンを何度も練習して、うまくいった時は嬉しかった。

- ・保護者（つつじ小学校／大島町）

跳んだり跳ねたり普段の学芸会とはちょっと違う感じがして、プロに教わると随分と変わるなと思いました。

●児童養護施設等

- ・子供（友愛学園児童部／青梅市）

みんなも応援してくれて嬉しかったし、みんなにも見せてあげたかったし、とても楽しかった。

- ・職員（品川景徳学園／品川区）

普段集団生活をしているので、じっくりと大人と関わるのが難しいこともあり、時間をたっぷりとっていただいていたことで、子供たちも安心して活動に臨めたと思います。

# 26

## Museum Start あいうえの

### 【事業概要】

期 間	平成30（2018）年4月1日～平成31（2019）年3月31日
場 所	上野公園内の集積する9つのミュージアム
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館・アーツカウンシル東京、東京藝術大学
共 催	上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館（五十音順）
参加者数	延べ3,455人 ※学び合いカフェ387人 視察者45人を含む

### 【事業趣旨（目的）】

「Museum Start あいうえの」は、ミュージアム、大学、行政、市民が手を携え、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業（ラーニング・デザイン・プロジェクト）である。さらに、アートを通してコミュニティを育む事業、東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連動しながら、子供と大人がフラットに学び合える環境を創造することを目指す。

### 【開催状況】

#### 1. 【あいうえの学校（学校向けプログラム）】

① スペシャル・マンデー・コース：東京都美術館や東京藝術大学大学美術館の展覧会会場を、休室日（月曜日）に特別に開室する鑑賞プログラム。

開催日	展覧会	参加校	参加者（人）
9/10	東京都美術館企画展「BENTO おべんとう展－食べる・集う・つながるデザイン」	港区立御田小学校（3年生）	59
		台東区立谷中保育園（年長）	21
足立区立足立入谷小学校（5年生）		18	
江東区立第三大島小学校（6年生）		90	
9/25		台東区立根岸幼稚園（年長）	22
		豊島区立巢鴨小学校（3年生）	66
11/19	東京都美術館特別展「ムンク展－共鳴する魂の叫び」	目黒区立月光原小学校（4年生）	45
		都立白鷺特別支援学校（高校3年生）	12
港区立港南小学校（6年生）		187	
12/3		文京区立柳町小学校（6年生）	63
		台東区立金曾木小学校（4年生）	70
		文京区立文林中学校（1～3年生）	49
計			※702

※参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ341人がプログラムに参加

② うえのウェルカムコース：上野公園のミュージアムの楽しみ方を知る・学ぶことのできるプログラム。

開催日	参加校	参加者（人）
8/1	八王子市立松が谷中学校（美術部）	27
8/22	都立浅草高等学校、都立足立西高等学校、都立荒川工業高等学校、私立岩倉高等学校（1～3年生）	32
8/28	葛飾区立葛飾小学校（3～6年生）	31
8/29	吉見町立吉見中学校（美術部）	29
9/14	荒川区立第二日暮里小学校（5・6年生）	57
1/31	台東区立金曾木小学校（3年生）	73
2/25	台東区立金竜小学校（特別支援学級）	18
3/8	近畿大学附属豊岡中学校（2年生）	66
計		※333

※参加者（子供）のほか、引率者、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ64人がプログラムに参加

③ ティーチャーズ・カフェ（先生のための特別研修会）：美術館での授業を検討されている学校の先生を対象にしたプログラム。

開催日	対象	会場	参加者（人）
3/25	美術館での授業を検討されている学校の先生	東京都美術館 交流棟2階 アートスタディールーム ほか	※29

※参加者のほか、アート・コミュニケータ（とびラー）など延べ17人がプログラムに参加

2. 【あいうえのファミリー（こどもと家族のプログラム）】

① うえの！ふしぎ発見：上野公園のミュージアムを楽しむファミリー向けプログラム。

開催日	プログラム名	会場	参加者（人）
8/18	けんちく部 伝説の建築家編	東京都美術館、国立西洋美術館、東京文化会館	15
9/29	アート&アニマル部	東京都美術館、恩賜上野動物園	16
11/4	アート&サイエンス部	東京都美術館、国立科学博物館、東京藝術大学	22
11/24	けんちく部 歴史てくてく編	東京藝術大学、国立国会図書館国際子ども図書館	18
12/1	墨部	東京都美術館、東京国立博物館	16
3/27	コレクター部	東京都美術館、上野の森美術館	14
計			※101

※参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ201人がプログラムに参加

② あいうえの日和：上野公園の9つのミュージアムを楽しく冒険するコツを伝授するファミリー向けプログラム。

開催日	会場	参加者（人）
7/24	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	62
7/25	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	63
11/17	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	42
3/16	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	61
3/17	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	61
計		※289

※参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ315人がプログラムに参加

③ インクルーシブ・プログラム ミュージアム・トリップ：上野公園のミュージアムを楽しむオーダーメイドのプログラム。アート・コミュニケーターや学芸員、大学の教員が参加者に寄り添い、初めてでも安心してミュージアムを楽しめる。

開催日	参加団体・施設	会場	参加者（人）
8/2	NPO法人キッズドア	東京都美術館、東京藝術大学	11
8/25	NPO法人多文化共生センター東京	東京都美術館	14
10/7	東京養育家庭の会	東京都美術館	7
計			※32

※参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ64人がプログラムに参加

④ あいうえのスペシャル：これまで「あいうえの」プログラムに参加した、子供たちとその家族がふたたび上野の冒険を楽しむ。

開催日	対象	会場	参加者（人）
8/20	あいうえのメンバー（これまで「Museum Start あいうえの」のいずれかのプログラムに参加後、メンバー登録をした小学生～高校生とその家族）	東京都美術館 交流棟2階アートスタディールーム	91
12/15			73
2/24			56
計			220

※参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ315人がプログラムに参加

【参加者の声】

- ・自由に好きなように見ていいんだよ！と教えて下さり、強制が大嫌いな娘でも楽しく参加することが出来ました。美術館に入ったら全ての作品を観て回っていましたが、好きな作品気に入った作品をゆっくり、じっくり見てもいいんだと言ってくれ、今後の美術館が楽しみになりました。（あいうえの日和）
- ・親と一緒にだとなんか教えるつもりでしまおうととびラーさんと子供だけで見る時間があるので、とても良いと思っています。とびラーさんが子供と寄り添ってくださるのがとてもありがたいです。今日も子供なりの視点でものをとらえることができたようです。（うえの！ふしぎ発見）
- ・思春期の中学生でしたので気持ちをあまり表に出しませんでした。とびラーさんに見守られているという安心感を持ったようでした。子供たちにとってこの安心感というものはとても大事だと存じます。（ミュージアム・トリップ）
- ・今回の活動で、「子供たちはまだ知らないだけで、周りには大人たちが新しい世界を示すことで彼らは興味を持ち、自発的に学ぼうとする」ということを改めて感じました。子供たちの好奇心を刺激する、彼らの持つ「知りたい」という欲求を引っ張りだす、それが何よりも重要なことで、そのためには学校という場だけではやはり狭すぎます。深い学びを謳う学校教育において、社会教育施設といった外部機関との連携は必要不可欠だと思います。（うえのウェルカムコース）

# 27

## TACT/FESTIVAL 2018

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年6月29日（金）～7月1日（日）
会場	東京芸術劇場
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
入場者・来場者数	4,798人

### 【事業趣旨（目的）】

青少年の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の劇団を招聘し、親子で楽しむことのできる上質な舞台公演やパフォーマンスを上演する。

### 【開催状況】

公演日（回数）	会場	公演名	料金（円）	入場者・来場者（人）
6/29～7/1（3）	東京芸術劇場 プレイハウス	ブランカ・リー 『Solstice（ソルスティス）—夏至／冬至』	大人（1階席）：3,500 大人（2階席）：2,500 25歳以下（1階席）：2,000 子供（高校生以下）：1,000	1,498
6/29～7/1（3）	東京芸術劇場 ロワー広場	劇団コープス『ひつじ』		900
6/30、7/1（4）	東京芸術劇場 ロワー広場	ホワイトアスパラガス×ひびのこづえ×川瀬浩介 『WONDER WATER』	無料	1,600
6/29、30（4）	東京芸術劇場 劇場前広場	田中泯『場踊り』		800
合計				4,798

### 【参加者の声】

- ブランカ・リー『Solstice（ソルスティス）—夏至／冬至』
  - ・プリミティブなイメージとテクノロジーが融合した美しさで力強さのある舞台で感動しました。ダンサーたちのレベルの高いダンスも圧巻でした。
  - ・ダンサーたちは個性的でどこを見ても楽しめた。自然とか大地とか人間、そんな表現に重みを感じました。それらをダンスと舞台技術で表現していて、とにかく素晴らしかった。今回この公演に出会えてよかった。
  - ・今回のように終演後のロビーでの参加型はおもしろくて楽しいですね。
  - ・作品を想像していたよりも観やすく、日常になじむ感覚で観ることができました。ロビーでのパフォーマンスも楽しかったです。
  
- ホワイトアスパラガス×ひびのこづえ×川瀬浩介『WONDER WATER』
  - ・『WONDER WATER』がとてもしばらしかった！！とにかく美しく楽しくて、パフォーマンスも本当に良かったです。全てが高いクオリティとユーモアにあふれていて夢の国へ誘われるようでした。
  
- 田中泯『場踊り』
  - ・田中泯のダンスパフォーマンスは大変素晴らしかった。ぜひ来年も観たい。

# 28

## 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム

### 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月8日（日）～平成31（2019）年3月31日（日）
会場	東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
共催	台東区（日本舞踊プログラム、長唄三味線プログラムのみ）
鑑賞・体験人数	延べ 35,101 人

### 【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信するため、観光拠点等において外国人が伝統文化・芸能を短時間で体験し、理解できる機会を提供することを目的に実施。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	内容	実施団体（協力）	料金（円）	鑑賞者（人）※1
4/14～3/30 (毎週土曜日計50日 12/29は除く)	東京都江戸東京博物館	演芸プログラム	演芸（曲芸・紙切り・和妻）の体験および実演の鑑賞	公益社団法人落語芸術協会	無料	21,843 [14,574]
4/8～3/31 毎週日曜日計41日 (5/20、7/1、8、29、 9/16、10/21、 11/18、12/16、 1/20、2/17、3/3は 除く)	浅草文化観光センター	日本舞踊プログラム	浴衣を着て日本舞踊の体験および「藤娘」実演の鑑賞	公益社団法人日本舞踊協会（東京支部城東ブロック）	無料	3,495 [2,440]
9/16～2/17 毎月第3日曜日計6日 9/16、10/21、 11/18、12/16、 1/20、2/17		長唄三味線プログラム	長唄メドレー実演の鑑賞後、三味線演奏の体験	一般社団法人長唄協会		443 [305]
7月、10月計10日 7/2、3、4、5、6 10/1、2、3、4、5	羽田空港国際線旅客ターミナル	演芸プログラム	獅子舞の練り歩きを行い、5階お祭り広場にて曲芸の体験および実演の鑑賞	公益社団法人落語芸術協会	無料	7,673 [795]
6/14、17	東京都庁第一本庁舎45階南展望室	伝統工芸プログラム	江戸木版画のしおりづくりを体験	東京伝統木版画工芸協同組合	無料	586 [149]
6/15、16			江戸更紗の判子染めを体験	一般社団法人染の里おちあい		569 [179]
10/20、21	浜離宮恩賜庭園	華道プログラム	講師の見本を基に華道を体験	東京都華道茶道連盟	無料	122 [121]
		江戸指物プログラム	江戸指物の実演、箸づくりを体験	江戸指物協同組合	500	154 [99]
		着物着付けプログラム	着物を着て庭園内散策、写真撮影	一般財団法人民族衣裳文化普及協会	無料	216 [216]
計						35,101 [18,878]

※1 [ ] は体験者数

### 【参加者の声】

#### ●演芸プログラム

- ・日本の芸術を教えてくれて、楽しい方法で参加することができ、とても面白く教育的です！素晴らしいです！（40代・女性）
- ・見ている人にも体験させていたり、外国の人にも分かるように外国語でも話していて、とても親切だと思った子供から大人まで楽しめるイベントだったので良かったです。（20代・女性）

#### ●日本舞踊プログラム

- ・素晴らしい無料イベントでした。伝統的な着物を着て、プロの踊りを見ることができて楽しかったです。（30代・女性）
- ・とても良いおもてなしは日本の温かさと文化を表していて、私たちの日本の旅の思い出に残る出来事になりました。（50代・女性）

#### ●長唄三味線プログラム

- ・1時間の中で、先生の演奏を聞けたり、実際に楽器に触って弾かせてもらえたり、充実していた。三味線は見たこ

とはあっても演奏したことはなかったので、とても貴重な体験でしたし楽しかったです。ありがとうございました  
(30代・女性)

- ・本当に楽しいイベントだった。実演をしてくれたり私たちみんなに丁寧に教えてくれたことが良かった。(20代・女性)

●演芸プログラム (羽田空港)

- ・手軽に日本の伝統文化を体験できる、とても良いイベントだと思います。(40代・男性)
- ・参加型でとても楽しめました。獅子舞に囃んでもらえて、いいことがありそうです。(40代・女性)

●伝統工芸プログラム (江戸木版画)

- ・初めて木版画をやりましたが、素晴らしかったです。忘れられない体験です。(20代・男性)
- ・普段できない体験ができて良かったです。(40代・女性)

●伝統工芸プログラム (判子染め)

- ・このような伝統工芸をやる機会に巡り会えて、素晴らしい日でした。(40代・女性)
- ・子供でも簡単に参加でき、とても良かったです。(30代・男性)

●華道プログラム

- ・新しい目で植物と接する機会をいただきました。丁寧なご指導をありがとうございました。(30代・女性)
- ・初めて華道を体験したが、手軽なのに本格的で楽しかったです。(20代・男性)

●江戸指物プログラム

- ・江戸指物を初めて知ったが、手軽に楽しい体験ができ、持ち帰りもできて良かったです。(20代・男性)
- ・自分のお箸を削って作れて、本当に楽しかったです。日本文化の奥深さを体験させていただき、感謝いたします。(40代・女性)

●着物着付けプログラム

- ・無料で着物を着て、公園を散歩できるのは予想外で、とても楽しかったです。(20代・女性)
- ・外国の方の興味を引く内容で、日本の魅力を発信し、来日につなげるいいプログラムであると思いました。(40代・男性)

# 29

## 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

### 【事業概要】

開催期間	平成31（2019）年2月23日（土）
会場	十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
参加者数	322人

### 【事業趣旨（目的）】

外国人に向けて日本の伝統芸能をわかりやすく鑑賞できる公演を開催するとともに、公演の内容や伝統芸能の理解をより深めることができるよう、芸能体験をセットで実施するなど、東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信することを目的に実施。

### 【開催状況】

開催日	公演名	会場	曲目・演目等	体験内容	出演者	制作団体	料金（円）	参加者（人）
2/23	能「隅田川」～悲しみを覆う声～	十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）	解説 発声体験 演能「隅田川」 アフタートーク	山村庸子による日本古来の発声方法の指導、喜多流の念仏の謡いの体験	友枝雄人、ロバート・キャンベル、山村庸子 ほか	公益財団法人十四世六平太記念財団	全席指定一般 1階席：3,000 2階席：2,500 学生 1階席：1,500 2階席：1,200	322
計								322

### 【参加者の声】

- 能「隅田川」～悲しみを覆う声～
  - ・初めてだったけれど、子供にも分かりやすくて、とても満足しました。（20代未満・女性）
  - ・感動的な舞台でした。レクチャーも良かった。英語の字幕は日本人の私にも役立ちました。こういう演目は少ないので、年間通してももう少し増やしていただけると嬉しいです。（40代・男性）
  - ・解説だけではなく、会場の全員で体験できたことにより、一体感も演出されて良かったと思います。（50代・男性）
  - ・構成がとても良かったです。能の公演だけでなかったのが良かった。英語の字幕でとても内容が理解できました。今後も英語字幕つけてもらえたら、また来たい。（60代・女性）
  - ・ボイストレーニングに関して、日本と西洋の違いやアフタートークなど、興味深く思いました。（70歳以上・女性）

## 東京における文化創造拠点の形成

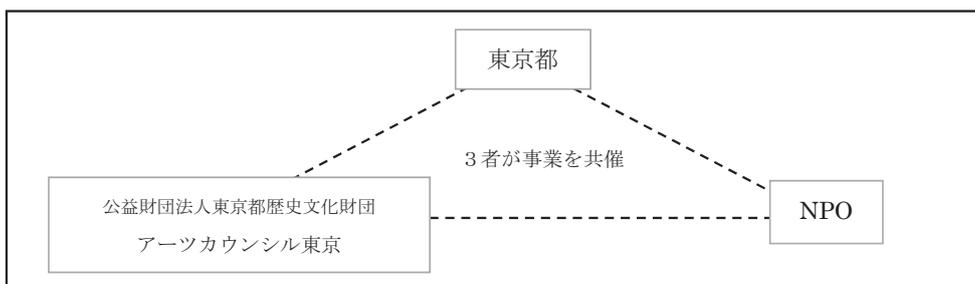
東京アートポイント計画は、地域社会を担うNPO\*とアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す事業である。

日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクト。東京アートポイント計画では、平成21（2009）年度から現在（平成31年3月）までに、NPOを中心に47団体と38件のプロジェクトを共催してきた。本事業で目指すのは、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につながっていくために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備も重視している。

東京アートポイント計画の各アートプロジェクトは、東京都およびアーツカウンシル東京とNPOとの「共催事業」として実施している。費用負担のみならず、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供する点が特徴である。

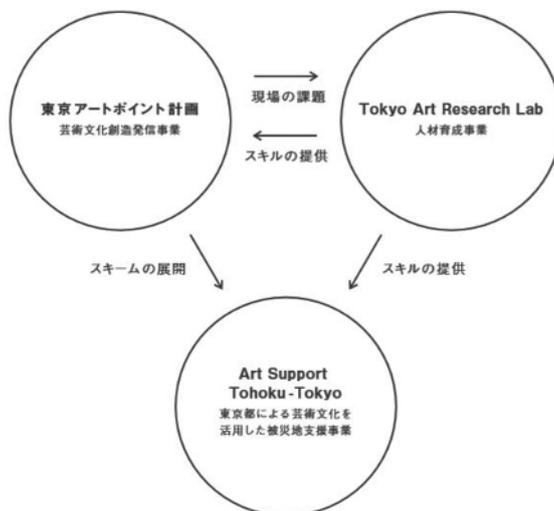
\*NPO法人のほか、一般社団法人、社会福祉法人など非営利型の組織も含む。

### 東京アートポイント計画「共催事業」の実施体制



東京アートポイント計画は、アーツカウンシル東京の人材育成事業「Tokyo Art Research Lab」と連携し、アートプロジェクトの運営を担う人材を育てる「思考と技術と対話の学校」や、記録や評価手法を研究・開発するプログラムと相互にフィードバックを行っている。また、平成23（2011）年より、「Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）」が始動し、東京アートポイント計画のスキームを東日本大震災の被災地域（岩手県、宮城県、福島県）で展開している。

### アーツカウンシル東京におけるアートプロジェクト関連事業での連携



## 30

## TERATOTERA

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	杉並区、武蔵野・多摩エリア
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人Ongoing
後援	三鷹市、武蔵野市
協力	株式会社ビデオインフォメーションセンター、株式会社まちづくり三鷹、公益財団法人 武蔵野文化事業団、JR三鷹駅、スペースエルベ、HYM（ハモニカ横丁ミタカ）、ビリヤード山崎、武蔵野タワーズ団地管理組合、UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）
入場者数	2,984人

## 【事業趣旨（目的）】

古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野、多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するための様々なプログラムを展開する。

## 【開催状況】

## (1) 踊り念仏

参加者が「イブツ（異物）」と考えるパフォーマンスを通して、まちに非日常的な風景を生み出す。普通であることが当然とされ、暗黙的に強制される今の社会で、「普通とは違ったもの＝イブツ」を演じることで、見えてくるものを感じるものは何か。パフォーマンスを通して得た発見を参加者と考え共有した。

開催日	8月18日（土）
会場	阿佐ヶ谷駅周辺
アーティスト	武田力
入場料	無料
入場者数	12人

## (2) 駅伝芸術祭

スポーツとアートを組み合わせた1日限りの企画「駅伝芸術祭」では、高円寺をスタート地点とし、3組のアーティストがゴール地点となる西荻窪駅までの区間を3区間に分け、各々のパフォーマンスを展開しながら走行した。

開催日	10月13日（土）
会場	高円寺駅～西荻窪駅沿線地域
アーティスト	山崎皓司＋前川遙子、村田峰紀×松原東洋、佐塚真啓
入場者数	7人

## (3) TERATOTERA祭り2018 Walls ～わたしたちを隔てるもの～

「TERATOTERA 祭り」は、まちなかでのアート展をはじめ、パフォーマンスやトークショーなどを盛り込んだ大規模展覧会。11月16日～18日の3日間、三鷹駅周辺の空き店舗など8か所を舞台に開催した。今年度のテーマは「Walls ～わたしたちを隔てるもの～」。このテーマはボランティアスタッフ（TERAKKO）のコアメンバーであるTeracollectiveのメンバーたちが話し合うなかで、浮かび上がってきたもの。このテーマに沿って作家選定、各作家の担当もTeracollectiveが務めた。10組のアーティストによって、彼らが対峙するWalls＝壁を可視化し、それぞれの向き合い方を観客に投げかけることができた。

開催日	11月16日（金）～18日（日）
会場	三鷹駅周辺施設8か所
後援	三鷹市、武蔵野市
入場者数	2,814人

開催日	プログラム名	内容 (80-100字)	会場	参加アーティスト	参加者 (人)
11/16~18	アート展示	三鷹駅周辺の施設、駅周辺広場など8か所に、気鋭のアーティスト9名の作品を展示。テーマの「Walls ~わたしたちを隔てるもの~」を受け、彼らが対峙するWalls=壁を可視化し、それぞれの向き合い方をみせてくれた。	三鷹駅周辺施設8カ所	Tuan Mami、キュンチョメ、小林清乃、地主麻衣子、高田冬彦、林千歩、本間メイ、maadm	2,510
11/16~18	パフォーマンス	遠藤麻衣が神村恵と共に3日間限定のパフォーマンスを行った。会場は飲食店数店が連なったフードコートに隣り合うHYMで、各回多くの観客を魅了させた。	HYM	遠藤麻衣 ゲスト出演：神村恵	187
11/18	パフォーマンス	砂連尾理が妊婦と対話からなるワークショップ形式のパフォーマンスを開催した。ゲストには即興音楽家の片岡祐介、妊娠7か月の古原彩乃、助産院院長の椎野まりこを招き、道ゆく人々の足を止め多くの観客を魅了した。	武蔵野タワーズ スカイゲート タワー前広場	砂連尾理	83
11/17	トーク	今回のTERATOTERA 祭りのテーマに掲げた「Walls - わたしたちを隔てるもの -」を軸に、参加アーティストが登壇し、自身が抱えている壁、その壁との向き合い方など語り合った。	三鷹中央ビル2階	Tuan Mami、キュンチョメ、小林清乃、地主麻衣子、高田冬彦、林千歩、本間メイ、maadm	34

## (4) 人材育成プログラム

### ① TERAKKO (テラッコ) 屋

TERATOTERAの活動を推進する人材を1年間かけて育成するプログラム。平成30(2018)年5月に新たにボランティアスタッフ(TERAKKO)を募集。『TERAKKO屋』では、次回開催するプロジェクトに向け、進捗状況の確認を行った。TERAKKOは、記録チーム、広報チーム、踊り念仏、駅伝芸術祭のチームに分かれ、各イベントにおける企画から実施までを実践した。

開催回数 10回  
 説明会 17人  
 メンバー 48人  
 TERA English 6人

### ② (座学編/実践編)『アートプロジェクトの0123 (オイッチニーサン)』

アートプロジェクトを学ぶ講座「0123」は多種多様なゲストが授業を行うゼミ型の連続講座。美術史を学ぶところからアートプロジェクトの現場の話、アーティストからの赤裸々なトークや美術評論の書き方まで、濃密な内容を学ぶ場となった。

開催期間 6月21日~2月21日 全18回  
 会場 アーツカウンシル東京 ROOM302 (3331 Arts Chiyoda)  
 コーディネーター 小川希 (TERATOTERAディレクター)  
 ゲスト 木野哲也、国松希根太、小林武史、佐塚真啓、高嶺格、奈良美智、西野達、羊屋白玉、福住廉、矢内原美邦、藪前知子、山城知佳子  
 受講料 30,000円 (学生15,000円)  
 受講人数 32人 (特別講座48人)

## 【参加者の声】

### ● 踊り念仏

・最初の一步を踏み出すのに勇気がいったけど、パフォーマンスをし始めたら不安感がどんどん薄らいだ。

### ● 駅伝芸術祭

・中継映像は、ライブ感がとても良かった。笑い、どよめき、真剣な空気を感じることができて楽しかった。

### ● TERATOTERA 祭り

・トークはもっと作家たちのディスカッションの時間があつた方が面白い。

・蓋をしてみたいがちな社会問題にゆるく参加させられ、考えさせられる強烈な体験があつた。

## 発行物

『TERATOTERA ドキュメント2018』

## 31

## 小金井アートフル・アクション！

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	小金井市
主催	東京都、小金井市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、NPO法人アートフル・アクション
入場者数	約2,488人

## 【事業趣旨（目的）】

市民がアートと出会うことから、日常生活の暮らしの中に新たな発見や自らの潜在能力に可能性を見出すことにより、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくりだすことを目指す。すべての事業を人材育成と位置づけ、市民が主体となった事業推進の体制づくりと創造的な文化政策の提言組織としての成長に向けた事業に取り組む。

## 【開催状況】

(1) 地域で芸術文化活動を行うための基盤整備

本年度は、小金井市立緑小学校、小金井市立本町小学校、小金井市立前原小学校において事業を行った。

開催日	プログラム名	内容	会場	講師、アーティスト	参加者（人）
11/8～12/1	からだところを感じよう	学校での勉強や、課外活動、塾など、毎日忙しい日々を過ごす子供たちと一緒に「目的のない時間」を過ごしてみるプログラム。「ことばを使わないコミュニケーション」を通して、自分のいまの気持ちや、身体感覚をじっくりと味わう授業を実施した。	小金井市立緑小学校	尾花藍子	延べ446
11/20～12/19	詩人になってみよう	春の卒業後にはそれぞれの道を進んでいく6年生を対象に、グループ作業ではなく、あえてひとりでの創作活動を展開。各々が学校内外で陣地としたい場所を選び、その場所が10年後にどんな場所になっているといいか想像しながら詩を書き、詩碑を制作した。詩碑はそれぞれ選んだ場所に飾り、鑑賞の時間を設けた。	小金井市立本町小学校	大崎清夏	延べ385
1/15～2/19	未来のタネずかんをつくろう	自然素材を使った造形活動を通して、「未来」を想像する事を試みた。造形した「未来のタネ」は、普段彼らが遊んでいる野川や公園を舞台にして、種を植えて花が開くように、タネが未来で開いたときにどんな場所になっているかを想像しながら設置、鑑賞した。その様子を写真で記録、未来のタネ図鑑を完成させた。	小金井市立前原小学校および学校周辺	—	延べ452

(2) 地域の資源を生かしながら、市民それぞれの表現につなげる

## ■連続トーク 対話をひらく

各回にゲストを招き、いくつかの主題をめぐるプレゼンテーションとともに参加者と対話の時間を設けた。各回では、結論や解決を求めることを目標とせず、断片的な小さな気づきのピースを抛りどころに、参加者それぞれが社会や自分の像をおぼろげながらも再確認し、また、新しい一歩を踏み出していくための場となることを目指す対話の実験を試みた。

開催日	プログラム名	内容	会場	講師、アーティスト	参加者（人）
10/7	メイをめぐるタビ	大木裕之とともに、作品「メイ」を鑑賞した後、作品の成り立ちや構造の意味するところについて対話の場を設けた。	シャトー小金井2F	大木裕之	18
11/10	清野賀子のまなざし	1962年生まれの写真家・清野賀子の作品を通して、時代の大きな結節点でもあったバブル崩壊の後、それまでの価値が崩壊し、荒野のようなゼロ地帯から私たちが何を積み上げてきたのか、清野の眼差しを手がかりに考えることを試みた。ゲストには、清野の作品に詳しく、横浜美術館で「反記憶-現代写真Ⅱ」を企画した天野太郎を招いて対話した。	シャトー小金井2F	天野太郎	54
2/23	まだ見ぬあなたをたずねるために	他者を理解する、自分のことを伝える、あるいは様々な事象について丁寧に語り合う、経験を共有し合う場合は、どのように立ち上がってくるのか。福島県いわき市にある復興公営住宅 下神白（しもかじろ）団地に通い「ラジオ下神白」を運営してきたアサダワタルをゲストに招いて、対話を行った。	カフェアン	アサダワタル	13

### ■えいちゃんくらぶ（映像メモリーちゃんぼんクラブ）

誰でも簡単に映像が撮れるようになったこの時代。スマートフォンやデジタルカメラで映像をとった経験のない概ね70歳以上の仲間が集まって、はじめの一步からともに学び、映像に触れる・作る・遊ぶクラブを立ち上げた。映像・映画の歴史に触れながら、映像を撮ることで表現することを参加者それぞれが試み、3月には「えいちゃんふえす」として作品を上映する成果発表を行った。

開催期間 10月～3月  
参加者 延べ121人  
会場 小金井アートスポットシャトー2F、市内公共施設

「えいちゃんふえす～多様にたわわな実りと種～」

開催日 3月12日～16日  
会場 小金井アートスポットシャトー2F、そのほか市内各所  
講師 角尾宣信  
入場者数 約130人

### ■地域連携Lab 東村山市南台小学校「わたしの人権の森」

東村山市の小学校では、授業の一環として多磨全生園の資料館を見学している。子供たちにとって、どのような出会い方が、貴重な機会をより充実した体験に昇華させていくことができるのか議論をしながら、図工の授業の中で表現を通して経験を深めていくことを試みた。

開催日 5月9日～6月18日  
会場 東村山市立南台小学校  
参加者数 延べ326人

### ■成果展「未来のタネ展」

本展では、特に市内小学校との連携事業に焦点をあて、その成果を展示した。各小学校では、小金井市の将来計画である小金井市長期総合計画の策定作業と連携し、小金井市立緑小学校4年生、本町小学校6年生、前原小学校3年生の児童と活動することを通じて、子供たちとともに「いま」をみつめ、「未来」をともに考えてみることを試みた。

「未来のタネ展 ～「いま」ここから未来を描く～」

開催日 3月14日～18日  
会場 小金井宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）スペースB・C  
入場者数 543人

### （3）活動の可視化

活動の意図や内容、成果が広く明確に伝わるよう広報物を作成し、事業への理解と参加を促進することを試みた。活動の可視化の一環として、活動全体を市民に広報する媒体としてニュースレター「まちはみんなのミュージアム」2号分の発行、事業を振り返って検証を試みる成果物を制作した。

### ■ニュースレター「まちはみんなのミュージアムだより」の発行

発行日 第3号：7月、第4号：2月  
内 容 第5号：特集「まちはみんなのミュージアム かがわ工房編」  
第6号：特集「えいちゃんふえす ～多様にたわわな実りと種～」  
発行部数 各1,200部

### ■ドキュメントの制作

・『やってみる、たちどまる、そしてまたはじめる』

「小金井アートフル・アクション！」事業は本年度で10年を迎えた。10年間の活動を振り返り、事業目標である「芸術文化の力で人と街をゆたかに」に照らし、実施主体として試みたこと、反省点は成果の取りまとめを行った。

発行日 6月15日  
発行部数 650部

## ・『わたしの人権の森』

東村山市立南台小学校の図工科の授業で実施した『わたしの人権の森』の記録冊子の作成を行った。

授業はハンセン病資料館訪問の経験を深めることを目的として行ったもので、図工ではあまり前例がないこと、表現の可能性を拡張することが期待されることから、経緯を記録として取りまとめた。

発行日 3月23日

発行部数 600部

**【参加者の声】**

## ●学校連携

- ・「これ図工なの?」「体を使う図工だよ」「保健体育だと思う」(小金井市立緑小学校)
- ・普段の子供たちと、子供たちが描いた詩に表われた子供たちの姿に乖離があった。それだけ抑圧されて生きているのだと思う。一部の子供たちの心に残るプログラムになった。(小金井市立本町小学校 教員)

## ●連続トーク 対話をひらく

作品を完成、させる、ということは一体どんな事なんでしょうか。大木さんの映像や語りを聞きながら、作家が生きている限り、作品の意味やその内容はその日々の中で変化していくのだと思いました。そして、それは観る人と出会った新しい風景を立ち上げていく。そうすると、なにかをつくるということは、もしかしたら私が思っているよりずっと豊かな対話なのかもしれないですね。

## ●映像メモリーちゃんぼんくらぶ

- ・絵と音の映像の世界を楽しませてもらいました。
- ・知り合いの方々が出ていて面白かったです。

**【発行物】**

『やってみる、たちどまる、そしてまたはじめる』

『わたしの人権の森』

## 32

## アートアクセスあだち 音まち千住の縁

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	足立区千住地域 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
入場者数	13,472人

## 【事業趣旨（目的）】

足立区制80周年を契機に、「音」をテーマとした多様なアートプログラムによって、地域のコミュニティ形成を目指すプロジェクト。足立区や東京藝術大学、地域団体との連携で実施する。江戸四宿のひとつとして栄え、現在もその名残をとどめる下町情緒溢れるまちの地域資源と各地域の交流地としての文化の多様性を最大限に活かし、人と人、人と場所、人とアートの様々な「縁」を結び、足立区の魅力を創造発信する。

## 【開催状況】

プログラム構成：

## (1) 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住 2018 西新井」

無数のシャボン玉で見慣れた風景を変貌させ、新たな記憶を創り上げるアートパフォーマンス作品「Memorial Rebirth 千住」。地域のバトンをつなぎ、「大巻電機 K. K.」や「ティーンズ楽団&合唱団」、「音まちビッグバンド」など、複数の「関わりしろ」を持つプログラムを展開した。多様な参加の枠組みを模索しながら、参加者の新しい「縁」を開発するとともに、既存の地域コミュニティを育てることを目指した。また、初めて千住の地を離れ、西新井の小学校での開催を果たし、地域住民との共創（協創）を図った。

開催日	プログラム名	会場	出演・協力	参加者数
7/21	ブレ企画 vol.1「ふわり◎シャボン玉@白うめ幼稚園」	足立白うめ幼稚園 園庭	大巻電機 K.K.	593
9/15	ブレ企画 vol.2「ふわり◎シャボン玉@つばめ幼稚園」	足立つばめ幼稚園 園庭	大巻電機 K.K.	559
10/27	ブレ企画 vol.3「ふわり◎シャボン玉@北千住マルイ」	北千住マルイ	大巻電機 K.K.	700
9/8、10/13	西二きっずボンダンス ワークショップ	足立区立西新井第二小学校 体育館	-	24
9/22、10/6	1日だけのティーンズ楽団&合唱団 ワークショップ募集説明会	ギャラクシティ 足立区こども未来創造館	-	28
10/6、11/10	1日だけのティーンズ楽団&合唱団 ワークショップ	ギャラクシティ 足立区こども未来創造館、竹の塚地域学習センター	-	80
11/17、18	1日だけのティーンズ楽団&合唱団 リハーサル	東京藝術大学 千住キャンパス、足立区立西新井第二小学校	-	173
11/18	「Memorial Rebirth 千住 2018 西新井」 昼の部：「しゃボンおどり」 夜の部：合唱「西新井幻想曲<<追憶のさざなみ>>」	足立区立西新井第二小学校	くるくるチャーミー [井川丹、大西健太郎、富塚絵美]、香田享樹、音まちビッグバンド、ティーンズ楽団&合唱団、合唱サポーター、千住ちんどん ほか 協力：東京電機大学ロボット・メカトロニクス学科、足立区立西新井第二小学校、西新井地域のみなさん、soco1010	3,516

## (2) 野村誠 千住だじゃれ音楽祭

作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々とのコラボレーションを通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。月1回程度の活動日のほか、「第3回 だじゃれ音楽研究大会」の実施と、令和2（2020）年度に予定されている「千住の1010人」の再演を見据えたアウトリーチプログラムを行った。

## ① 第3回だじゃれ音楽研究大会

開催日 12月22日  
 会場 東京藝術大学 千住キャンパス スタジオA ほか  
 アーティスト 野村誠、だじゃれ音楽研究会  
 ゲスト 佐久間新（ジャワ舞踊家）  
 参加者数 101人

## ② アウトリーチプログラム

開催日	プログラム名	会場	参加者（人）
6/2、3	しょうぶまつりWS	しょうぶ沼公園	730
9/8	「あだち市場の日」 出展	足立市場	76
4/29、 11/3	カタリバWS	アダチスペース	19
3/9、10	「だんだんたんぼに夜明かしカエル」 出演	BUoY	57

## ③ だじゃれ音楽研究会

活動日 (月1回程度)  
 参加者数 延べ111人

## (3) イミグレーション・ミュージアム・東京

美術家の岩井成昭が監修を務める「イミグレーション・ミュージアム・東京（以下IMM）」は、地域に暮らす外国人との交流を通して企画するアートプロジェクトである。地域に暮らすニューカマーの生活様式や文化背景を紹介するとともに、それらが日常の中で変容していく諸相を「適応」「保持」「融合」という3つのキーワードから探っている。

## ① 国際交流パーティー企画「フィリパピポ!! ザ・ファイナル」

足立区は東京23区の中でフィリピン人の在住者数が最も多いことから、平成26（2014）年度より足立区梅田にあるカトリック梅田教会に集うフィリピンコミュニティと本プロジェクトの参加者の関係を築き始めた。「フィリパピポ!!」開催3回目となる平成30（2018）年度は、フィリピンコミュニティのみならず、エチオピアや、他の国の出身者、また足立区の周辺地域との交流が生まれる場となるよう注力した。

開催日 2月16日  
 会場 東京藝術大学 千住キャンパス 第7ホール  
 参加者数 219人  
 協力 カトリック梅田教会、NPO法人アデアベバ・エチオピア協会  
 会場装飾 ジュバルーン・デコール

## ② リサーチ「多文化共生を考える」

IMMでは、国内における多文化共生の取り組みの現状を共有し、文化芸術の果たしてきた役割や可能性を追求するための展覧会開催を令和2（2020）年に予定している。その手始めとして、国際交易の歴史が長く、現在も有名な活動団体が集中している神戸を中心に調査を行った。

開催期間 1月12日～14日  
 対象地域 神戸市内  
 訪問先 NPO法人芸術と計画会議、財団法人日伯協会、NPO法人関西ブラジル人コミュニティー/CBK、カトリックたかとり教会、NPO法人エフエムワイワイ、NPO法人Dance Box、デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO  
 リサーチャー 岩井成昭

## (4) 千住・縁レジデンス

若手アーティストによる滞在制作を通して、千住ならではの「場」や「人」とのリアルなコミュニケーション（縁）を深めることを目的とした事業。今年度は、千住にゆかりのあるメンバーで構成されたパフォーマンスプロジェクト、居間 theater と、多彩なスペースで音を紡ぐ4ピースバンド、表現（Hyogen）、そして美術家・友政麻理子が、それぞれ異なる手法で千住のまちを見つめた。

① 居間 theater 「4人姉妹の家びらき・夏」

開催期間 7月7日～8月6日 ※7月21日～23日を除く土日月祝のみ  
 会場 仲町の家  
 参加者数 388人

② 表現 (Hyogen) 「音の間」

開催日 2月2日、3日、9日、10日  
 会場 仲町の家  
 参加者数 224人

③ 友政麻理子 アーティスト・イン・レジデンス

招聘アーティストである友政自身が周辺住民との関係を構築することを目指し、地域内の行事に参加し、地域の商店街の人々との交流を図り、地域住民によるまち歩き、交流などから得られる地域資源を、友政独自の発想に基づく資料として集めた。

(5) アサダワタル 「千住タウンレーベル」

アーティスト・アサダワタルと一般公募で集まった「タウンレコーダー（音の記者）」が、「ローカルサウンドメディア」をテーマに、地域住民の協力を得ながら、千住の多様な「音」や「言葉」を記録、編集、制作、発信していく参加型メディア制作プロジェクト。

『音盤千住 Vol. 2』のリリースにむけた音源制作と前年制作したテキストと音盤 (LPレコード) が一体となった『音盤千住 Vol. 1—このまちのめいめいの記憶／記録—』を活用したプログラムの開発を行うことで、「つくること」だけでなく「聴くこと」の創造性を高めた。

開催期間 5月～2月  
 会場 千住地域各所  
 アーティスト アサダワタル  
 タウンレコーダー 延べ143人

日程	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者 (人)
5/12	タウンレコーダー募集説明会	『音盤千住 Vol.2』のリリースにむけて、新たなメンバーを募った。「千住タウンレーベル」が立ち上がった経緯やコンセプト、今年度のスケジュールを説明。その後、来場者を2チームに分けて千住のまち歩きを行った。	仲町の家 ほか	アサダワタル、タウンレコーダー	23
12/16、1/20、2/17	千住持ち寄りレコード鑑賞会	前年度リリースした『音盤千住 Vol.1』を活用し、ローカルサウンドメディアの聴き方を開発するプログラムとして実施。毎回タウンレコーダーがホスト役を務め、「まち」や「音」について語り合うプログラムとなった。	仲町の家 ほか	タウンレコーダー	—
1/27	デモ (試作品) 発表会 Vol.2	『音盤千住 Vol.2』のリリースにむけた音源制作の中間発表としてタウンレコーダーのデモ音源を発表。タウンレコーダーとアサダワタルが制作した音源に加えて、音源の聴き方も合わせて発表した。	東京藝術大学 千住キャンパス	アサダワタル、タウンレコーダー	55
2/23	おとどけ! レコード from 千住	千住以外の場所で文化拠点を持つ方々に声をかけ、『音盤千住』を聴く会を開催してもらうプログラム。千住タウンレーベルのアドバイザーである後藤寿和がホスト役となり、彼が運営するカフェギャラリーで実施。届け先のまちでできる「まち×音のアクション」についてディスカッションを行った。	gift_lab GAREGE	後藤寿和	6

(6) 拠点形成事業 「仲町の家」

音まち千住の縁では、平成28 (2016) 年度より日本家屋「仲町の家」および千住仲町エリアを各事業の実施会場としてきている。平成30 (2018) 年度より、地域の文化サロンとして、アーティストからボランティアスタッフ、地域住民らが集まり、交流をはかれる場づくりと、作業やミーティングを重ねられるような活動拠点の形成を目指した。

① 仲町の家 開室

開室期間 6月29日プレオープン、9月30日グランドオープン以降、土日月祝10:00～17:00常時開室  
 参加者数 4,019人

## ②映像・サウンドインスタレーション 三上亮／遠藤幹大「Under Her Skin」

拠点形成事業の一環として若手アーティスト（三上亮／遠藤幹大）による映像・サウンドインスタレーションを展開した。

開催期間 9月29日～3月4日 ※期間中、仲町の家開室日にあわせてオープン  
会場 仲町の家  
参加者数 1,081人

## オープニングレクチャー&amp;トーク「郷土について」

開催日 9月29日  
ゲスト 多田文夫（足立区立郷土博物館学芸員）

## ③パイロットプログラム

「仲町の家」が様々な団体に活用されることで、多様な人々が集い、芸術と出会い、交流する地域の文化拠点形成を目指した。平成30（2018）年度は9つのプログラムを展開した。

「THE 鍵KEY」室内オペラ公演（5/13、19）  
「知らない路地の映画祭」ワークショップ（5/26）  
出版記念トーク「ローカルメディアの視点から語るあだちの魅力」（5/27）  
演劇上演「始末をかく」（7/20～22）  
「知らない路地の映画祭」自主短編映画上映（10/20、21）  
「千住でのモノ市ーはじめまして、こんにちわー」（12/9）  
Fushigi No5「Fushigi No5の居留守」詩のパフォーマンス（1/5）  
cocozine「でたらめな境目」（3/8～10）  
「静かな家」家/無生物のためのオペラ（3/16、17）

## (7) PR事業

こども創作ワークショップ（あだち区民まつり「A-Festa」内）

開催日 10月6日  
会場 荒川河川敷 虹の広場  
参加者数 547人

## 【参加者の声】

## ●大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」

- ・素晴らしいコンサートでした。地域力の素晴らしさの伝わるイベントでした。（来場者）
- ・西新井だけではなく、足立区の綾瀬、花畑、色々な地域にメモリバを見たい方がたくさんいらっしゃると思うので、（今後は）足立区というひとつのものが大きくできあがっていくと良い（というイメージを持った）。（大巻電機K.K.参加者）

## ●野村誠 千住だじゃれ音楽祭

- ・音楽に参加するのは、今までは苦手だったのですが、もっと自由に面白がってしまっただと良かった。（来場者）
- ・誰でも主役となって音楽を楽しめるのは素敵ですね。皆さんいきいきしていらっしゃいました、ありがとうございました。（来場者）

## ●イミグレーション・ミュージアム・東京

- ・想像以上に盛り上がっていて、楽しませていただきました。準備から大変だったと思います。地域と大学が一体となって、とても良い企画でした。（来場者）
- ・フィリピン以外でも、またこのような色んな文化の音楽やダンスイベントをやってほしいです。（来場者）

## ●千住・縁レジデンス

- ・台本が配られ、言葉を発しない時間の、演者と観る人が、その場を静かに共有する演出、素敵でした。（居間

theater「4人姉妹の家びらき・夏」来場者)

- ・初めて和室で音楽を聴くということをして、不思議な感じでしたが、どの曲もメロディーが美しく、楽器のハーモニーが良くて、聴いていて楽しかったです。(表現 (Hyogen)「音の間」来場者)

●アサダワタル「千住タウンレーベル」

- ・市場の匂い、雰囲気、川の匂い、街の様子など。雰囲気の知らない世界が分かって良かった。新しい発見がたくさんあって、参加して良かった。(タウンレコーダー募集説明会来場者)
- ・紙でもWEBでもなく、まさかの「音」？とはじめは思ったけど、音って他媒体にはない多様性とまだ見えない可能性を発見できて、とても面白かったです！(デモ (試作品) 発表会 Vol. 2来場者)

## 33

## トッピングイースト

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	東東京エリア
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人トッピングイースト
協賛	東京東信用金庫、回向院、劇場 東京・両国 シアターXカイ、J:COMすみだ・台東、-両国- 江戸NOREN、YKK株式会社、YKK AP株式会社、両国ビューホテル、国技館通り商店会
後援	墨田区教育委員会、一般社団法人 墨田区観光協会
協力	株式会社ルネサンス、京成バス株式会社、摂社若宮牛嶋神社、ひらがなネット株式会社、SEKAI CAFE ASAKUSA、CINRA.NET、墨田区社会福祉会館、日本オープンバイブル教団墨田聖書教会
入場者数	4,917人

## 【事業趣旨（目的）】

多様な参加型音楽プログラムを用いて、墨田区を中心とした地域住民が交流できる場をうみだし、その活動を東東京全域へ広げていくことを目的としたプロジェクト。音楽を単に「鑑賞」するだけでなく、当事者として積極的に関わることのできる仕組みを検討し、実践していく。今年度は、主に3つのプログラムを展開し、様々な切り口から音楽に関わるプログラムを実施した。

## 【開催状況】

## (1) 参加型音楽プログラム 「ほくさい音楽博」

世界に名を轟かせた葛飾北斎へ尊敬の念を込めて、彼の生誕地でもある墨田区周辺地域を拠点として、子供達に世界中の響きの美しい楽器に触れてもらい、練習を重ね、発表会を行うプログラム。音楽を媒介に地域と子供との接点を生み出し、従来型の音楽教室とは異なる、地域が見守り、応援する、新しい音楽プログラムの在り方を提示した。

## ① 練習会「ほくさい音楽博」

墨田区および東東京地域の小学生を対象に、各音楽プログラム参加者の事前公募を行い、発表会に向けた練習を実施した。

募集期間	8月31日～10月14日
練習期間	11月23日～2月9日
募集対象	小学生
参加費	5,000円

会場	プログラム名	内容	アーティスト	参加者（人）
トッピングイースト、YKK60ビル AZ1ホール、摂社若宮牛嶋神社 社務所、さくら橋コミュニティセンター	【プログラムA】 スティールパン（低学年／高学年）	カリブ海に浮かぶ島トリニダード・トバゴ共和国で生まれたドラム缶楽器。日本の第一人者ともいえる原田芳宏の指導の下、スティールパン・チームを結成した。	原田芳宏	30
	【プログラムB】 義太夫	歌舞伎や文楽の音楽としても知られており、300年以上の歴史を持つ日本の伝統芸能「義太夫」を、女流義太夫の竹本京之助と鶴澤弥々が指導。発表会では「寿式三番叟」を披露した。	竹本京之助（太夫）、鶴澤弥々（義太夫三味線）	15
	【プログラムC】 和楽器	今年度から新たに加わった和楽器では、日本の音楽には欠かせない囃子（はやし）に挑戦。発表会では、義太夫チームと共演した舞台に臨んだ。	望月太左衛門	12
	【プログラムD】 ガムラン（楽器／舞踊）	1万3千もの島々からなる東南アジアのインドネシアで生まれた音楽「ガムラン」。様々な種類の楽器と踊りが合わさってつくり出すひとつの物語の世界に挑戦した。	鳥居誠（楽器） 荒野真司（舞踊）	15

## ② 出張ガムラン体験会

参加者募集期間に開催されている地域イベントにて、小学生を対象としたガムランの楽器体験会を行った。

参加者数 450人

③ 発表会「ほくさい音楽博」

公募プログラムに参加した子供たちの発表会<応援しよう>をメインに、当日来場者が気軽に参加できるものづくりや世界の音楽や楽器の各種体験会などの<やってみよう>で構成する音楽博覧会を開催。

開催日 2月10日  
 会場 回向院、劇場 東京・両国 シアターXカイ、-両国- 江戸NOREN  
 アーティスト 原田芳宏、竹本京之助、鶴澤弥々、望月太左衛、鳥居誠、荒野真司、サカキマンゴー、GOMA、久保田ガズ誠、アダチ正芳、竹内公啓、石黒宇宙、紙工房 堂地堂、柳原陽一郎、シタール王子  
 入場者数 2,380人

④ みまもり隊

「みまもり隊」は、本事業が「地域が見守り、応援する」新しい音楽プログラムとして根差していくことを目的に、本事業を様々な形で応援するサポーター制度。一日から参加できる「活動室」、当日スタッフや得意分野を活かした着付け・日本髪結いスタッフとして参加するなど様々な関わり方を提案した。

開催日 12月9日～2月9日  
 会場 トッピングイースト、みどりコミュニティセンター  
 参加者数 延べ156人

(2) 東東京総舞台化計画「BLOOMING EAST」

BLOOMING EASTは、東京の東側において、音楽家・地域住民・学生らが協働しながらリサーチから実験、検証を行い、種をまくように水をやるように、様々な場へ「音の花」を咲かせていくプロジェクト。

開催日 4月～3月  
 アーティスト コムアイ（水曜日のカンパネラ）、寺尾紗穂

① リサーチ

平成29（2017）年度までの調査をもとに、各音楽家の担当リサーチャーが年度を通じてリサーチに取り組んだ。

アーティスト	内容	調査先
コムアイ（水曜日のカンパネラ）	東東京にいる異国のの人々を訪ね、彼らの生活や日本へ来た理由などを調査した。 リトルインディアと呼ばれる西葛西で、インド人が経営するマーケットや、船堀にあるヒンドゥー教の寺院を訪問。	・ シャンティ紅茶 ・ バップバザール ・ TMVS FOODS ・ スワガットインディアンバザール ・ イスコンニューガヤジャパン
寺尾紗穂	今年度のテーマは「戦災孤児」。東東京の過去を探りながら、戦前、戦後の東東京を中心に調査した。戦災孤児を保護していた施設訪問や関係者へのヒアリング、東京大空襲に関する資料収集を実施。	・ 東京都慰霊堂 ・ 墨田区社会福祉会館 ・ 墨田聖書教会 ・ 愛の泉 ・ 本所賀川記念館・興望館 ・ 三囲神社 ・ すみだ郷土文化資料館 ・ 回向院

② インタビューリサーチ「SOWING EAST」

コムアイ（水曜日のカンパネラ）のリサーチの一環として、東東京に暮らす外国人の方々インタビューをしていく企画。ご自身の得意なことや、日本の暮らしで感じていることを伺うことで、近くにいるけれどまったく知らなかった人や国を、いままでよりも身近に感じられる機会をつくった。インタビュー記事はウェブサイトにて公開した。

- ・〈第1回〉東京生まれ東京育ちのインドネシア人 Yazid Aufaさん
- ・〈第2回〉技能実習生として来日しているベトナム人 Dinhさん

③ オープンリサーチ「辿り、出会い、また歩く」

今年度のリサーチで出会った人や場所、調べたことなどをもとに、船堀～本所吾妻橋周辺エリアを移動しながら、音楽家やリサーチメンバーの視点を辿った。そして次なるリサーチに向け、我々とともに歩みを進めてくれる仲間を募集した。

開催日 3月24日  
 会場 タワーホール船堀展望台、イスコンニューガヤジャパン、ゴヴィンダス、すみだ郷土文化資料館、隅田公園、墨堤通り  
 参加者数 7人

#### ④ アーティストとのリサーチ

昨年度より引き続き調査を実施。アーティストが実際に東東京エリアに足を運ぶ機会も設け、新たな出会いや気づき、知見を深めるための対話の様子はカルチャーニュースサイト「CINRA.NET」にて掲載した。

開催日	内容	調査先	アーティスト
3/20	東東京にいる異国のの人々を訪ね、彼らの生活や日本へ来た理由などを調査した。	・Yazid Aufaさん兄妹 ・バップバザール ・レカ	コムアイ（水曜日のカンパネラ）
3/6	東東京の過去を探りながら、戦前、戦後の東東京を中心に調査した。	・墨田聖書教会 ・カネボウ跡地散策 ・曳舟教会	寺尾紗穂

#### (3) 拠点形成プログラム「東京 Orchest-Lab レジデンス」

アーティストの和田永が、あらゆる人を巻き込みながら古い電化製品を使ってオリジナルな楽器を産み出し、オーケストラを形づくっていく和田永「エレクトロニコス・ファンタスティコス!」。平成27（2015）年度に始動したプロジェクトチーム「東京 Orchest-Lab」は、今年度は参加メンバーがアーティストの動きとは自立したラボ活動をしていける環境作りを行い、新たな楽器作り・運営体制の構築を試みた。

#### ① 東京 Orchest-Lab 活動日

「東京 Orchest-Lab レジデンス」を実施するにあたり活動日を設け、楽器制作やミーティングなどを定期的実施。活動の様子は「東京 Orchest-Lab」のTwitterを利用し、即時的に活動情報を公開し、活動の情報発信に努めた。

開催日 5月19日～3月30日  
 会場 トッピングイースト ほか  
 参加者数 延べ156人

#### ② エレクトロニコス・ファンタスティコス!～鳴らしてみよう！自宅の家電～

新たな東京 Orchest-Labメンバーの募集イベントとして開催。イベント当日は、これまでに開発した発音原理をデモンストレーションとともに紹介し、実際にその原理を活用して、参加者が持参した家電製品を鳴らす実験を実施。さらに東京 Orchest-Labの活動内容を紹介した。

開催日 6月8日  
 会場 100BANCH  
 参加者数 36人

#### ③ エレクトロニコス・ファンタスティコス!～公開実験会～

Maker Faire Tokyo 2018に出展する家電楽器の公開プレゼンを行い、同イベントに向けて新たな東京 Orchest-Labメンバーを募集した。

開催日 7月7日  
 会場 100BANCH  
 参加者数 59人

#### ④ Maker Faire Tokyo 2018 出展

開発したオリジナル楽器を、Maker Faire Tokyo 2018にて出展、発表した。

開催日 8月4日、5日  
 会場 東京ビッグサイト  
 参加者数 1601人

### 【参加者の声】

#### ●ほくさい音楽博（参加小学生の保護者アンケート）

- ・和楽器についていろんな話を交えて教えてくれ、練習はみてる側にもとても勉強になり楽しんで参加できました。ほんとにありがとうございました。
- ・初対面の時の原田先生に息子はすっかり魅了されたみたいです。これまで「イエーイ」という第一声の大人に出会った事なかったかも。それを含めて、また音楽を作っていくという面でも、彼にとって新しい世界だったと思います。
- ・リハーサルについては、時間も限られてしまって無理は言えませんが、もう少し合わせる時間があれば良かったかなど。本番は、舞台でお着物着てと練習とはまた違った空気感の中でよく頑張りました。
- ・スケジュールを分かりやすく説明していただいたので無理なく一日を過ごせました。リハーサル時は緊張した顔の子供達も本番前に先生とスタッフの方に声掛けしていただいたり遊んでもらえた事で緊張が解れ本番の時は堂々とした良い顔をしていました。

## 34

## Betweens Passport Initiative

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	新宿区ほか都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人 kuriya
入場者数	168人

## 【事業趣旨（目的）】

『移民』をはじめとする多様な若者（以下、「ユース」）たちが社会参加する機会をつくり、多様な人々が集まる場づくりを行う。移民の若者たちを「社会問題」ではなく「社会のポテンシャル」として捉え、移民・外国人への偏見やステレオタイプといった価値観に働きかけ、多様性を豊かさに創り上げることの出来る人材を育成する。今年度は、教育機関外（out of community）での活動にも焦点をあて多様な人々が集まる拠点形成を目指す。

## 【開催状況】

プログラム構成：

## (1) 定時制高校プログラム

アーティスト等とともにプログラムを実施することでユースへのアウトリーチを行い、学校内でのコミュニティづくりに寄与した。またプログラムの実施を通じて、教育機関におけるモデル形成を試みるとともに、これまで実施した教育機関との連携プログラムについて事例集を制作した。

実施場所 都立一橋高校

## ① アーティストプログラム

シリア難民で現在ドイツに拠点を置いているアーティストのヒバ・アル＝アンサーリーを招いて多言語交流部の生徒を対象にワークショップを実施した。平成23（2011）年のアラブの春以降混乱が続くシリアの状況を「シリアの空」をテーマに話しながら、学生と大量の飛行機を折り、二手に分かれて飛ばしあった。

開催日	9月7日
ゲスト	ヒバ・アル＝アンサーリー
参加者数	18人
実施パートナー	東京ドイツ文化センター

## ② 留学生プログラム

演劇の手法を取り入れたアイスブレーキング・ゲームを始め、英語や多言語でのディスカッションなど、多文化・多言語の交流を深めるアクティビティを行った。

開催日	6月～7月（6回）、11月～12月（6回）
ゲスト	徳永智子（群馬県立女子大学講師）
参加者数	108人

## (2) 拠点形成プログラム

教育機関外での活動として、ユースインターンの活動拠点やワークショップの実施会場として活用することで、様々なユースの現状についてリサーチするとともに、多様な価値観、文化を背景にもった人々が集まる拠点の形成を目指した。

実施場所 SHIBAURA HOUSE

## (3) 人材育成プログラム

ユースをインターン生として受け入れ、約3か月から半年の期間で活動を設定し、ワークショップの実施やリサーチに取り組んだ。ユース一人一人の興味と特性を活かしながら、ライフスキルを身につけるエンパワメントの場として運営し、外部連携を通じたワークショップの実施を組み込むなど、ユースの人材育成の仕組みを模索した。

### ① 4月～9月（24回）

東京都美術館で開催されたTURN Fesでのワークショップツアーに向けたOJTを行った。昨年度のプログラムでアーティストのOkui Lalaとともに開発したルービックキューブツアーを題材に、多様性を体験するワークショップをユースインターンが、その準備を行った。事前準備として、他の高校生・若者インターンに向けたオリエンテーションを実施し、資料作成や日英での説明を行った。

### ② 10月～12月（6回）

ライフ・マッピング（Life Mapping）という手法を使い、これまでの自分の歩んできた歴史や、これからの目標を可視化し、東京で自分の将来について考える機会を設けるワークショップの企画開発を行った。ライフ・マッピングとともに、自分やチームにはどのような資源があるのかを考えるリソース・マップ（Resource Map）を作成した。自らのLife MapとResource Mapを踏まえた上で、自らの進路について考え、それぞれが思い描く未来のDream MapとAction Planを描き、発表した。

### ③ 1月～3月（12回）

Project Based Learningという手法を使い、外国人の高校生が直面する課題について考えた上で、①日本語・②友人・③進路・④アルバイトの4つのカテゴリーを設定し、高校生活における目標をたて、アクションプランを策定した。拠点となるSHIBAURA HOUSEのスタッフやパートナーである徳永智子にも加わってもらい、少人数での発表の場を設けた。

### （4）シェアリング・セッション

自らの属するコミュニティや身近な環境をより良くしようとする意思を持ち、行動する力を「リーダーシップ」と捉え、若者（ユース）をテーマに活動する企業とNPOの事例紹介、若者たちの「リーダーシップ」を育む環境づくりについてトークセッションを開催した。

日時 12月16日（日）

会場 アーツカウンスル東京 ROOM302（3331 Arts Chiyoda）

参加者数 42人

登壇者 徳永智子（群馬県立女子大学 講師）、小澤いぶき（認定NPO法人PIECES 代表理事）、佐藤 瞳（スターボックス コーヒー ジャパン 株式会社）、海老原周子（一般社団法人kuriya 代表）、kuriyaスタッフ

## 【参加者の声】

### ●定時制高校プログラム

- ・シリアについて空爆のことや実際に人が亡くなっていることは心に留めておきたいし、早く終わるといいなと思った。
- ・地面に残った大量の飛行機は、シリアの空のようでもあり、シリアの複雑な状況やシリア人の精神状態を表していた。最後のリフレクションでは、深刻なシリアの状況について言葉にすることの難しさを感じつつも、シリアで起こっている空爆についての質問や今回のワークショップ自体の楽しさが語られ、最後はシリアにいつか平和が訪れることを願い、行ってみたい。

### ●留学生プログラム

- ・英語でのゲームやディスカッションの様なアクティビティを経験することで、様々な文化の人とのコミュニケーション能力を身につける事が出来た。また人前で自分の考えを発表したり、話したりする経験を通じて自分への自信がついた。

### ●人材育成プログラム

- ・アルバイトでは単純作業で学校でもこのような形で考えたり、人と触れたりする機会はなく、この場があることで自分にも何かが出来るんだと感じる。

### ●シェアリング・セッション

- ・敵を作らない、困難を抱えているのは「若者」という切り口なら、国籍だけが課題ではない。
- ・外国の方の支援も、企業の育成も、子供たちのサポートも大事なこと（セルフリーダーシップを持ち、人を大切にすることは同じなんだなと思った）。
- ・芸術を活用した社会課題の解決等といったとき、芸術の本質的な要素とそれに付随して発生する一般的だけど芸術と共に作用することによってコミュニケーションや解決力を増す部分については分けて考えているか気になった。

## 35

## 東京ステイ

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	東京都内各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、NPO法人場所と物語
入場者数	61人

## 【事業趣旨（目的）】

「東京ステイ」は、「ステイ」という体験によって東京の様々な場所に眠る物語を掘り起こし、文化的資産とは何かを問い直す試み。この「ステイ」は、必ずしも宿泊だけを意味せず、通り過ぎてしまう風景や失われつつある営みを前に足を止め、しばし佇んでみることも「ステイ」と捉えている。都市に潜在する、経済的指標だけでは捉えがたいオルタナティブな価値を見つめ、言葉を紡ぐことを目指している。

## 【開催状況】

## (1) レクチャー&amp;ディスカッションイベント

多様なジャンルの実践者が集まるNPO法人「場所と物語」のメンバーにより、テーマと顔ぶれを変えてそれぞれの立場から見える「東京／ステイ」を紐解くトークシリーズ『東京ステイ ダイアログ・オンサイト』を企画。年度内の「ピルグリム（日常の巡礼）※」フィールドワーク企画や実験イベントの実施、ブックレット制作にも繋がるテーマを設定し、また公開イベントとして一般参加者にも開き、外部の視点を取り入れるとともに、今後「東京ステイ」の活動に関わってくれる人との出会い・交流を図った。

※NPO法人場所と物語が実験中の、まちの体験プログラム。

開催日	プログラム名	内容	会場	登壇者	参加者（人）
1/9	Vol.1「東京の記憶と断面」	過去の記憶と現在の風景が地層のように積み重なっている都市。その時間軸の断面である古さと新しさの風景の境界とは、一体どのようなものなのか。またその地層が重なり続けることで、まちには何が起るのか、について語り合った。	ミナガワビレッジ	林厚見（株式会社スピーク 共同代表） 林千晶（株式会社 ロフトワーク 代表取締役） 聞き手：神本豊秋（株式会社 再生建築研究所 代表取締役）	22
1/15	Vol.2「まちを読み解くまなざし」	3人の登壇者が、地域のブランディングから、架空の「東京特集」、そして一人ひとりが都市でどのように居場所を見つけるかという幸福論まで、それぞれの「まちを読み解くまなざし」について語り合った。	のんびりや	今田素子（株式会社インフォバーン ファウンダー/代表取締役CEO、株式会社メディアジーン ファウンダー/代表取締役CEO） 及川卓也（株式会社マガジンハウス クロスメディア事業局コカカル事業部長） 聞き手：小松平佳（株式会社 Ridge-i 取締役副社長）	12

## (2) 「ピルグリム（巡礼）」フィールドワーク

平成28（2016）年度から継続している、東京各地の「場所と物語」を掘り起こすフィールドワーク企画を行った。今年度は、これまでの活動から得られた知見をもとに、移動手段や体験内容などに工夫を重ね、新たな手法を試した。また、一般参加者も参加できる機会を設け、体験を広く他者と共有できるような仕組みづくりを検討した。

開催日	プログラム名	内容	エリア	参加者（人）※
8/10	合宿	合宿形式で都心での滞在体験を通して実験イベントの企画検討や、ピルグリムの手法、制作物のアイデアなどについて、ディスカッションを行った。ピルグリムでは、ユニークな地図アプリ等を使用して新宿付近を約4時間かけて移動した。	代々木上原～西新宿	—
12/22	風をあつめてピルグリム	「さかいめ」をキーワードに、神田上水の堰（上流・下流の境目）があった場所からスタートし、6時間後に「王子駅」へ再集合。都電荒川線および都営バス、日暮里・舎人ライナーをピルグリム中の移動手段として活用した。	都電荒川線沿線および「都営まるごときっぷ」で移動できるエリア（江戸川橋～都電沿線～王子）	5
1/9	ダイアログ・オンサイト Vol.1「東京の記憶と断面」第1部	NPOメンバーによるトークイベントの第1部として、トーク会場周辺でピルグリムを行った。	表参道	6
2/23	東京ステイ総集編『東京、日常の巡礼』『ピルグリム—日常の巡礼』『東京の夕暮れ』	「東京ステイ」の取り組みの3年間の総集編企画の中で、6時間かけて東京のまちを巡る「ピルグリム—日常の巡礼」、最集合した後に隅田川を船で下り、フィードバックを行う「東京の夕暮れ」を実施した。	上野～浅草	9

※8月10日は非公開、NPOメンバーのみ参加。1月9日は「ダイアログ・オンサイト」2月23日は「東京ステイ総集編」内の一プログラムとして実施。

## (3) 「東京ステイ総集編『東京、日常の巡礼』」

「東京ステイ」の取り組みの3年間の総集編として、丸一日かけて都内を移動しながら語り合う「東京、日常の巡礼」を開催。本イベントでは早朝から夜までのあいだに異なる5つのプログラムを順番に実施。日常とは少し異なる視点や身体性でまちを体験するプログラム「ピルグリム」、まちと出会い直すための10のステップをまとめた冊子『日常の巡礼』、様々な物語を想起させる場を訪れ、その場でNPOメンバーが語り合うトークシリーズ「ダイアログ・オンサイト」といった、これまでの実験や実践を一日に凝縮させた。

川と街の関係を感じる体験や、移動手段を限定させたプログラムなど、今年度実施したイベントの成果やフィードバックを生かした企画となった。

開催日 2019年2月23日  
 開催場所 秋葉原、浅草、清澄白河 ほか  
 参加費 無料

プログラム名	内容	会場	参加者数
「東京の朝ぼらけ」	ある時刻が訪れると全国各地で立ち上がる“ラジオ体操という場所”をヒントに「場所を立ち上げる力」を考える。ラジオ体操発祥の地で日の出を迎え、ラジオ体操や散歩を行った。	佐久間公園 ほか	7
「ピルグリム—日常の巡礼」	ある「指令」に従いながら、通常の何倍もの時間をかけて目的地に辿り着く、東京の日常と出会い直すためのまち歩きプログラムを実施。6時間かけて東京のまちを巡った。	アーツ千代田3331～浅草駅付近	9
「東京の夕暮れ」	隅田川を船で下りながら日没を追いかける。船上ではそれぞれが歩いた「ピルグリム—日常の巡礼」の体験をシェアし、振り返るワークショップを行った。	浅草周辺～勝どき周辺	
「スナック東京」	地方に行くと思わず立ち寄ってしまう「スナック」という魔力。地元の人も旅人も心地よく「居る」ことのできるその場所の力や、スナック的な場所と時間を生み出すものは何かについて探るため、参加型の即興劇を通じ「スナックの場所性」に迫る。	スナックちんぶん館TOKYO	6

## (4) 言語化・情報発信・アーカイブ

企画に関する成果（フィールドワークを通じて得られた知見、インタビュー記事など）、公開イベントのレポートをウェブサイトに掲載。また情報公開やイベント広報・集客はSNSを中心に行った。レポートはNPOメンバーだけでなく、外部からピルグリムに道連れとして参加してもらった人たちにも執筆していただいた。

### ■公式ウェブサイト、SNSの運用

公式ウェブサイトの運営と、SNSを通じたイベントページのシェア拡散により広報宣伝活動を実施した。また、「ピルグリム」実施中にもSNSの活用をプログラムに組み込み、発信やアーカイブを試みた。

公式ウェブサイト (<http://tyo-stay.com>)

公式 Instagram (<https://www.instagram.com/bashomono/>)

公式 Facebook (<https://www.facebook.com/pg/bashotomonogatari/>)

### ■ブックレット「巡礼ノート」制作

今年度の企画含め3年間の活動のなかから見えてきた本事業の成果を広く共有可能なものにするため、ピルグリム（日常の巡礼）の進歩制度（バッジ・システム）を紹介する「巡礼ノート — 日常をあるきなおす人のために」（36P）を制作した。

### 【参加者の声】

- ・時間をかけて、歩く。すると、目的地に向かうための移動ではないモードに。なんだかいつもと違う眼差しを獲得する。「ピルグリム」では、ここにいない誰かに宛てて手紙を書きます。ちょっとびり恥ずかしいけれど、私だけの小宇宙を作って、綴る。事実とフィクションに差はない。あるのは、誰かが生んだ物語、伝え聞いた物語、出会った物語。「フィクションと事実を行き交う旅」。ピルグリムはそのための、ちょっとした手解きといえるかもしれません。（1/9ダイアログ・オンサイト 参加者によるレポートより）
- ・「ピルグリム」という歩き方が、小さな感覚ひとつひとつにも敏感に気づかせてくれるようです。（1/9ダイアログ・オンサイト 参加者によるレポートより）

### 【発行物】

『巡礼ノート — 日常をあるきなおす人のために』

## 36

## HAPPY TURN／神津島

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	神津島村
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人神津島盛り上げ隊
入場者数	148人

## 【事業趣旨（目的）】

伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指す事業。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人、など様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化など地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考える。

## 【開催状況】

（1）事業発信メディア構想プログラム

## ①『HAPPY TURN／神津島 通信 01』の発行および配布

「『HAPPY TURN』とは何か」を調査・探求すべく、島での暮らしを創造的に過ごす5人の1ターン者と1人の離島留学生にインタビューを行い、紙メディアとして発行した。制作した『HAPPY TURN／神津島 通信 01』は、竹芝桟橋にて開催された東京島しょ部のイベント「島じまん2018」や、離島の祭典「アイランダー2018」、「神津島フェア2019」といった島外でのイベントをはじめ、島の飲食店や観光協会等で配布した。

タイトル	『HAPPY TURN／神津島 通信 01』
制作	ディレクション 川村格夫
	執筆 中田一会（きてん企画室）
	写真 川瀬一絵（ゆかい）
	デザイン 大内かよ（OKデザイン）
発行日	平成30（2018）年5月26日
発行部数	18,000部

## ②ウェブサイトの立ち上げ・運営

『HAPPY TURN／神津島 通信 01』と合わせてウェブサイトを立ち上げ、ニュース・イベント・通信・ブログのページを設けて運営を行った。島と関わりながら暮らす方々のインタビューを掲載するとともに、島外の人が島のことを知ることができるツールとして機能するコンテンツについて検討した。

## （2）拠点形成プログラム

島内外の多世代が交流し、多様な人や価値観との出会いにつなげる場づくりを目指し、島内の空き家を利活用した拠点形成に取り組んだ。プログラムのコラボレーターとして空間デザインユニット「岩沢兄弟」を迎え、空き家掃除や修繕作業といった空き家を再生していくプロセスをひらきながら、拠点形成の展開や可能性、島内での手法確立に向けて協議を重ねた。また、どのような意図で拠点づくりを進めてきたのか、掃除大会のプロセスや今後の展望について発表する場を設け、本事業についての周知と地域住民のネットワーク形成につなげた。

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
コラボレーター	岩沢兄弟

## ①活動拠点の掃除大会

開催回	9回
参加者数	79人

### ②活動拠点の見学会

開催日 3月30日・31日

来場者数 69人

### (3) 事業の基本方針および運営基盤構築のためのリサーチプログラム

本事業の基本方針および運営基盤を構築するために、定期的なプランニング会議や島の地域資源についてのリサーチ、また島内における拠点形成と空き家を利活用した仕組みづくりに向けて、国内の空き家を利活用した場づくりの事例（鳥取県鳥取市など）についてのリサーチを実施した。

開催期間 平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月

訪問日 平成31（2019）年3月12日～15日

訪問先 鳥取県鳥取市、東伯郡

・たみ（ゲストハウス）、ホスピテイル（ギャラリー、イベントスペース運営）ほか

### 【発行物】

『HAPPY TURN／神津島 通信 01』

# 37 500年のcommonを考えるプロジェクト 「YATO」

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	東京都町田市忠生エリア
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、社会福祉法人東香会
入場者数	350人

## 【事業趣旨（目的）】

谷戸（やと）と呼ばれる地形をもつ地域において、500年続く人が集う場やその仕組みを模索する。地域の専門家を招いた勉強会を通じて、歴史・文化の掘り起こしを行い、それを伝え継いでいくための方法についてのリサーチも並行して行う。関わる人たちが自身の中に500年という時間軸を創造できるようにすること、「500年続くcommon」を形成するための自身の役割を発見できるようにすることを目指す。

## 【開催状況】

### （1）YATOの縁日

会場である築田寺の施餓鬼と同日に、大人も子供も楽しめる縁日を開催。地元和太鼓チームやちんどん、バクパイプバンドの演奏、屋外影絵の上映などを実施。また、地元年長者による竹細工のワークショップも行い昔の遊びを体験する場となった。影絵では、実際にリサーチの際にお話を聞いた地元の方にも特別出演してもらい披露した。参加者は家族連れが多く、子供からお年寄りまでが夕のひとときを楽しんだ。

開催日	8月10日
会場	築田寺
出演	川村亘平斎（影絵師・音楽家）、幸町バグパイプクラブから3にん&さとうゆみ（ちんどんおてんきや）、サマンサ倶楽部（太鼓）
参加者数	300人

### （2）YATOの年の瀬

築田寺座禅の会が主催するお餅つきと同日に開催。会場に街頭テレビを設置し、映像作家の波田野州平氏が、町田市史などの文献調査で得た見識と照らし合わせながら、「町田市自由民権資料館」から借用した古い写真を用いて制作した映像を放映。幸町バグパイプクラブの演奏に合わせてお餅つきを盛り上げ、YATOの活動周知を行った。また、近隣周辺のアート関係者も来場し、谷戸の地形やYATOプロジェクトを紹介するミニツアーも実施した。午後には、地域の歴史・文化のリサーチの一環として、「YATOのセンパイ」と呼ぶ地元の年長者に門松づくりを学び、その制作プロセスを映像記録を撮り、生活に根付く文化やその伝承方法について検討を重ねた。

開催日	12月23日
会場	築田寺
内容	YATO街頭テレビ（波田野州平）、幸町バグパイプクラブの演奏
出演	幸町バグパイプクラブ
参加者数	50人

### （3）ポストカード「谷戸の物語」

町田市忠生地域に長く住んでいる方にお話を聞きに行き、付近を歩きながら気になる風景を撮影するフィールドワークを行った。さらに、その聞き書きや史実を基に、フィクションを交えながら新たな土地の物語を綴り、撮影した写真と組み合わせてポストカードを制作した。年3回発行。1号目は「YATOの縁日」、2号目は「YATOの年の瀬」、3号目は「初午祭りの準備（地域リサーチ）」に合わせて発行し、配布した。制作にあたって行った聞き書きの一部を、ウェブサイトでも公開した。

編集：森若菜（「雛形」編集部）、デザイン：根岸篤男（Aim Design）、写真：波田野州平、文：安永哲郎

### (4) 映像アーカイブ

YATOのイベント、お寺の周辺で行われる年中行事やその準備、生活に根付いている手仕事などを映像によってアーカイブするプロジェクト。今年度は、「YATOの縁日」「YATOの年の瀬」「門松づくり」「初午の準備」の4本の映像を制作し、ウェブサイト上で公開した。忠生という土地が積み重ねてきた時間や人々の営みをその場の空気感も含めて切り取り、映像ならではの手法で伝えることを試みている。

映像・編集：波田野州平

### 【参加者の様子・イベントレポート】

#### ● YATOの縁日

- ・ 忠生の周辺地域に長く暮らしている年長者たち（＝YATOのセンパイ）から技を授かり、引き継いでいくこともYATOの大事なテーマ。そのひとつとして、昔センパイたちが山でつくって遊んでいた竹の水鉄砲づくりを、子供たちが習うワークショップを行いました。子供たちはYATOのセンパイに教えてもらいながら、竹を切ったり、布を巻き付けたり…みんな真剣な面持ちでした。
- ・ 幸町バグパイプクラブが賑々しく登場し、四本のバグパイプと太鼓、そしてチンドンが、口ずさみたくなるメロディとリズムを奏でながら境内を練り歩くと大勢の人が集まってきました。景気づけの餅つきが、集った人々に一層の笑顔をもたらしました。

#### ● YATOの年の瀬

- ・ お寺の門の軒下に、街頭テレビを設置。忠生地域の古い写真を流していたところ、立ち止まってじっと見入る人や、夫婦でゆっくりと見られている姿もありました。

#### ● 谷戸の物語

- ・ 発端は築田寺のこもれば堂で見つけた50年以上前の航空写真。そこには、今とはだいぶ違う忠生の姿が写し出されていました。土地の形状や、道、森、団地、家々などがどんな風になり、どんなことが引き継がれてきているのか。そんな“変わりゆくものごと”と“変わらないものごと”に思いを寄せながら、これからの500年に向けた人々のつながりを考えていくプロジェクトとして、それを何らかの形に残していけないかと考えました。

## 38

## Artist Collective Fuchu [ACF]

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年10月～平成31（2019）年3月
会場	東京都府中市
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ
協力	日本映像学会アナログメディア研究会
入場者数	189人

## 【事業趣旨（目的）】

本事業は、府中市を中心としたアートに関わる人々の緩やかなネットワークづくりを通し「アーティストにとって住みよいまち」、ひいては「誰もが表現できるまち」づくりを目的とする。今年度は、リサーチ／スタディやキックオフイベントを通して、ACFメンバーのポテンシャルを引き出すことを試みたとともに、様々な活動や立場を持つ方々とのネットワークをゆるやかに広げた。

## 【開催状況】

## (1) リサーチ／スタディ

Artist Collective Fuchu [ACF] 独自の在り方を模索・創造するため、組織運営や拠点・ネットワークの形成に関してアート分野に限らない領域横断的なリサーチを行った。

## リサーチ／スタディ関連企画

開催日	プログラム名	内容	会場
10/24	リサーチ／スタディ vol.1	ACFのあり方として参考にしたい団体や活動などを持ち寄りシェアした。	府中市中央文化センター第4会議室
12/20	リサーチ／スタディ vol.2	市内の弁当宅配団体、「ワーカーズコレクティブ椀もあ」で働き、任意団体「トランジションタウン府中」の中心的メンバーである荒川紀子をお招きし、それぞれの働き方や組織運営について詳しく話を聞いた。	府中市市民活動センター プラッツ和室

## (2) キックオフイベント

ACFメンバーでもある府中在住の映像作家、および多摩地域の映像作家合計8人のビデオ・8mmフィルム・16mmフィルム作品を「初期衝動」をテーマに上映。会場は「畳の部屋でのんびり映写機の音を聞きながら作品を味わう」をテーマに、地元住民しか使わない公会堂を借りて、地元の舞台芸術家の指示のもと、装飾を行った。また、託児サービスを設けることで、子育て世代や家族連れでの参加など、より幅広い層の参加を促すことを試みた。

開催期間	1月19日、20日
会場	白糸台中部公会堂
アーティスト	内村茂太、山崎幹夫、川口肇、ヤジマチサト士、歌川恵子、富永まい、芝辻ペラン詩子、馬淵徹
入場者数	189人

## (3) 情報発信

キックオフイベントの情報を中心にしたウェブサイトを作成・運用。イベントページのシェア拡散により広報宣伝活動を実施した。

公式ウェブサイト (<https://acf-tokyo.com/>)

## 【参加者の声】

## ●リサーチ／スタディ

- ・メンバーの興味関心に気づくとともに、目指す組織のあり方に共通する認識があることも確認できた。
- ・コレクティブの働き方や意思決定、組織運営について気づきもらった。

## ●キックオフイベント

- ・メンバー各自の強みや興味を知ることができ、地域の方々がふらりと来て面白がる、イベント運営を通して、食事の場を共にする機会を多く設けたことで、その意味を実感した。

## 39

ファンタジア！ファンタジア！  
—生き方がかたちになったまち—

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年9月～平成31（2019）年3月
会場	墨田区京島、鐘ヶ淵、八広エリア
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人うれしい予感
参加者数	39人

## 【事業趣旨（目的）】

東京都墨田区北部（以下：墨東エリア）の文化的な生態系の変化がそれぞれの営みを豊かにする循環を目指すことで、街をひとつの“学びの場”へと見立てていくプロジェクト。今年度は白地図を用いたインタビュー企画「WANDERING」や、学びをテーマに活動するアーティストや研究者を招きレクチャーとディスカッションを行う「ラーニング・ラボ」を開催。

## 【開催状況】

## (1) WANDERING

墨東エリアで主体的な活動をする人々に対し、それぞれの墨東エリアでの活動だけでなく、その人自身のバックグラウンドや区外での活動を含めた視点でのヒアリングを行う企画「WANDERING」を実施。その人の過去・現在・未来についての些細なエピソードを聞き出しながら現在の活動との接点を見つけ、キーワードやイメージを墨田区の白地図上に書き込んだ。

開催期間 10月～2月  
実施対象

開催日	ヒアリング対象者	場所
10/30	佐藤史治+原口寛子	ドマトトコ
11/27	山本千加	float
12/2	内田百合香、船戸厚志、村松佑樹	Gallery TOWED
12/3	桂田あゆみ	シルクロードカフェ
12/16	高田洋三、大塚秀樹	sheepstudio、spiid
1/7	木村吉見+オカザキ恭和、岩本友里	yahiro8、墨田長屋
1/13	灰谷あゆむ	halahelu
2/12	後藤大輝	旧邸

## (2) ラーニング・ラボ

アートや教育、農業など“生きること”や“学び”にまつわるテーマで研究・実践を行う有識者を招いたレクチャー企画。地域で活動する方をフロアゲストに招きレクチャー後には参加者同士でディスカッションを行い、各回のテーマを多角的に考察した。

開催期間 2月～3月  
所要時間 各回2時間（レクチャー1時間／ディスカッション1時間）  
入場料 無料

開催日	会場	プログラム名	ゲスト	フロアゲスト	参加者（人）
2/9	yahiro8	「ものづくりによって生まれる共同体」	佐藤研吾（建築家）	たもんじ交流農園	14
3/2	曳舟文化センター・和室	「もう一度、家族を考える」	深海菊絵（性愛・家族研究者）	佐藤史治+原口寛子（アーティスト）	9
3/10	墨田聖書教会	「生きた知識にするための学び」	今井むつみ（慶応義塾大学環境情報学部教授）	関川航平（アーティスト）	16

## (3) ファンファンレター

「WANDERING」を通じて得た地域の情報や、プロジェクトの活動を地域へ広報する媒体として印刷物「ファンファンレター」を制作。スタンプなどを使って、誰でも簡単に編集・制作をできる仕組みを検討し、事務局だけでなく地域の人々が交わる余地を示していくことで、墨東エリアに特化した情報発信を行った。墨東エリアのカフェに設置をするほか、Facebookページにて紙面の画像を投稿した。

作成部数	第1号 600部、第2号 500部
配布先	墨田聖書協会（ラーニング・ラボ実施時）、halahelu、爬虫類館分館、墨田長屋、サテライトキッチン ほか
デザイン	田部井美奈 (kvina)
編集協力	桂田あゆみ

### 【参加者の声】

- ・ 講師に興味があったし、普段は触れないような分野に感じた。知識の獲得に興味があった。
- ・ 知らない世界を知れた。参加された方の感想も聞けて良かった。
- ・ これから生きていく中で多くの人に会っていく中で、違う価値観を生活している人を視界し認め合いながらコミュニケーションを取っていこうと思いました。
- ・ 夫婦関係がすこしラクになれた。
- ・ ディスカッションの時間がもう少しあると良かった。
- ・ 1回しか参加できなかったのでラーニング・ラボについてもう少し方向性を知りたかった。

## 40

## Artpoint Meeting

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	79人

## 【事業趣旨（目的）】

「まち」をフィールドに、人々の営みに寄り添い、アートを紹介し問いを提示するアートプロジェクト。Artpoint Meetingは、アートプロジェクトに関心を寄せる人々が集い、社会とアートの関係性を探り、新たな「ことば」を紡ぐイベント。東京アートポイント計画の発信を目的に、各回テーマに関わるゲストを招き、東京アートポイント計画のディレクターやプログラムオフィサーがホストを務める形で2回実施した。

## 【開催状況】

## (1) Artpoint Meeting #06 ープロジェクトを育てる「活動拠点」のつくりかたー

まちなかで展開するアートプロジェクトにとって「活動拠点」は、プロジェクトを体現する場。知恵と工夫に満ちたゲストとともに、物件探しから、空間づくり、コミュニケーションを生む仕掛けまで、「拠点づくり」を考えるトークイベントを開催した。

開催日	7月29日
会場	TOT STUDIO
ゲスト	岩沢兄弟（岩沢仁、岩沢卓／有限会社バツタ☆ネーション）
聞き手	森司（アーツカウンシル東京）
参加者	41人

## (2) Artpoint Meeting #07 ープロジェクトを拡げる「メディア」のつかいかたー

まちに根を張り、様々な人を巻き込み、アートプロジェクトを豊かに育てていくには、その想いを共有する「メディア」が重要。組織全体のコミュニケーションをデザインするとき、情報を伝える媒体と内容をどのように設計するのか。それぞれのゲストから、具体的な実践や視点を伺いつつ、アートプロジェクトならではの創造的な「メディアのつかいかた」について考えた。

開催日	1月26日
会場	東京文化会館 4階 大会議室
ゲスト	森若奈（ローカルライフマガジン『雛形』編集長）、中田一会（コミュニケーションプランナー）
聞き手	森司（アーツカウンシル東京）
参加者	38人

## 【参加者の声】

## ● Artpoint Meeting #06 ープロジェクトを育てる「活動拠点」のつくりかたー

- ・活動拠点をつくってみたいと思った時の「視点」についてヒントをいただきました。
- ・「つくりかた」の話において、場＝ハード面が主だったので、ソフト運用の話がどうなってるのかわかりました。

## ● Artpoint Meeting #07 ープロジェクトを拡げる「メディア」のつかいかたー

- ・お話を聞いて、今までの自分の経験や関心事が広がっていくような感覚をうけました。
- ・メディアもプロジェクトの一つというのは納得しました。文章をつくる、取材することは、常にどこかしら客観視する視点が入るので、プロジェクトの意識化がはかれて、それが次のステップにもつながる。

# 41 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
会場	岩手県、宮城県、福島県の各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 【宮城】 えずこ芸術のまち創造実行委員会、つながる湾プロジェクト運営委員会 【岩手】 特定非営利活動法人いわて連携復興センター 【福島】 福島県いわき市、特定非営利活動法人 Wunder ground
共催	【岩手】 社会福祉法人愛泉会かまいしこども園
協力	【宮城】 ビルド・フルーガス、一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ 【岩手】 特定非営利活動法人@リアスNPOサポートセンター、一般社団法人谷中のおかって（企画運営）、特定非営利活動法人記録と表現とメディアの組織 [remo]（企画運営） 【福島】 下神白団地自治会
入場者数	約1,747人

## 【事業趣旨（目的）】

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に、東京や被災地の芸術文化を活用し、被災地のアートNPO等と連携して、地域コミュニティを再興するため、様々な人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを支援する。

## 【開催状況】

### （1）えずこフリー塾（宮城）

東日本大震災による被災者、そして社会的マイノリティと言われる方々を対象に、地域、年齢、ジャンルを越えて、コミュニティ再生や活性化を目指すための、心の復興事業。福祉施設などで、アーティストによるワークショップ等を行った。

#### ①子供を対象としたアウトリーチ・ワークショップ

特定被災地方公共団体、仙南2市7町の子供たちを対象とした、心と体をほぐし精神を開放するコミュニケーションワークショップ。心身に障害を持つ子供たちを対象に、遊びを通し基本的な生活習慣の確立と集団での適応訓練を行う柴田町「むつみ学園」の児童と、大河原町第一光の子保育園の園児を対象に実施した。

開催日	内容	会場	アーティスト	参加者（人）
1/11	遊びのような音楽を即興的に紡ぎながら、二人が作り出す音楽世界に自然に子供たちを引き込んでいき、いつの間にか音楽を表現する側に回り、たくさんの音楽が彼らの中から紡ぎだされた。	障害児通園施設むつみ学園（柴田町）	野村誠（音楽家）、 ヒュー・ナンキベル（音楽家）	38
1/12	就学前の園児たちと音楽で遊ぶプログラムを実施。手に持った簡単な楽器で合奏したり、ギター、ピアノを使った表現にチャレンジしたり、園児が指揮棒を持ちみんなで合奏するシーンも。最後にはみんなで作った即興の曲を合唱した。	第一光の子保育園（大河原町）	野村誠（音楽家）、 ヒュー・ナンキベル（音楽家）、 倉品淳子（俳優、演出家）	41

#### ②一般参加者による心を開放する音楽ワークショップ

～ ヒューとノムラのミステリー音楽ワークショップ「ミス・マーブルの十三の謎」～

1歳から72歳まで、幅広い地域から集まった幅広い年代の26人が参加したワークショップは、4日間にわたって開催された。ヒュー・ナンキベルが住む、イギリスのトーキーはミステリー作家アガサクリスティ生誕の地であることから、彼女の作品「ミス・マーブルの十三の謎」に材を取り、13の謎をテーマに「ミステリー音楽」を創作するという内容のワークショップである。創作は、参加者のアイデアを駆使し、奇想天外、謎に満ちながらも誰もが楽しめる作品となって結実した。

開催日 1月12日～14日  
 アーティスト 野村誠（音楽家）、ヒュー・ナンキペル（音楽家）  
 ゲスト 倉品淳子（俳優、演出家）  
 参加者数 143人

## （2）つながる湾プロジェクト（宮城）

松島湾の沿岸部は元来、天然の地形による豊富な漁業資源や景観に恵まれており、それらは地域文化と密接な関わりがある。「つながる湾プロジェクト」はこれまで、松島湾とその沿岸地域の文化を再発見し、味わい、共有し、表現することで、地域や人・時間のつながりを「陸の文化」とは違った視点でとらえなおす試みを続けてきた。最終的にこの領域に暮らす人々が自発的に松島湾の文化を楽しむことを支援する仕組みやツールを開発することを念頭に置き、松島湾の文化に触れる機会の創出と文化の周知に取り組んだ。

開催日 6月～3月  
 会場 宮城県塩竈市  
 参加者数 100人

### ① 湾をめぐるパスポート

平成28（2016）年度から取り組んできた「松島湾とハゼ」のようなプログラムを一年を通して複数用意し、参加するごとにスタンプを集められるパスポート形式にすれば、日常の中で松島湾の文化を楽しめる仕組みができるのではないかと考え、複数のアクティビティを計画してパスポートを制作し、湾域の文化施設等に配布した。

開催日	プログラム名	内容	開催場所
8/6	塩づくり体験	酷暑に苦しめられる実施となったが、古代の製塩法に想いを馳せながら実際に塩を作ってみる貴重な体験の場となった。	千賀の浦緑地（塩釜市）
9/30	白菜の苗植え体験	※台風のため中止	野々島（塩釜市）
12/5	ハゼの焼き干しづくり体験	「ハゼ」は台風と不漁で大変苦労したが、「焼き干しづくり」を実施した。	太田与八郎商店（塩釜市）

### ② 文化交流市場

これまでのネットワークを活かし、季節や場所、形態の違う様々なプログラムをつなげ、一年を通して「湾の文化」を体感できる場として「文化交流市場」を企画・実施した。「文化交流市場」は松島湾に面する3市3町それぞれの地域や各活動団体が互いの文化の価値を認め合う場であることともに、訪れる人が湾の文化に出会い、楽しみながら追体験するイベントとした。

開催日 2月9日  
 会場 塩竈市杉村惇美術館大講堂  
 出演者・講師等 佐藤啓一（漁師）、菅原弘樹（奥松島縄文村館長）、高倉敏明（元多賀城市観光協会事務局長）、遠藤勝（野々島感動支援隊）、木島新一（宮戸自然観察員）、松村正子（タガの柵代表）、関口英樹（東松島市地域おこし協力隊）、鈴木由美子（ヨガサークルシャンティ松島）、鈴木博美（NPO みなとしほがまボランティアガイドの会）、櫻井勝男（利府町観光ボランティアガイド）、久保田靖朗（SEASAW 代表・七ヶ浜町観光協会副会長）、須田聡宏（アトリエ陶の泉）、中村みき子（みやぎの食を伝える会代表）、浅野丈史（司会者）

### ③ 「松島湾の船図鑑」制作

平成28（2016）年度から制作しているシリーズの第3弾。船を知ること、多くの船が出入りする松島湾の風景をより楽しんでもらえるよう、船の基本的な知識を解説するところから始まり、漁船、交易船、巡視船など種類ごとにその特徴や歴史を紹介する豆図鑑を制作した。

### ④ 記録アーカイブ・発信

ウェブサイトでは「湾をめぐるパスポート」のページを新たに制作した。また、イベントの告知やレポートも行った。昨年度から発行している、プロジェクトの活動を伝えるフリーペーパー「うみねこ通信」を、今年度も2回発行し、市内文化施設等で配布した。

(3) ぐるぐるミックスin釜石（岩手）

一般社団法人谷中のおかってと、アーティストのきむらとしろうじんじんが協働開発した子供創作教室。年齢も性別も、職業も様々な地域内外の大人がスタッフやゲストとなり、子供とコミュニケーションを重ねながら、一緒にあそびの場をつくっている。今年度は、園の先生方とぐるぐるミックスの振り返り・次回の打ち合わせ・準備・環境整備のための「ぐるぐるの会」という意見交換の場を設けた。また、先生方のアイデアを元に子供達との創作の場を開く「プチぐるぐるミックス」を新たに組み込み実施した。

会場 社会福祉法人愛泉会 かまいしこども園  
 出演者 きむらとしろうじんじん（美術作家）、大西健太郎（ダンサー）、渡邊梨恵子（一般社団法人谷中のおかって代表）  
 参加者数 190人

(4) 「とうほくのこよみのよぶね」(岩手)

かまいしこども園の園児や、全国各地の大学生ボランティア、地域の住民も多数参加して数字の行灯を制作したり、行灯を彩る折り紙かざりをつくった。鎮魂の祈りを込めてつくられた「3.11」の数字の形をした行灯に光を灯し、海の上に浮かべた。

開催日	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者（人）
3/10	ワークショップ	地域住民約30人（保育園児、高校生など）と他の地域約30人（盛岡、東京、神戸など）で、様々な世代と地域の方が交流しながらワークショップを行った。	釜石市大町（釜石PIT・釜石市民ホール）	日比野克彦	60
7/10	点灯式	あいにくの風雨のため、海上での点灯、展示は諦め宝来館のデッキに組み立て点灯、展示を行った。約300人が黙とうをして3.11に思いを寄せた。	釜石市鶴住居町根浜海岸（宝来館前）	日比野克彦	300

(5) 記憶と記録のプロジェクト（岩手）

地域の記録を残す役割を担って来た「写真館」という存在を深く掘り下げることにより、「被災地」の過去・現在・未来について、また、「記録を残すこと」の過去・現在・未来について考えることができるのではないかと考え、いくつかの写真館のリサーチを行った。

開催日 7月11日～3月16日  
 会場 岩手県大槌町、および釜石市  
 企画運営 特定非営利活動法人記録と表現とメディアの組織 [remo]

(6) 福島こども芸術計画

福島芸術計画×Art Support Tohoku-Tokyo2018の一環として、福島未来を担う子供達の豊かな人間性と多様な個性を育むことを目的とし、県内の保育園、小中高等学校や中山間地域における放課後学級等にアーティストを派遣して、多彩なアートプログラムを体験できるワークショップと成果展示を行った。

開催日	プログラム名	内容	会場/対象	アーティスト	参加者（人）
10/18、23、26、11/15	学校連携共同ワークショップ「おとなりアーティスト」2018「木の实くん絵本」をつくろう！「木の实くんのコマドリアニメ」をつくろう！	土地の木の实を使った、様々な造形やアニメーションのワークショップを実施した。	二本松市立渋川小学校（1年生） 福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室）	小原風子（画家/絵本作家）	34
9/26、10/5、8、11/24、25、27	学校連携共同ワークショップ「おとなりアーティスト」2018 版画でつづる「ささやかな幸せ」	版画の技法を使って身近な「ささやかな幸せ」を表現するワークショップを実施した。	会津若松市立第一中学校（美術部） 二本松市立渋川小学校（4年生） 会津若松市立第二中学校（美術部）	三浦麻梨乃（銅版画家）	45
12/22～24、1/8～20	学校連携共同ワークショップ（展示）	ワークショップの成果展示を行った。	福島県立美術館	—	—

開催日	プログラム名	内容	会場／対象	アーティスト	参加者（人）
11/19、 12/7、 1/18	地域の文化資源を学ぶ 学校連携ワークショップ わたしの好きな只見 ブナの森の道具屋さん ～お客は森のケモノた ち～	ブナ林の探検から始め、「ブナの森の道具屋さん」を想像し、森の材料を使った道具づくりのワークショップを実施した。	ただみ・ブナと川のミュー ジウム（只見町放課後学級）	岩田とも子（アー ティスト）	44
1/18～ 3/10、 3/16～25	「ブナの森の道具屋さん」(展示)	ワークショップの成果展示を行った。	ただみ・ブナと川のミュー ジウム いわき 浜風きらら	—	—
2/4～7、 2/21～22	地域の文化資源を学ぶ 学校連携ワークショップ わたしの好きな昭和 雪のみえるアトリエ	放課後児童クラブとして使われている公民館の視聴覚室を「雪のみえるアトリエ」と見立てて、絵を描くことや造形のワークショップを実施した。	昭和村公民館（昭和村放課 後児童クラブ）	小池アミイゴ（作家）	75

## (7) ラジオ下神白—あのとときあのまちの音楽からいまこへ—（福島）

福島県いわき市にある県営復興団地・下神白（しもかじろ）団地を舞台に展開される、音楽と対話を手掛かりにしたプロジェクトとして、住民が住んでいたかつてのまちの記憶を、馴染深い音楽とともに収録するラジオ番組を制作し、住民に聴いてもらうという行為を軸に、立場の異なる住民間、ふるさととの交通を試みた。

会 場            いわき市小名浜下神白  
アーティスト    アサダワタル（文化活動家・アーティスト）  
参加者数        649 人  
協力             下神白団地自治会

## (8) Art Support Tohoku-Tokyo トークセッション #03 REC ⇄ PLAY ある復興団地の「声（風景）」をなぞる

福島県いわき市にある県営復興団地・下神白団地で行われているプロジェクト「ラジオ下神白」。この取り組みを通じて、住民の日常、記憶、語り、交わりから浮かび上がる「声（風景）」を、遠く離れた土地でいかにして「体感」するか。人の記憶を受け取ること、起きてしまった出来事への向き合い方を考えること、そこに音楽がそっと置かれる意味について、できるだけじっくり味わいながら語り合い、奏であう「報奏会」を実施した。

開催日            12月8日  
会 場             アーツカウンスル東京 ROOM302  
ゲスト            ラジオ下神白（アサダワタル、江尻浩二郎、榊裕美）、角尾宜信、武田力  
参加者数        30 人

## (9) FIELD RECORDING

東北各地で活動をする方々のインタビューなどを行いながら、変わりゆく震災後の東北のいまと、その先にふれるためのジャーナル『FIELD RECORDING vol.02 特集：表現の水脈をたどる』を発刊した。

開催期間        4月～3月  
会 場             岩手県、宮城県、福島県の各所  
参加者数        7人

### 【参加者の声】

#### ●ぐるぐるミックス in 釜石

・「ぐるぐるの会」では先生方から多くのアイデアが出て、それをアーティストとコーディネーターがサポートする形でプログラムを実現できたことは大きな成果と言える。

#### ●つながる湾プロジェクト

・出展者や登壇者は、そのほとんどがこれまでのつながる湾プロジェクトの活動で関係性を築いてきた人々であり、ネットワークの広がりを実感できるとともに、松島湾を愛する人たちが集い、語り合う日となった。

### 【発行物】

『松島湾の船図鑑』

『FIELD RECORDING vol.02 特集：表現の水脈をたどる』

## 42

## タレンツ・トーキョー2018

## 【事業概要】

開催日時	平成30（2018）年11月19日（月）～24日（土）
開催場所	有楽町朝日ホールスクエア ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）
提携	ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）
協力	ゲーテ・インスティトゥート／東京ドイツ文化センター
参加人数	タレンツ15人、エキスパート（講師）計7人

## 【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施する。

## 【開催状況】

国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Main Experts、Guest Experts）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施した。第一線で活動する人材の視線に晒されることにより、強烈なインスパイアを受ける体験を促すとともに、タレンツやエキスパート間、さらには映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画作家たちとの交流も生まれるなど、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げることができた。

## &lt;参加者&gt;

タレンツ

Zi GAO（中国）監督

Hao ZHOU（中国）監督

Jenny SUEN（香港）監督

神保慶政（日本）監督

Abdul ZAINIDI（ブルネイ）監督

Donggyun HAN（韓国）監督

Xaisongkham INDUANGCHANTHY（ラオス）監督

Amanda EU（マレーシア）監督

Carlo Francisco MANATAD（フィリピン）監督

I-Hsuan SU（台湾）監督

Chia-Hsin LIU（台湾）監督

Sompot CHIDGASORN PONGSE（タイ）監督

Patiparn BOONTARIG（タイ）監督

今井太郎（日本）プロデューサー

Dan KOH（シンガポール）プロデューサー

## メイン・エキスパート

Vimukthi JAYASUNDARA（監督）

Raymond PHATHANAVIRANGOON（プロデューサー）

Juliette SCHRAMECK（ワールドセールス）

Florian WEGHORN（ベルリナーレ・タレンツ）

## ゲスト・エキスパート

諏訪敦彦（監督）

Siew Hua YEO（監督）

Amir NADERI（監督）

### 【参加者の声】

- ・才能があり情熱的で楽しい15人の映画作家と友人になれたことは何よりも素晴らしい経験です。専門分野についてオープンかつ正直に教えてくれたエキスパートのことも大好きです。スタッフの皆さんに良くしてもらって感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・オープンプレゼンテーション前にお互い助け合うことができました。他のワークショップで参加者同士が対抗心を燃やしているのを見たことがあります。タレンツ・トーキョーにはそういう雰囲気はありませんでした。タレンツとの出会いが素晴らしい宝物です。
- ・プレゼンテーション・トレーニングで様々なバックグラウンドを持つタレンツ、エキスパートと意見交換できたことは、企画に新しい視点をもたらしました。
- ・各々の製作段階にかかわらず、すべてのエキスパートの授業は役に立ちました。
- ・ネットワークが築けていない自分にとって、エキスパートや映画業界の人が親しみやすく協力的だったことにとっても感謝しています。
- ・自分の企画について、様々な世代、立場の映画関係者と話すことができました。
- ・もう少しスクリーニングや講義があればいいのと思いました。

## 43

## アーツアカデミー

## 【事業概要】

開催期間	平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月
開催場所	アーツカウンスル東京、東京芸術劇場
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京
参加者数	計322人（アーツカウンスル東京：18、東京芸術劇場：延べ304人）

## 【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラムを実施する。

## 【アーツカウンスル東京】

社会における芸術文化の役割について深い知見と広い視野をもって思考し、実践する芸術文化創造活動のキャパシティビルディングの支援を行う。様々な分野・属性の実務経験のある担い手を対象とする。

## 【東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修】

公共劇場、公的文化施設や芸術団体、フェスティバル等での活躍を目指す若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上、舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資する研修事業を行う。

## 【開催状況】

## 【アーツカウンスル東京】

各自の活動の推進力強化や課題解決に役立つ講座計5回と、学びを生かした課題解決戦略レポートの作成と発表の2軸のプログラム構成とした。戦略レポート作成により芸術文化支援の新たな可能性を探る調査研究機能も備えた。

## 【東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修】

東京芸術劇場でのOJT型研修を通じた、劇場や芸術団体のプロデューサー・コーディネーターの育成および舞台芸術や文化政策に関する公開型講座を実施した。レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通して必要な知識や技能を付与するとともに、他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会も提供した。

## 【参加者の声】

## ●芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

- ・4か月共に過ごした受講生の皆さんは、アートという共通項がありながらも様々な活動をされていて、たくさんの刺激をいただき、講座に来るのが楽しみで仕方ありませんでした。
- ・自分の活動の方向性を見極めていくワークはとても刺激的でした。その後転職のお話をいただいた時にほぼ迷わずに決められたのも、ワークの中で自分の進みたい方向が明確になっていたからだと思います。
- ・“人との多様なつながりを作っていく”というキーワードとともにエネルギーと挑戦する勇気をいただいたことが、直近のプロジェクトを急遽大改革しながら実践していくことにつながりました。
- ・最も心に響いたのは「あなたがやりたいことで、誰もがすることは難しく、皆が求めていることを『仕事』にこなさい」という講師の言葉。仕事の入魂度・モチベーションを一気に高めてくれる一言。芸術に関わる仕事を担っているからこそ柔軟な発想力を持って、働く人もお客様も関わる人全てが楽しめる組織でありたいと思いました。

## ●東京芸術劇場 プロフェッショナル人材養成研修

- ・アーツアカデミー研修の醍醐味は、現場での驚きや課題を肌で感じると同時に、劇場内外でアーツマネジメントの知識を習得できたことです。
- ・大学のアーツマネジメントの学部では体験できない本物の緊張感、現場の動き、アクシデントを経験することで、より深く「制作」という仕事を学ぶことができたと思います。
- ・座学と現場が絡み合ったアーツアカデミーのカリキュラムが、今の自分を育ててくれました。
- ・非常に短いスパンで数多く提出する報告書を書く時間は、得た知識や現場経験を頭の中で醸成させ自分の言葉として発信する癖を身に着ける大切な時間だったと感じています。
- ・研修生のレポート課題では、現場仕事と並行して日本・世界のアーツマネジメントについて理解を深める時間を持つことができ、自分の飛び込もうとしている業界について様々な視点から学ぶことができたと思います。

# 44

## Tokyo Art Research Lab (TARL)

### 【事業概要】

開催期間 平成30（2018）年4月～平成31（2019）年3月  
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302 ほか  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 参加者数 2,188人

### 【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

### 【開催状況】

#### (1) 思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトの担い手の育成を目指し、講座等を実施。今年度は、「アートプロジェクトを『する』から『つくる』へ。」をテーマに、実践的な学びの場「東京プロジェクトスタディ」、アートプロジェクトに関わるための基礎をおさえる「レクチャー」、プロジェクトを行う上で新たなヒントを探る「ディスカッション」の3つのプログラムを展開。アートプロジェクトを「つくる」という視点を重視し、物事的前提から「問い直す」こと、これからの時代に求められるプロジェクトとは何かを思考し、かたちにすることができる人材の育成を目指す。

開催期間 7月～2月  
 参加者数 合計264人

#### ■「東京プロジェクトスタディ」

“東京で何かを「つくる」としたら”という投げかけのもと、5組のナビゲーターそれぞれが参加者と共にチームをつくり、リサーチや実験を繰り返しながらそのプロジェクトの核をつくる試み。開催期間中、複数のプロジェクト“スタディ”（勉強、調査、研究、試作）を展開した。

ナビゲーターは、アーティスト、ディレクター、プロジェクトの事務局など、関心や属性の異なる「つくり手」が担当した。さらに、それぞれのスタディには、アーツカウンシル東京 プログラムオフィサーが伴走し学びをサポートした。

開催期間 9月～3月  
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302（3331 Arts Chiyoda）ほか  
 参加費 一般30,000円、学生20,000円  
 説明会参加者数 27人

プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人）
スタディ1   「東京でつくる」ということ	ナビゲーター：石神夏希（劇作家、ペビン結構設計、NPO法人場所と物語 理事長、The CAVE 取締役） スタディマネージャー：嘉原妙（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー） サブマネージャー：岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	12
スタディ2   2027年ミュンスターへの旅	ナビゲーター：佐藤慎也（建築家）、居間 theater [東彩織、稲継美保、宮武亜季、山崎朋] スタディマネージャー：坂本有理（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー / 「思考と技術と対話の学校」教頭） サブマネージャー：岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	7
スタディ3   Music For A Space	ナビゲーター：清宮陵一（VINYL SOYUZ LLC 代表 / NPO法人トッピングイースト 理事長） スタディマネージャー：大内伸輔（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー） サブマネージャー：岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	9
スタディ4   部屋しかないところからラボを建てる	ナビゲーター：一般社団法人NOOK [瀬尾夏美、小森はるか、礪崎未菜] ファシリテーター：小屋竜平 スタディマネージャー：佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー） サブマネージャー：岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	9
スタディ5   自分の足で「あるくみるきく」のために	ナビゲーター：宮下美穂（NPO法人アートフル・アクション 事務局長） ゲストアーティスト：揚妻博之（アーティスト）、大西暢夫（写真家、映画監督）、花崎攝（シアター・プラクティショナー、野口体操講師） スタディマネージャー：佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー） サブマネージャー：岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	11

■「レクチャー」

「アートプロジェクトとは」、「運営とは」、「持続的な活動とは」の異なる切り口のテーマで、アートプロジェクトの基礎を幅広くおさえるレクチャーシリーズ。全3コースを開講した。

開催期間	7月～2月
会場	アーツカウンシル東京ROOM302 (3331 Arts Chiyoda)
参加費	レクチャー1、レクチャー2：5,000円（通し受講） レクチャー3：各回1,500円、全3回通し受講4,000円

① レクチャー1「徹底解体！アートプロジェクト アートプロジェクトと出会う、深める、乗り越える？」

アートプロジェクトを表現と、それを支える仕組みや環境という2つの視点を軸に約30年の歩みを振り返った。豊富な事例や背後に潜む「つくり手」の問題意識に触れながら、現場に関わる人々がどのような動き方をしているかを確認した。そして、アートプロジェクトの「基礎」を固めた先に、これまでのありようを問い直し、いま取り組むべき課題を議論することを目指した。

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者(人)
7/25	第1回 プロジェクトとコンセプト：はじまり(90年代以降)	ナビゲーター：北澤潤(美術家/北澤潤八雲事務所代表)、佐藤李青(アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)	13
8/29	第2回 現場の動き方：国際展・トリエンナーレの時代(00年代前後)	-	
9/3	第3回 プロジェクトを超えて(10年代以降)	-	

② レクチャー2「アートプロジェクト運営の手始め」

アートプロジェクト運営の入門編として、運営ビギナーが、まずおさえるべきトピックを取り上げた。運営の基本サイクル(企画、準備、実施、報告、検証・評価)を見渡しながら、広報や記録にもフォーカスし、現場で必要な技術やアプローチについて考えた。運営のクリエイティブな展開を考えることで、アートプロジェクトそのものの創造性を鍛えることを目指した。

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者(人)
9/5	第1回 運営入門	ナビゲーター：坂本有理、大内伸輔(アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)	25
9/12	第2回 広報入門	ナビゲーター：中田一会(広報コミュニケーションディレクター/きてん企画室主宰)、坂本有理(アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)	
9/26	第3回 記録入門		

③ レクチャー3「アートプロジェクトが立ち上がる土壌とは3つの地域の実践を辿る[平成編]」

本レクチャーでは、「立川」、「谷中」、「六本木」界隈をとりあげ、地域を軸に、まちなかでのアートの実践を掘り下げた。それぞれの地域で活動する実践者たちをナビゲーターにむかえ、まちの変遷や時代ごとのアートシーンに精通しているアーティストや研究者らゲストも交えながら、平成に育まれたアート活動/アートプロジェクトに迫った。

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者(人)
2/6	第1回 立川エリア	ナビゲーター：丸山晶崇(デザイナー)、ゲスト：笠原出(美術家)、聞き手：大内伸輔(アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)	15
2/13	第2回 谷中エリア	ナビゲーター：富塚絵美(アートディレクター/パフォーマー)、ゲスト：椎原晶子(地域プランナー、NPO法人たいとう歴史都市研究会理事長)、五十嵐泰正(筑波大学大学院人文社会科学研究科准教授)、聞き手：坂本有理(アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー)	6
2/19	第3回 六本木エリア	ナビゲーター：高橋信也(森ビル株式会社 顧問、京都市美術館リニューアル準備室 ゼネラルマネージャー)、森司(アーツカウンシル東京 Tokyo Art Research Lab デイレクター「思考と技術と対話の学校」校長) / 東京アートポイント計画 デイレクター	11

■「ディスカッション」

開催期間 10月～2月  
会場 アーツカウンシル東京 ROOM302

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人）
10/10	ディスカッション1   めぐりめぐる記憶のかたち	ゲスト：岡村幸宜（原爆の図丸木美術館学芸員）、松本篤（NPO法人remoメンバー、AHA!世話人） モデレーター：佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	17
11/7	ディスカッション2   そこにある生活を描き出す	ゲスト：大橋香奈（映像エスノグラファー）、富永美保+伊藤孝仁（トミトアーキテクチャ/tomito architecture） モデレーター：上地里佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	45
12/5	ディスカッション3   遠さと近さのあいだで	ゲスト：居原田遥（インディペンデントキュレーター、コーディネーター）、堀内奈穂子（NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] キュレーター） モデレーター：岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	16
1/16	ディスカッション4   物語から女性像をたどる	ゲスト：遠藤麻衣（俳優、美術家）、恋田知子（日本文学研究者） モデレーター：村岡宏太（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	16
2/20	ディスカッション5   みんなで看取れば怖くない？	ゲスト：高橋洋介（金沢21世紀美術館キュレーター）、羊屋白玉（「指輪ホテル」芸術監督） モデレーター：大内伸輔（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	25

(2) 研究・開発

専門家との協働により、専門的な知見や課題の整理と発信、アーカイブの手法をまとめた冊子やシステムの開発を行った。

参加者数 合計34人

■東京アートポイント計画の10年史（仮）制作プロジェクト

平成22（2009）年度に事業を開始した「東京アートポイント計画」の10年の活動を振り返る「年史」の制作を行った。過去の実績を伝えるだけでなく、10年で獲得した知見を、どのように広く共有していくのか。これまでの資料や先例を検討し、これからの知見となるような書籍づくりを実施した。

開催期間 4月～3月  
研究メンバー 川村庸子（編集者）、佐藤恵美（編集者／ライター）、大内伸輔、佐藤李青、坂本有理、岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）

■Tokyo Art Research Lab 2010-2017 実績調査

平成23（2010）年度に始動した人材育成事業「Tokyo Art Research Lab」の8年間の成果を調査し、検証した。基礎データの整理を行い、事業実績のデータ分析や関係者へのヒアリング調査、「思考と技術と対話の学校」の受講生（2014～2017年度）へのアンケート調査を実施し、8か年の事業の結果（アウトプット）、成果（アウトカム）、波及効果（インパクト）を総括した。

開催期間 12月～3月  
研究メンバー 大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室／文化生態観察）、吉澤弥生（共立女子大学文芸学部教授／社会学者／NPO法人地域文化に関する情報とプロジェクト[recip]理事／NPO法人アートNPOリンク理事）、佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）  
発行物 東京アートポイント計画 2009-2016 実績調査と報告

■メディア／レターの届け方

アーツカウンシル東京の取り組みから「東京アートポイント計画」「Tokyo Art Research Lab」「Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）」を取り上げ、その発行物を届けるためのメディア開発（パッケージおよびレター）を行いました。

実施期間 4月～6月  
研究メンバー 川村格夫（デザイナー）、佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）

■研究会プログラム

これからのアートプロジェクトの実践にとって議論すべきトピックを洗い出し、それらの課題へのアプローチ方法を検討した。「災害と文化」や「アーカイブの活用」をテーマとしたふたつのグループで議論を行った。

(3) ROOM301、ROOM302、アーカイブセンターの活用

アートセンター「3331 Arts Chiyoda」3階にある、アーツカウンシル東京のレクチャールームおよびアーカイブセンターを活用するプログラムを展開した。

■アーカイブセンター運営

地域・社会に関わる各地のアートプロジェクトの収蔵資料を公開。また、Tokyo Art Research Labや東京アートポイント計画から発行している冊子も配布した。

開催期間 9月～3月

参加者数 190人

■Open Room 2019 東京アートポイント計画の10年とこれから 2009→2019年

「Tokyo Art Research Lab (TARL)」が運営するアートプロジェクトのための交流の場「Open Room」。今年、「東京アートポイント計画の10年とこれから」をテーマに、10年間の活動を紹介する展示や、アートプロジェクトに取り組むNPOとのトークイベント、ディスカッションなどを開催した。また、東京アートポイント計画 新規共催団体の募集説明会を実施し、応募を検討している方を対象とした相談窓口も設けた。

開催期間 3月2日(土)～18日(月)

参加者数 1,700人

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者(人)
3/2～18	東京アートポイント計画 ことばと本の展覧会	-	1,543
3/4	平成31年度 東京アートポイント計画 新規共催団体 募集説明会	-	35
3/7	東京アートポイント計画の現在～NPOとの5つの対話～ 「東京の場所と物語に触れる」 東京ステイ×500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」	登壇者：石神夏希(NPO法人場所と物語)、齋藤紘良(社会福祉法人東香会) モデレーター：嘉原妙(東京アートポイント計画 プログラムオフィサー)	19
3/9、10	アートプロジェクト相談窓口 in Open Room	-	-
3/9	東京アートポイント計画の現在～NPOとの5つの対話～ 「まちから学ぶ、まちをつくる」 トッピングイースト×ファンタジア! ファンタジア! -生き方がかたちになったまち-	登壇者：茂木紀子、花井雅保、村瀬朋桂(NPO法人トッピングイースト)、岡田千絵(BLOOMING EAST コーディネーター)、青木彬(一般社団法人うれしい予感) モデレーター：岡野恵未子(東京アートポイント計画 プログラムオフィサー)	24
3/11	東京アートポイント計画の現在～NPOとの5つの対話～ 「縁をつくる、育てる」 アートアクセスあだち音まち千住の縁×HAPPY TURN/神津島	登壇者：吉田武司、長尾聡子(NPO法人音まち計画)、中村圭、飯島知代(NPO法人神津島盛り上げ隊) モデレーター：坂本有理、上地里佳(東京アートポイント計画 プログラムオフィサー)	18
3/15	東京アートポイント計画の現在～NPOとの5つの対話～ 「社会の変化にアートで切り込む」 小金井アートフル・アクション! × Betweens Passport Initiative	登壇者：宮下美穂(NPO法人アートフル・アクション)、海老原周子(一般社団法人kuriya) モデレーター：森司(アーツカウンシル東京 Tokyo Art Research Lab ディレクター (「思考と技術と対話の学校」校長) / 東京アートポイント計画 ディレクター)	12
3/16	東京アートポイント計画の現在～NPOとの5つの対話～ 「集まってつくるプロジェクトのかたち」 TERATOTERA × Artist Collective Fuchu [ACF]	登壇者：小川希(一般社団法人Ongoing)、Teraccollectiveメンバー 芝辻ペラン詩子、宮川亜弓、芦沢友紀子(NPO法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ) モデレーター：村岡宏太(東京アートポイント計画 プログラムオフィサー)	8
3/18	discussion 10年が耕す、文化の生態系を育む：これからのアートプロジェクトを支える仕組みとは？	ゲスト：佐藤慎也(日本大学理工学部建築学科教授、建築家)、大澤真雄(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室、文化生態観察)、吉澤弥生(共立女子大学文芸学部教授、社会学者) モデレーター：森司(アーツカウンシル東京 Tokyo Art Research Lab ディレクター (「思考と技術と対話の学校」校長) / 東京アートポイント計画 ディレクター)	41

### 【参加者の声】

- 約半年の短期間に月2回というペースで、自力ではなかなか出会えないような人たちの話を生で聞くことができ、自身の考え方が変わりました。ナビゲーターやマネージャー、受講生の仲間との出会いも大切にしたいと思えるご縁です。（「東京プロジェクトスタディ」参加者）
- 全体を通して感じたのは、何事も一過性にしないということだと思いました。次のサイクルを意識することや、発信を意識して記録することなど、もう少し大きな視点で見ようね？というメッセージを受け取った気がします。個人的には求めていたものズバリでした。一方で、まだアートプロジェクトを運営したことがない人にとっては、いきなりその大きな視点を与えられてしまうと尻込みしてしまいそうです。（「レクチャー2」参加者）
- 美術館の展覧会、学校の授業だけでは聞けない話ばかりで興味深かったです。純粋にアジアに目を向けて見ようと思いました。（「ディスカッション3」参加者）
- 長く地道な活動を続けてこられたんだなと思いました。記録を残すのは本当に大事ですねと改めて思いました。（「Open Room 2019」東京アートポイント計画 ことばと本の展覧会 来場者）
- 様々な分野の視点からアートプロジェクトを考察されていて、改めてアートは多様な分野とつながっているのだなと思った。アートプロジェクトを学問として研究することの難しさを感じた。（「Open Room 2019」discussion参加者）

### 【発行物】

- 『Tokyo Art Research Lab 2010-2017 実績調査と報告』
- 『東京プロジェクトスタディ1「東京でつくる」ということ エッセイ集』
- 『アートプロジェクトを紡ぐー伝える・ひらく・つなげるためのヒント集』
- 『これからの文化を「10年単位」で語るためにー東京アートポイント計画2009ー2018ー』

## 45

# アーツカウンシル・フォーラム オープン・フォーラム2019 「多様性を超えて 包摂社会が生み出す創造性」

## 【事業概要】

開催日時	平成31（2019）年3月1日（金）16：00～18：00
会場	ベルサール東京日本橋
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	103人
参加料	無料（事前申込制）
言語	日英同時通訳付

## 【事業趣旨（目的）】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

## 【開催状況】

東京都は、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、世界的な芸術文化都市を目指すというビジョンを掲げている。本フォーラムでは、東京が目指すべき都市像を探るため、世界の様々な都市で議論されている「多様性・包摂」をテーマとして取り上げ、包摂が生み出す創造性、そしてそれが導く未来について、多角的に考え議論する機会とした。

## スピーカー

中谷巖（アーツカウンシル東京カウンシルボード委員／三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社常務理事）  
ペーター・アンダース（ゲーテ・インスティトゥート東京所長）  
梶谷真司（東京大学 共生のための国際哲学研究センター所長）  
吉野律（アジア・カルチュラル・カウンシル日本オフィスディレクター）

## モデレーター

芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）

## 構成：

- 第1部 基調講演  
中谷巖
- 第2部 パネルディスカッション+質疑  
ペーター・アンダース、梶谷真司、吉野律と芹沢高志による討論

## 【参加者の声】

来場者アンケート集計結果（3月1日）回答数60件（③のみ62件）

## ①イベント満足度について

- 「大変期待に沿うものであった」 18
- 「期待に沿うものであった」 35
- 「期待に沿うものでなかった」 7
- 「期待に沿うものであった」と回答した人があわせて88.3%であった。

## ②イベント内容の質について

- 「大変質の高い内容であった」 19
- 「質の高い内容であった」 35
- 「質の高い内容ではなかった」 6
- 「質の高い内容であった」と回答とした人があわせて90%であった。

③参加して得た学びや気づきの有無について

「新たな学びや気づきが大いにあった」 24

「新たな学びや気づきがあった」 38

「新たな学びや気づきはなかった」 0

→ 「新たな学びや気づきがあった」と回答とした人があわせて100%であった。

## 46

## 第3回メディアアート国際シンポジウム 「インターネット以降の文化形成 —創作、発信、ネットワーク—」

### 【事業概要】

開催期間	Day 1 平成31 (2019) 年2月2日 (土) 13:00~17:00 Day 2 平成31 (2019) 年2月3日 (日) 13:00~18:00
会場	NTTインターコミュニケーション・センター [ICC]
入場料	無料 [要事前申込・先着順]、日英同時通訳
主催	国際交流基金アジアセンター、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
特別協力	NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] (東日本電信電話株式会社)
入場者数	349人

### 登壇者

#### Day 1 :

- ・和田永 (アーティスト、ミュージシャン) [日本]
- ・Eyedropper Fill (ワッタナブーム・ラーイスワンチャイ、ナンタワット・ジャラットルアンニン) (マルチメディア・デザイン・チーム) [タイ]
- ・豊田啓介 (建築家、建築デザイン事務所 noiz 共同主宰) [日本]
- ・ルー・ヤン (アーティスト) [中国]
- ・tomad (オーガナイザー、DJ、Maltine Records 主宰) [日本]

#### Day 2 :

- ・リアル・リザルディ (アーティスト、研究者) [インドネシア]
- ・dj sniff (ターンテーブル奏者、DJ、キュレーター) [日本]
- ・金澤韻 (インディペンデント・キュレーター、十和田市現代美術館学芸統括) [日本]
- ・川田洋平 (編集者、『STUDIO VOICE』ディレクター) [日本]
- ・マーヴィン・コナナン (PURVEYR 設立者、編集長) [フィリピン]
- ・FNMNL (和田哲郎) [日本] + VISLA Magazine (チェ・ジャンミン、クォン・ヒョギン) (カルチャー・ウェブマガジン) [韓国]
- ・若林恵 (編集者) [日本]

### 【事業趣旨 (目的)】

インターネットが日常化して以降、創作活動はどのように変容し、それらを支える文化環境に何が求められているか。インターネットを通じて活動するアーティストをはじめ、新たな表現を発信するディレクターやキュレーター、アジアでメディア展開を進める編集者らの実践の紹介とともに、日本をはじめとするアジアにおける文化形成のあり方を模索し、東京のポテンシャルを活かしたメディアアート振興のための環境づくりに寄与する。

### 【開催状況】

ネットワーク社会ならではの国境を越えた文化流動、メディアによるシーン形成は今後も大きくなっていくものと思われる。アジアにおいて特徴的な活動を続けるアーティスト、クリエイター、ウェブメディア制作者たちが、それぞれの文化を基盤にグローバルな展開を進める姿を通し、インターネット以降のデジタルクリエイティブの共創のためのネットワーク醸成の可能性を示唆する内容となった。

### 【参加者の声】

- ・メディアアートの枠組みの中でも多種多様な方々のそれぞれの観点の違いと、インターネット時代ならではの共通点があることを体感的に理解できた。
- ・アジア各国のメディアアーティストの生の声を聴けて良かった。メディアアーティストとはある意味でマッドサイエンティストとなる存在であると感じた。
- ・アジア複数国の目線含め、既存のメディアとweb Media/cultureを俯瞰できた。

## 47

## 広報活動

## 【概要・事業趣旨（目的）】

アーツカウンシル東京の個別事業に関する広報を個々の実施団体が中心となって行っている一方で、多様な事業を展開しているアーツカウンシル東京の取組や役割を発信することにより、認知度やプレゼンスの向上を図っている。

公式ウェブサイト、SNS、メールニュース等独自メディアやラジオ番組提供等でコンスタントに情報発信するとともに、プレスリリースの配信、ニュースレターを活用したメディアへの働きかけによるパブリシティの獲得や、効果的なターゲットに向けたタイアップ記事を展開。また、プログラムのアーカイブ化（映像制作）にも取り組んだ。

## ■公式ウェブサイト（日本語・英語対応）

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/>      <https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

トップページのリニューアルや、事業紹介のページなど、所どころ微修正を行い、ユーザーが必要とする情報にいち早くアクセスできるよう利便性の向上に努めた。さらに、アーツカウンシル東京が主催するプログラムにライターが出向き、現場をレポートするブログで事業の詳細を広く紹介したり、カウンシルボード委員が執筆するアカデミックなコラムにより、ユーザーの興味、関心の喚起に努めた。

【ユニークユーザー】 226,286

【ページビュー】 732,459

※年間集計

## ■SNS（Facebook、Twitter）

アーツカウンシル東京の公式FacebookおよびTwitterページから様々な情報を写真も交えて随時発信した。イベント現場でリアルタイムに発信するなどの試みは反響も良く、フォロワー数の増加につながった。

【Facebook（フォロワー）】 8,341

【Twitter（フォロワー）】 8,791

※平成31（2019）年3月31日現在

## ■メールニュース

アーツカウンシル東京が主催・共催するイベントや公募等の最新情報やニュースを定期的にお知らせするため、月2回メールニュース（日英バイリンガル）を配信した。

【登録者数】 2,284人

※平成31年3月31日現在

## ■アーカイブ用動画撮影

事業をより広く、分かりやすく伝えるとともに、アーカイブとして残していくために、今年度6事業について撮影・編集を行い、公式ユーチューブチャンネルにて公開した。

- ・プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～
- ・キッズ伝統芸能体験
- ・パフォーマンスキッズ・トーキョー
- ・TERATOTERA
- ・アートアクセスあだち 音まち千住の縁
- ・上野「文化の杜」新構想

## ■PR活動

「年間ラインアップ発表」等、各事業／組織全体合わせて、計113本のプレスリリースを発信。別途、「平成最後のアートイベント4選」「アートマネジメントの仕事とは」と題したニュースレターを配信。事業単体ではなく、テーマ立てすることで、アーツカウンシル東京のブランディングと記事化を目指した。

特に、アートマネジメントの仕事の切り口にしたニュースレターは反響が良く、女性の生き方を紹介するWEBメディア「Hint-Pot」と、「朝日中高生新聞」の職業紹介のコーナーでボリュームあるパブリシティ露出を獲得した。「平成最後のアートイベント4選」では、「Walker plus」にて掲載を獲得するとともに、ウェブにて43件レター記事の掲載があった。4つの助成プログラム公募開始のリリースについては、メディアとのリレーションにより「CINRA.NET」「AXIS」等を含め、ウェブにて30件リリース記事が掲載され、Tokyo Tokyo FESTIVAL助成の公募開始の

リリースについては、ウェブにて40件の記事が掲載された。

「東京リビング」では、毎月1回、連載枠を担当することで、タイムリーなイベント情報などを紹介。日頃のメディアアリレーションにより、アーツカウンシル東京の浸透を図りながら、それぞれの媒体に合わせた効果的なパブリシティ獲得へとつなげた。

### 【出広告実績】

コーポレートブランディングの一環として、週刊東洋経済および東洋経済オンラインで機構長のインタビュー記事を掲載。2020年に向けた取り組みや理念を、機構長のインタビューを通して伝えることで、説得力のある記事を発信することができた。また、アートの仕事を入口にアーツカウンシル東京への興味を喚起する狙いで、AERA dot.で職員のインタビュー記事を掲載。多くの読者を抱える影響力の高い媒体に露出することで、アーツカウンシル東京の認知度を高めるとともに、ブランド力強化にもつながった。また、これまでにない切り口は、幅広いターゲットに反響が良く、その後のパブリシティ獲得にも効果的だった。

ジャンル	日付	媒体	言語	内容
雑誌	3/4発行号	週刊東洋経済	日	4C2P 機構長インタビュー
WEB	2月15日	AERA.dot	日	アートマネジメントの仕事について
	3月13日	東洋経済オンライン	日	機構長インタビュー（本誌転載）

### 【ラジオ放送実績】

アーツカウンシル東京の各事業のPRを通して、多様な事業を展開しているアーツカウンシル東京を戦略的かつ積極的に発信し、広く周知することを目的に、平成25（2013）年度より開始したラジオ情報番組「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」。アーティストや制作者が各事業を語ることで、より深く、親近感をもって内容が伝わり、リスナーからも好評であったため、番組提供を継続し、各事業への参加意欲および組織の認知向上に努めた。

#### J-WAVE「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」

平成30（2018）年度 アーツカウンシル東京提供ラジオ番組 J-WAVE「ARTS COUNCIL TOKYO CREATIVE FILE」放送実績（毎週土曜日/午前11時35分ごろから10分間放送）

No.	OA	事業名	タイトル/放送内容	ゲスト出演者
1	4/7	Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成		角南晴久（アーツカウンシル東京 オリンピック・パラリンピック文化戦略担当係長）
2	4/14	伝統文化・芸能体験プログラム	演芸 in 東京都江戸東京博物館	鏡味千代（太神楽芸人）
3	4/21	Music Program TOKYO	小曽根真&エリック・ミヤシロ "Jazz meets Classic" with 東京都交響楽団 ショップ・リーダー育成プログラム	小曽根真（ピアニスト）
4	4/28	TACT/FESTIVAL2018		前田圭蔵（東京芸術劇場 広報営業係長）
5	5/5	キッズ伝統芸能体験		谷垣内和子（日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]）
6	5/12	TURN	第5回TURNミーティング	日比野克彦（TURN監修、アーティスト）
7	5/19	TERATOTERA	TERAKKO 募集	高村瑞世（TERATOTERA 事務局長）
8	5/26	六本木アートナイト2018		金氏徹平（アーティスト）
9	6/2	タレント・トーキョー2018		市山尚三（タレント・トーキョー実行委員長）
10	6/9	東京芸術祭2018	APAF - アジア舞台芸術人材育成部門	多田淳之介（APAF - アジア舞台芸術人材育成部門ディレクター、演出家）
11	6/16	アンサンブルズ東京		大友良英（アンサンブルズ東京芸術監督、音楽家）、のん（女優）
12	6/23	Music Program TOKYO	ミュージック・ワークショップ・フェスタ <夏>	桜井しおり、野口綾子（東京文化会館ワークショップ・リーダー）
13	6/30	芸劇セレクション	BOAT	宮沢氷魚（俳優）
14	7/7	大江戸寄席と花街のおどり その八		川口優香里（企画）
15	7/14	芸劇セレクション	自作自演<第16回>	前田圭蔵（東京芸術劇場 広報営業係長）
16	7/21	東京キャラバン in 豊田		近藤良平（振付家・ダンサー・「コンドルズ」主宰）
17	7/28	Art Support Tohoku-Tokyo	「松島湾のハゼ凶鑑」「松島湾の牡蠣凶鑑」	佐藤李青（アーツカウンシル東京）
18	8/4	Music Program TOKYO	レクチャーコンサート「ロッキーニの魅力再発見！」	水谷彰良（日本ロッキーニ協会会長）
19	8/11	TURN	TURNフェス4	森司（TURNプロジェクトディレクター、アーツカウンシル東京 事業調整課長）
20	8/18	Museum Start あいうえの	うえの！ふしぎ発見	稲庭彩和子（東京都美術館アート・コミュニケーション担当係長）
21	8/25	アンサンブルズ東京		高木完（ミュージシャン）
22	9/1	東京芸術祭2018		宮城聡（東京芸術祭 総合ディレクター、演出家、SPAC・静岡県舞台芸術センター芸術総監督）

No.	OA	事業名	タイトル/放送内容	ゲスト出演者
23	9/8	トッピングイースト	ほくさい音楽博	茂木紀子 (NPO法人トッピングイースト)
24	9/15	東京キャラバン in 高知		木ノ下裕一 (ドラマトゥルク・「木ノ下歌舞伎」主宰)
25	9/22	伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル2018～		木村美紀子 (八王子子学園都市文化ふれあい財団)
26	9/29	トバコ (都民パフォーマーズコーナー)		角南晴久 (アーツカウンシル東京 オリリンピック・パラリンピック文化戦略担当係長)
27	10/6	芸劇セレクション	書を捨てよ町へ出よう	藤田貴大 (マームとジブシー主宰)
28	10/13	TERATOTERA	駅伝芸術祭	iwaosho (TERAKKO)
29	10/20	東京芸術祭2018	スモール・メタル・オブジェクツ	植松侑子 (東京芸術祭事務局)
30	10/27	MOTサテライト 2018秋 うごきだす物語		北澤ひろみ (東京都現代美術館)
31	11/3	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	仲町の家	吉田武司 (アートアクセスあだち 音まち千住の縁 ディレクター)
32	11/10	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2018		日置圭子 (NPO法人粋なまちづくり倶楽部)
33	11/17	上野「文化の杜」新構想	アナウサギを追いかけて	羊屋白玉 (劇作家、演出家)
34	11/24	Shibuya StreetDance Week 2018		FISHBOY (ダンサー、Shibuya StreetDance Week 2018アンバサダー)
35	12/1	芸劇セレクション	勅使川原三郎「月に憑かれたピエロ」「ロスト・イン・ダンスー抒情組曲ー」	勅使川原三郎、佐東利穂子 (ダンサー)
36	12/8	Art Support Tohoku-Tokyo	トークセッション #03	アサダワタル (アーティスト)
37	12/15	アートアクセスあだち 音まち千住の縁	野村誠 千住だじゃれ音楽祭「第3回だじゃれ音楽研究大会」	石橋鼓太郎、胡舟ヒフミ (だじゃれ音楽研究会)
38	12/22	キッズ伝統芸能体験		住田福十郎 (キッズ伝統芸能体験 講師、邦楽囃子 住田流)
39	12/29	J-CULTURE FEST 連携事業	詩楽劇「すめらみことの物語」	佐藤麻紀子 (東京国際フォーラム)
40	1/5	伝統芸能普及公演	「平家物語」の世界～日本人の心をうつす古典芸能～	友吉鶴心 (薩摩琵琶奏者)
41	1/12	芸劇セレクション	Le Père 父	今井朋彦 (俳優)
42	1/19	TURN	第7回TURNミーティング	日比野克彦 (TURN 監修、アーティスト)
43	1/26	東京キャラバン in 秋田		野田秀樹 (東京キャラバン 総監修、劇作家、演出家、役者)、黒木華 (女優)
44	2/2	外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	能「隅田川」～悲しみを覆う声～	友枝雄人 (喜多流能楽師)
45	2/9	トッピングイースト	ほくさい音楽博	GOMA (ディジュリドゥ奏者)
46	2/16	第11回恵比寿映像祭		さわひらき (美術家)
47	2/23	オープンフォーラム2019	多様性を超えて 包摂社会が生み出す創造性	角南晴久 (アーツカウンシル東京 オリリンピック・パラリンピック文化戦略担当係長)
48	3/2	ファンタジア! ファンタジア! ー生き方がかたちになったまち	ラーニング・ラボ	青木彬 (一般社団法人うれしい予感)
49	3/9	小金井アートフル・アクション!	えいちゃんふえす	伊藤安寿華 (NPO法人アートフル・アクション)
50	3/16	Music Program TOKYO	小曽根真&スコティッシュ・ナショナル・ジャズ・オーケストラ "Jazz meets Classic"	小曽根真 (ピアニスト)
51	3/23	芸劇セレクション	ポッコちゃん ～星新一 ショートショートセレクション～	前田圭蔵 (東京芸術劇場 広報営業係長)
52	3/30	キッズ伝統芸能体験		布目藍人 (日本芸能実演家団体協議会 [芸団協])

編集…公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
制作／印刷…株式会社丸井工文社

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス 8 階  
T E L : 03-6256-8430  
F A X : 03-6256-8827  
E-MAIL : [info@artscouncil-tokyo.jp](mailto:info@artscouncil-tokyo.jp)  
U R L : [www.artscouncil-tokyo.jp](http://www.artscouncil-tokyo.jp)





公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-28 九段ファーストプレイス8階  
TEL : 03-6256-8430 FAX : 03-6256-8827  
[www.artscouncil-tokyo.jp](http://www.artscouncil-tokyo.jp)

文化でつながる。未来とつながる。  
THE FUTURE IS ART

**TokyoTokyo**  
FESTIVAL